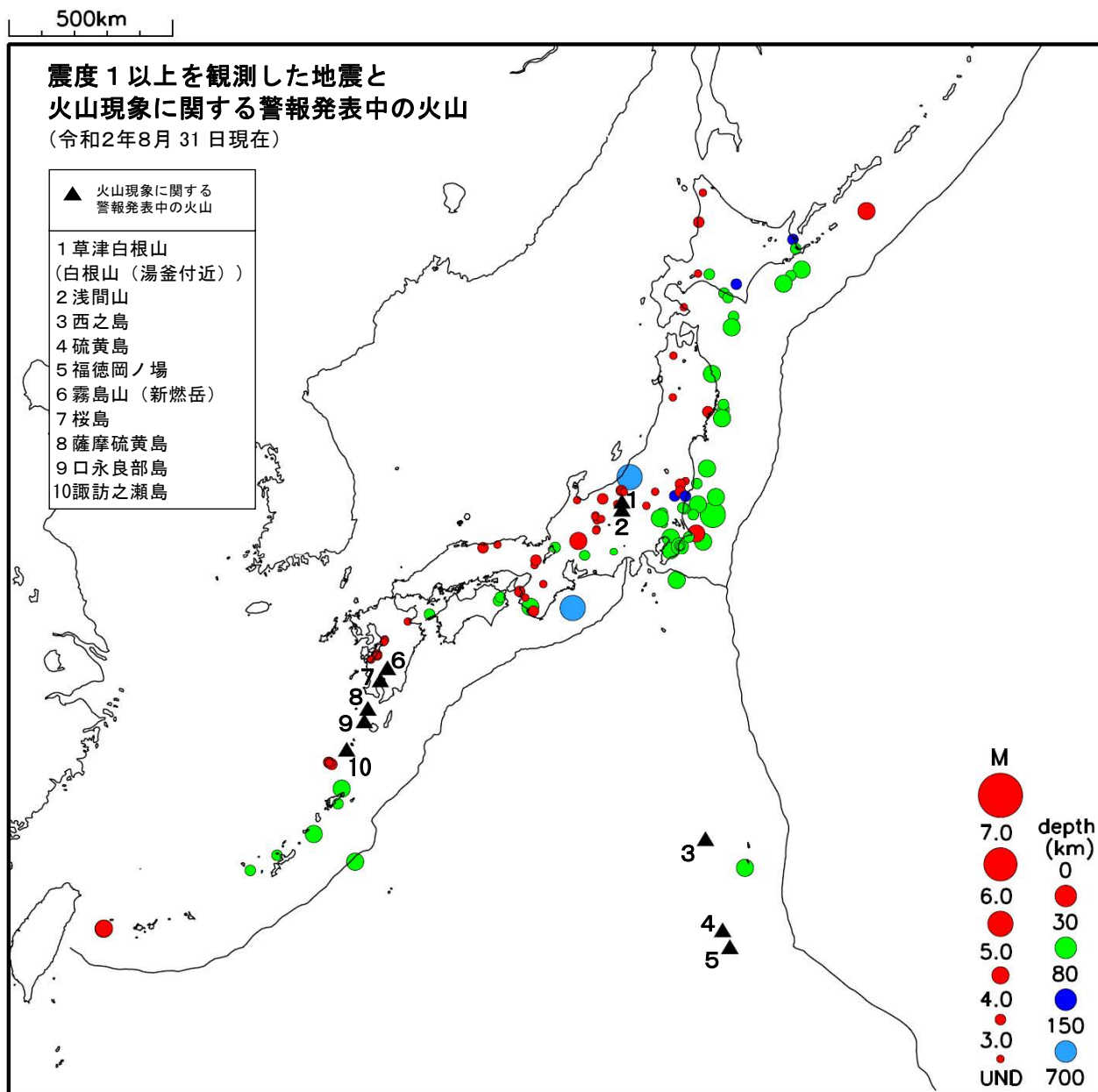


令和2年8月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

August 2020



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年(1997年)11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年(1997年)10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 令和2年8月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和2年8月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月8日現在、2020年4月18日以降の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られる。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で利用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	4
東北地方の地震活動	5
関東・中部地方の地震活動	6
近畿・中国・四国地方の地震活動	8
九州地方の地震活動	9
沖縄地方の地震活動	10
その他の地域の地震活動	11
● 南海トラフ周辺の地殻活動	12
● 日本の主な火山活動	61
北海道地方の火山活動	71
東北地方の火山活動	73
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	75
近畿・中国・四国地方の火山活動	79
九州地方の火山活動	80
沖縄地方の火山活動	84
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	85
● 世界の主な地震	87
● 世界の主な火山活動	88
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	89
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	105
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	106
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	107
5. 緊急地震速報の提供状況	108

● 日本及びその周辺での主な地震活動

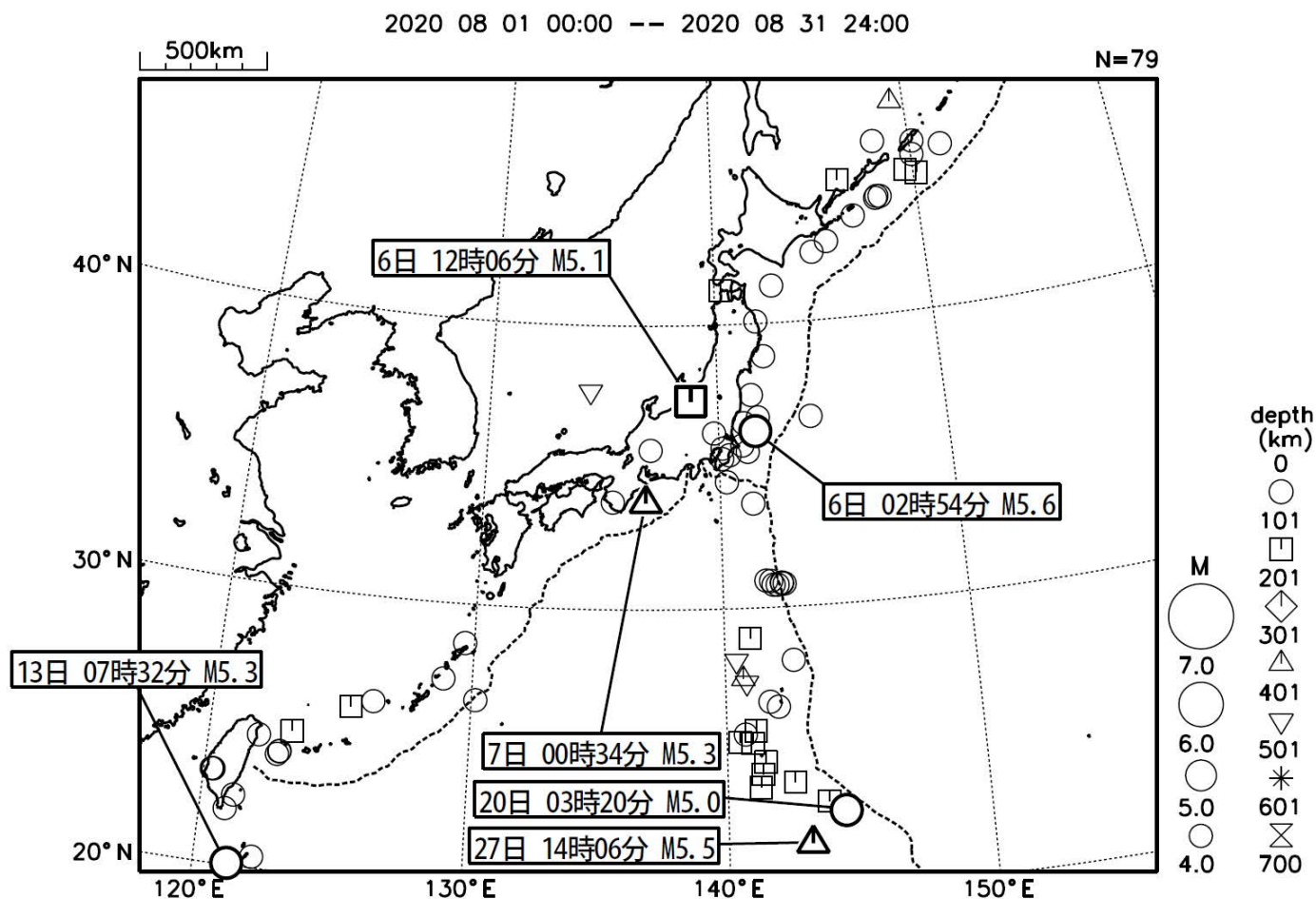


図1 令和2年8月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

令和2年（2020年）8月に日本国内で震度4以上を観測した地震はなく（7月は1回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は79回（7月は84回）であった（図1）。

8月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3に示す。8月中に震度5弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震もなかった（7月も震度5弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震もなかった）。

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和2年8月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	8 6 2 54	茨城県沖	5.6	5.4	・ ・ ・ ・	3：福島県 郡山市湖南町＊ 玉川村小高＊ 双葉町両竹＊ など3県5地点	7

（注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。

（注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

（注4）M_w欄の「－」はM_wが求められていないことを示す。

（注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

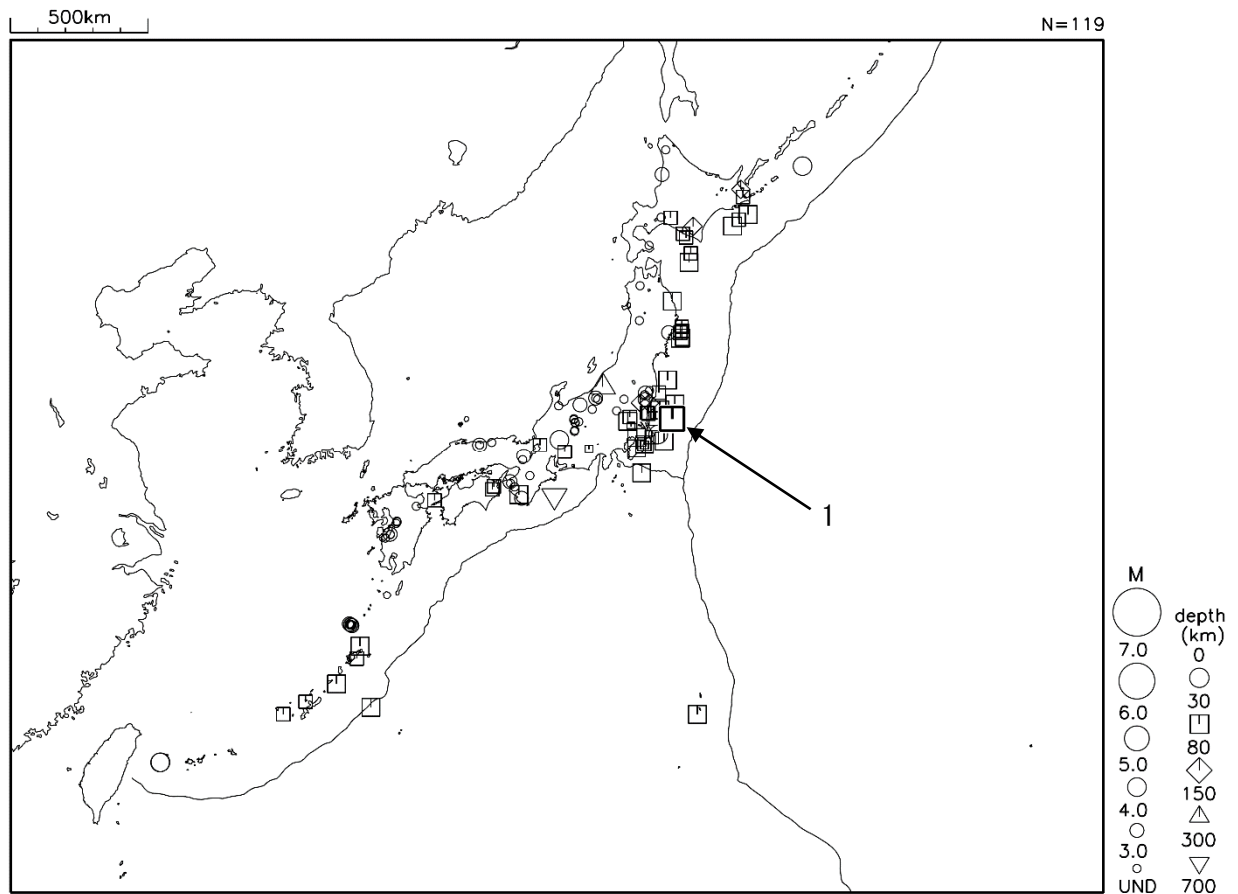


図2 令和2年8月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

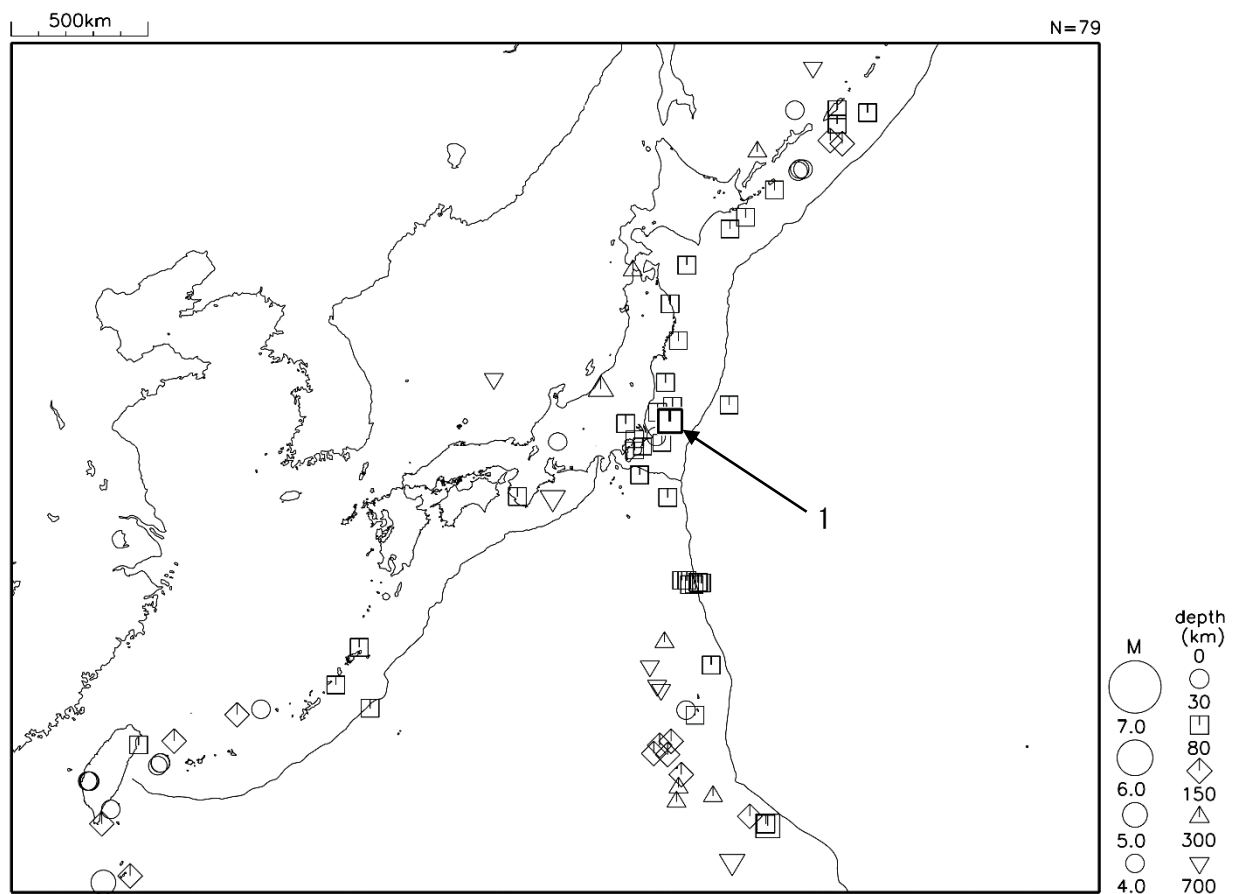


図3 令和2年8月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

○北海道地方の地震活動

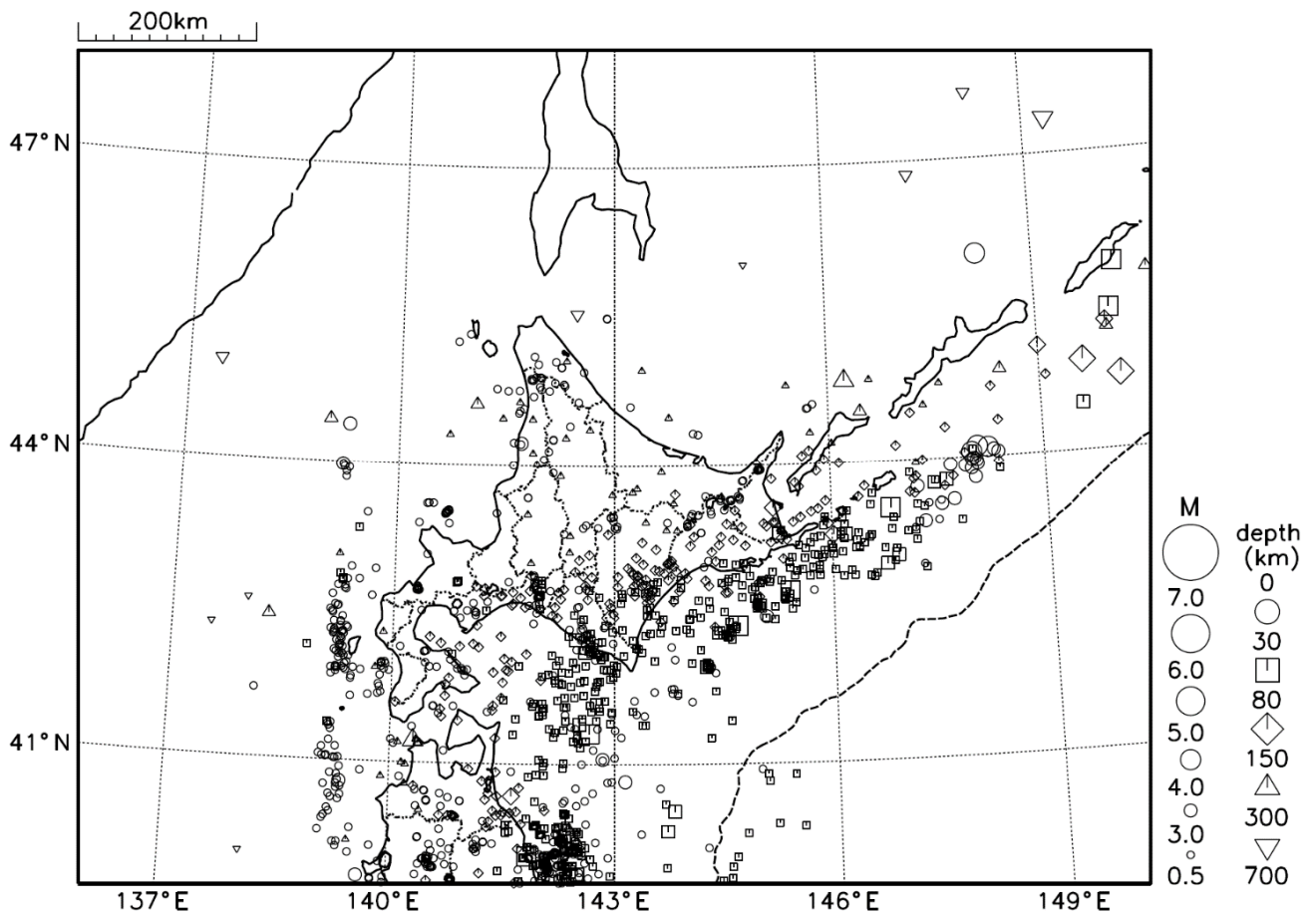


図4 北海道地方の震央分布図（2020年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

8月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は16回（7月は12回）であった。
8月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

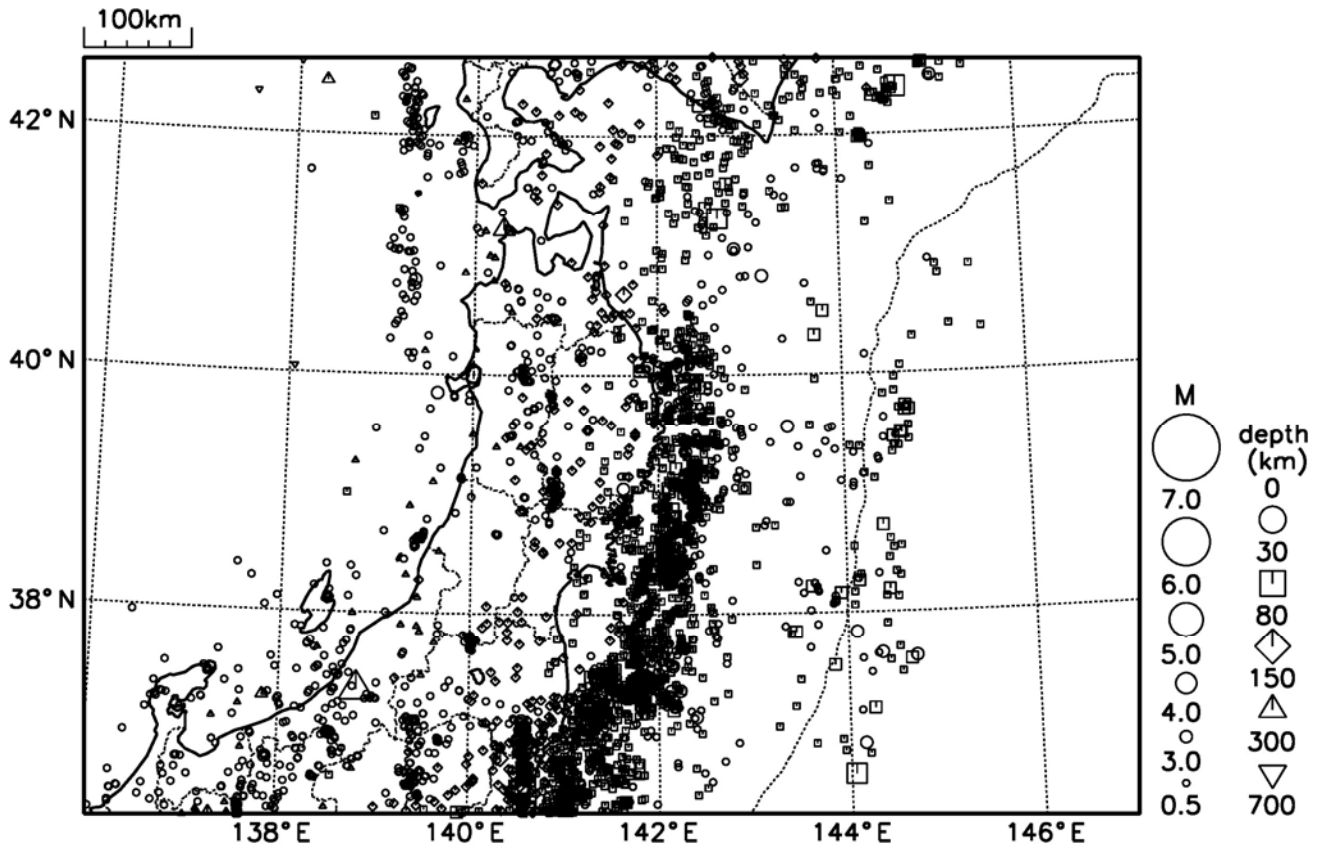


図5 東北地方の震央分布図（2020年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

8月に東北地方で震度1以上を観測した地震は24回（7月は37回）であった。

8月中、特に目立った活動はなかった。

○関東・中部地方の地震活動

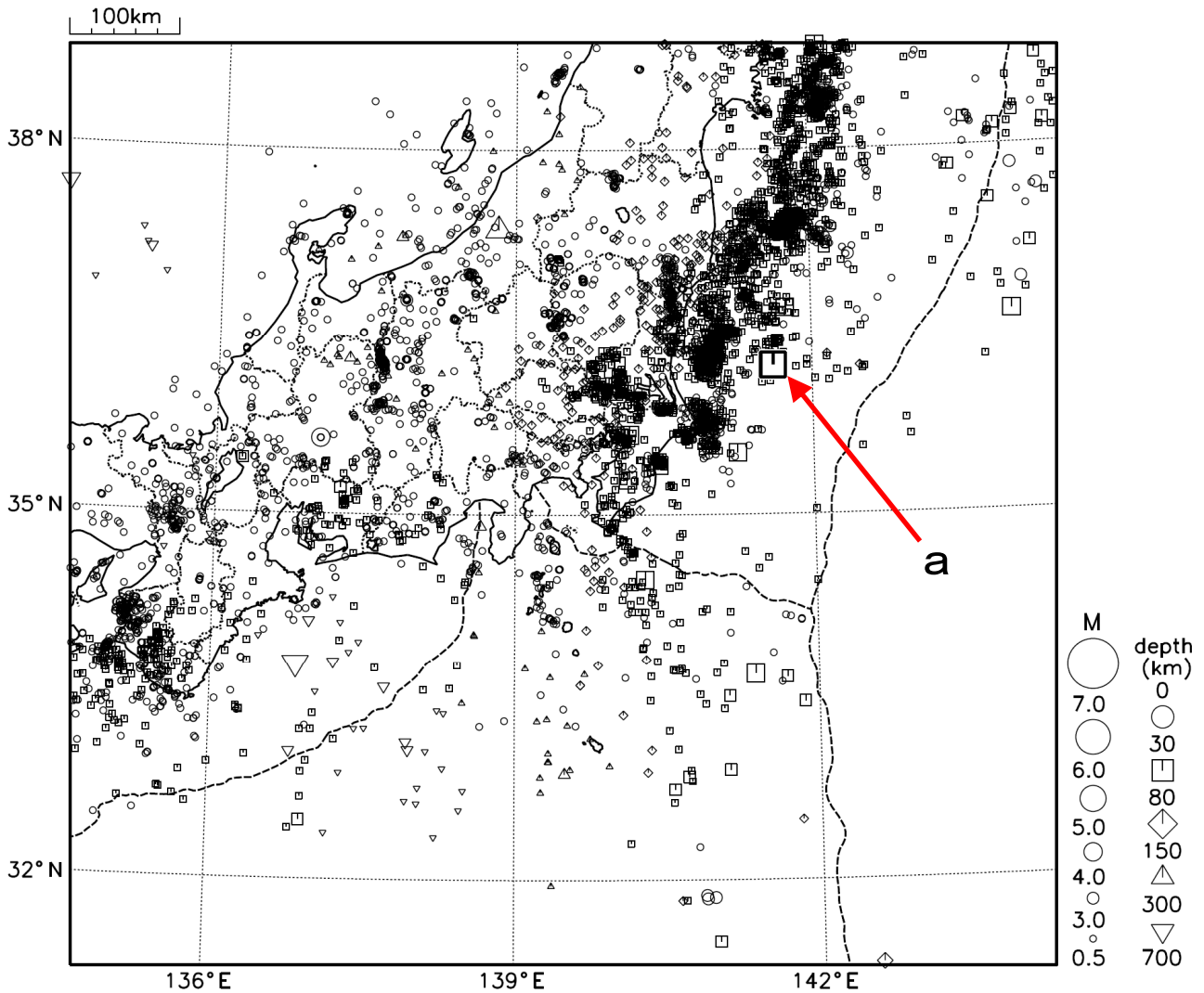


図6 関東・中部地方の震央分布図（2020年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$ ）

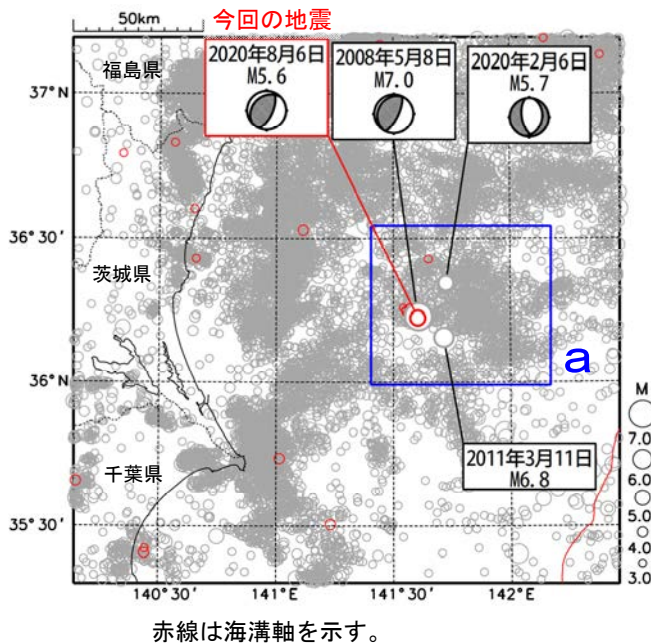
[概況]

8月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は43回（7月は90回）であった。8月中の主な活動は次の通りである。

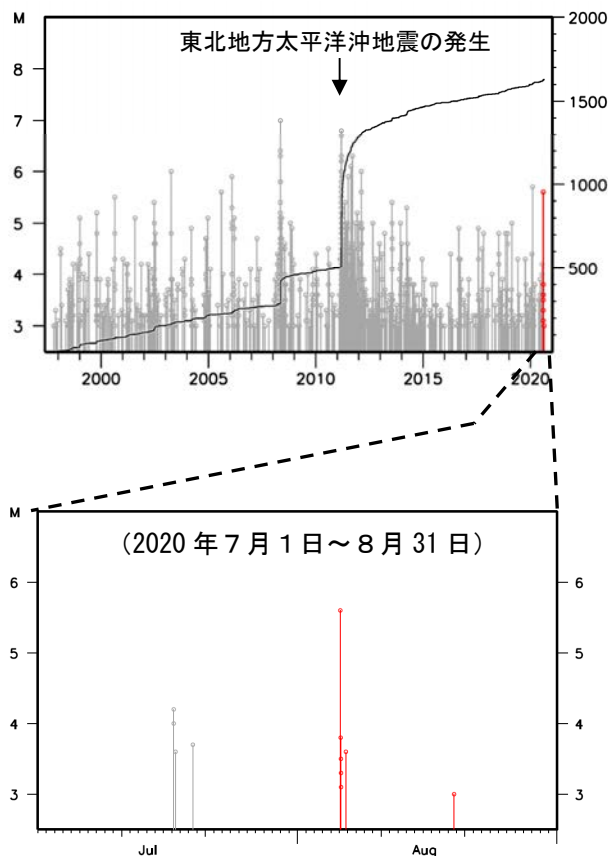
6日02時54分に茨城県沖でM5.6の地震（図6中のa）が発生し、福島県、茨城県及び栃木県で震度3を観測したほか、東北地方、関東・甲信越地方及び静岡県で震度2～1を観測した（p.7参照）。

8月6日 茨城県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2020年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2020年8月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内のM-T図及び回数積算図

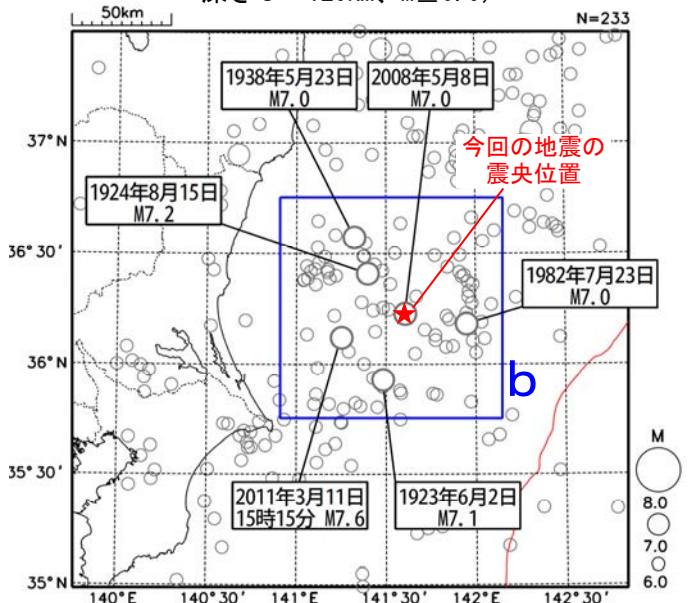


2020年8月6日02時54分に茨城県沖でM5.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

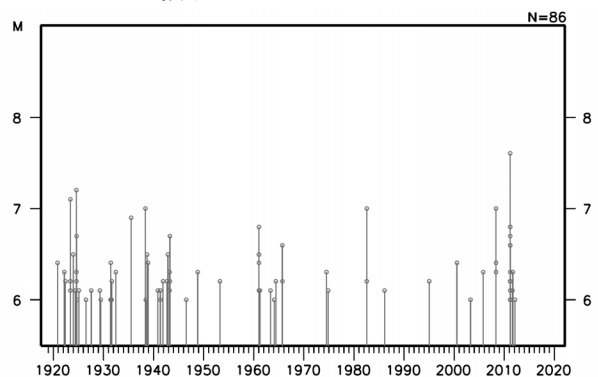
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が時々発生している。2008年5月8日に発生したM7.0の地震（最大震度5弱）では、負傷者6人などの被害が生じた（総務省消防庁による）。「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震）が発生した際は、地震活動が活発に推移した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が時々発生している。このうち、2011年3月11日15時15分に茨城県沖で発生したM7.6の地震（最大震度6強）は、東北地方太平洋沖地震の最大余震である。

震央分布図
(1919年1月1日～2020年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)



領域b内のM-T図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

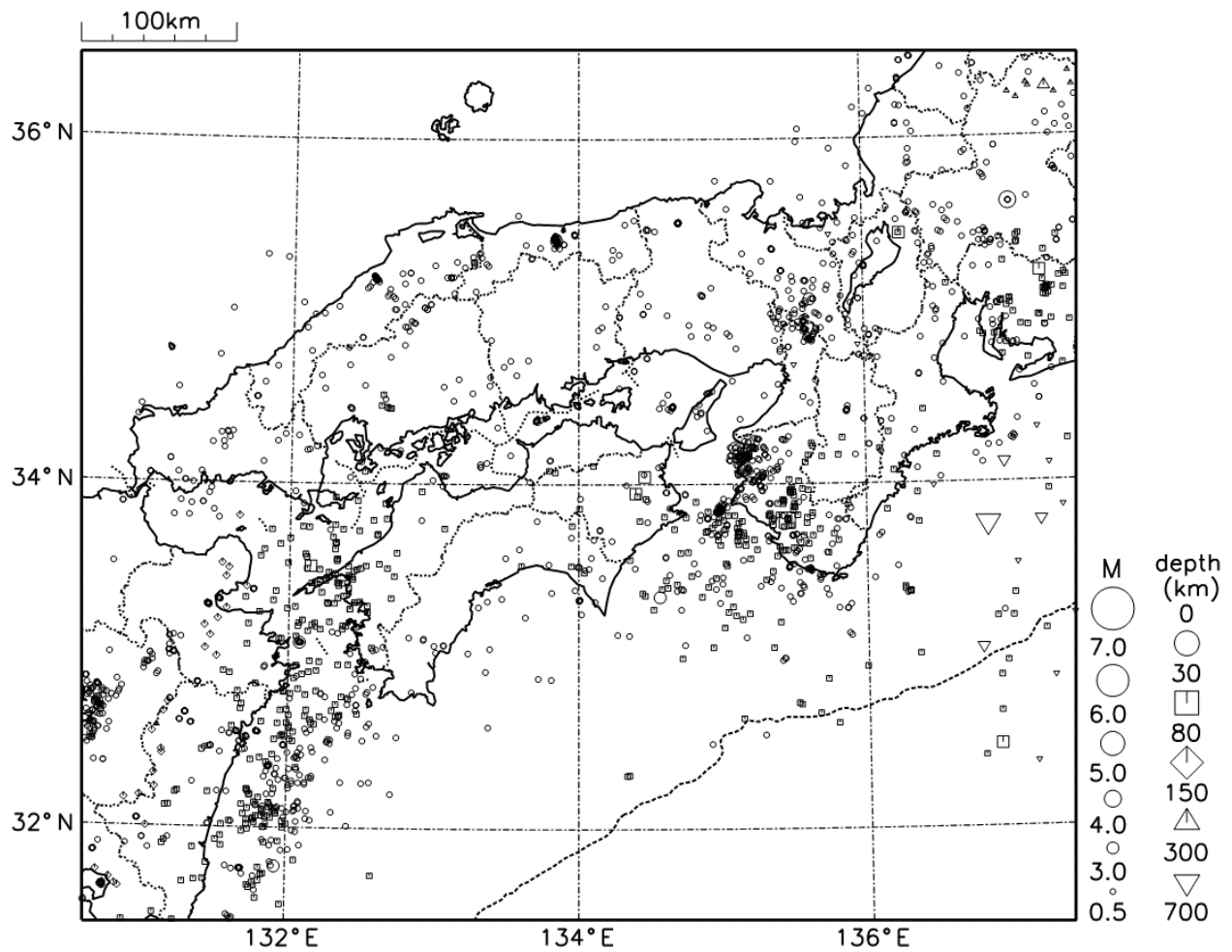


図7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2020年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

8月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は17回（7月は16回）であった。
8月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

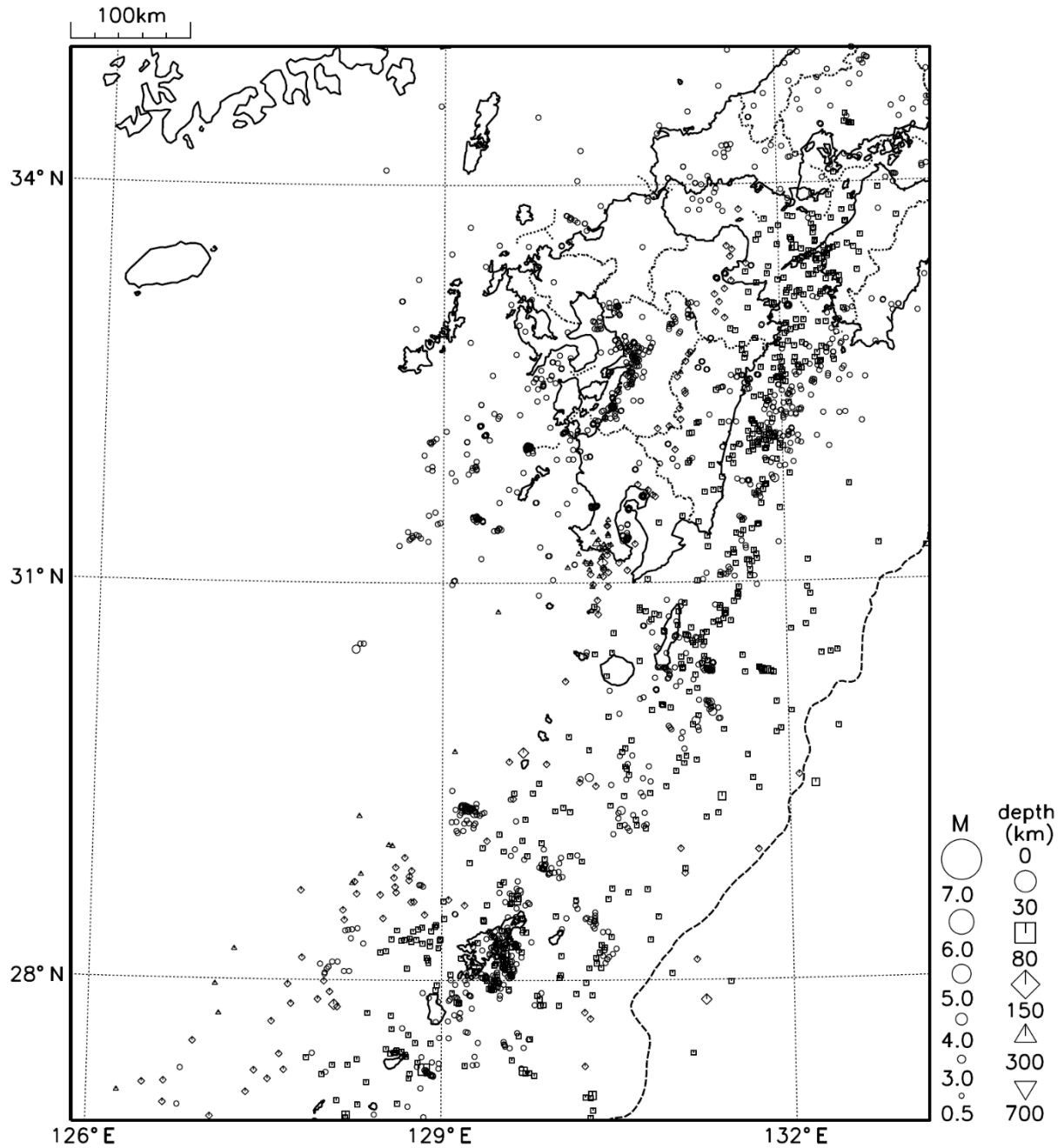


図8 九州地方の震央分布図（2020年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

8月に九州地方で震度1以上を観測した地震は26回（7月は24回）であった。
8月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

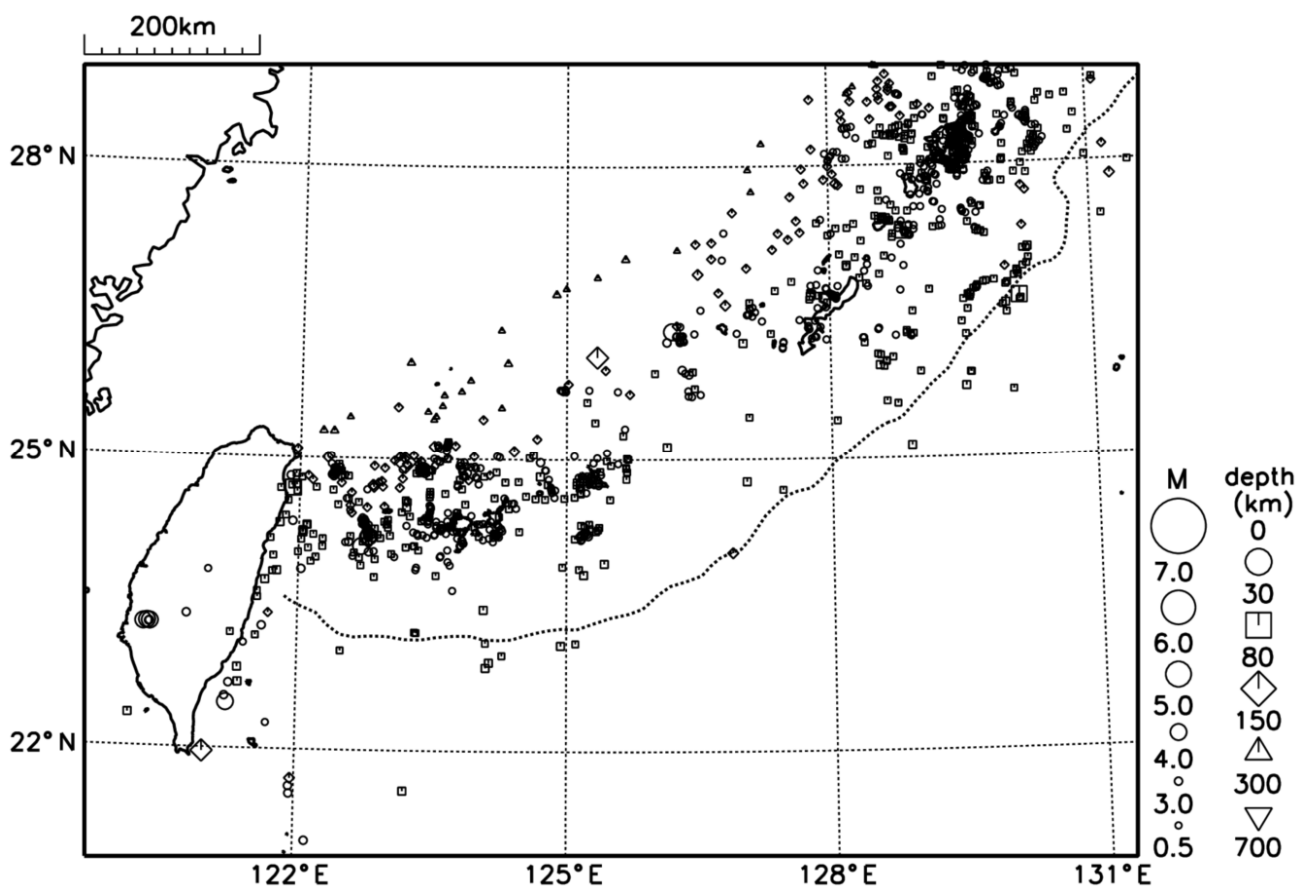


図9 沖縄地方の震央分布図（2020年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

8月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は5回（7月は3回）であった。
8月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

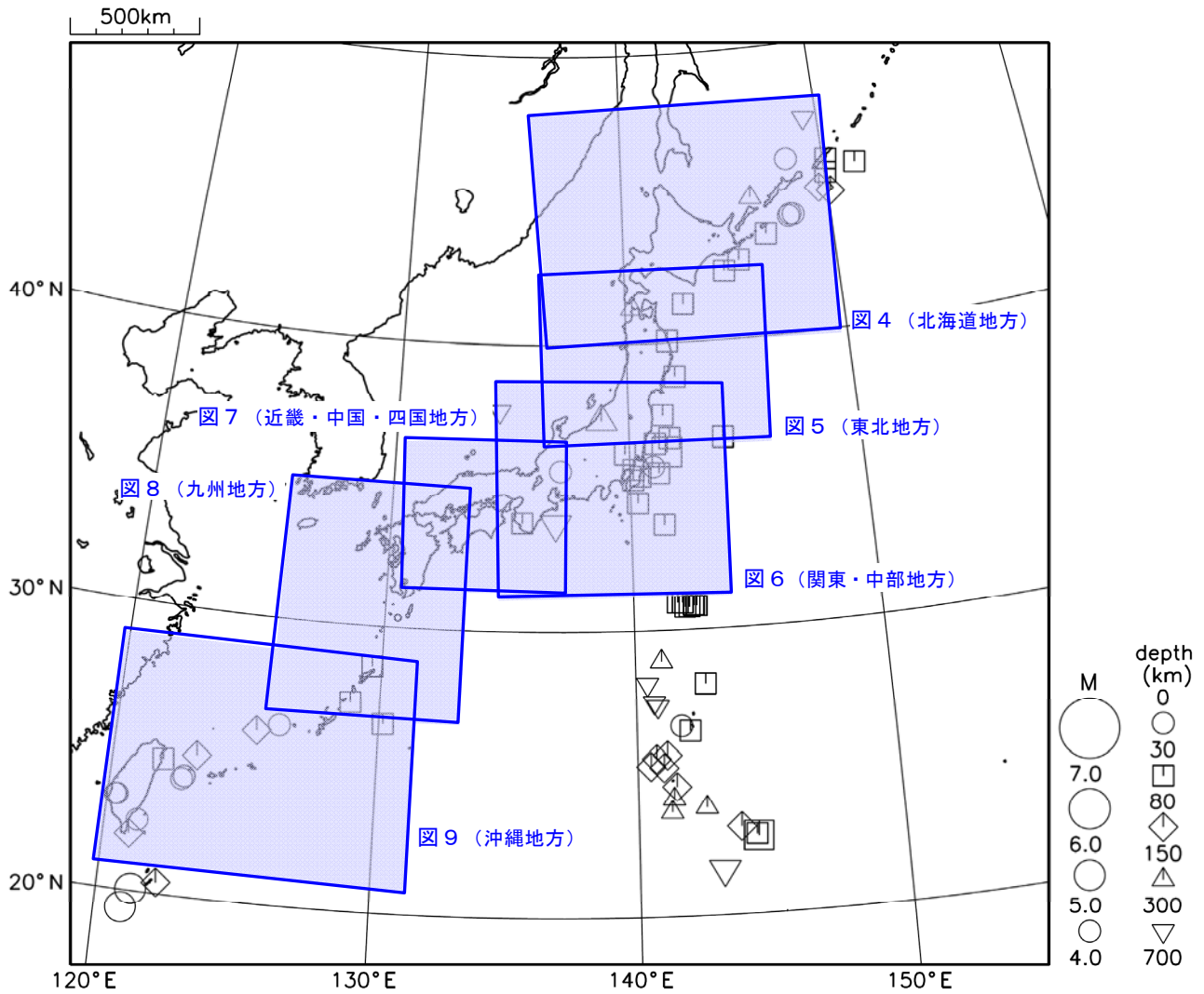


図10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2020年8月1日～8月31日、 $M \geq 4.0$ ）

〔概況〕

8月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震はなかった（7月は1回）。

8月中に図4～9の領域外で特に目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第35回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第413回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和2年9月7日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した。これに関連する資料をp.14～60に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^{（注）}と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8～M9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70～80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関係する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

（1）四国東部から四国西部：7月22日から8月23日

（2）東海：8月2日から8日

（3）紀伊半島中部から紀伊半島西部：8月23日から27日

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。また、上記（1）の期間に同地域及びその周辺のGNSSのデータでも、わずかな地殻変動を観測しています。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、2019年中頃から志摩半島で観測されているそれまでの傾向とは異なるわずかな地殻変動は、最近では停滞しているように見えます。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動及び2019年中頃からの志摩半島での地殻変動は、それぞれ四国中部周辺及び志摩半島周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、志摩半島周辺の長期的ゆっくりすべりは、最近では停滞しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊され则认为られている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3 km 以内で、相互の発生時間差が7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生し、前回は2013 年はじめ頃から2017 年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、通常地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P 波やS 波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

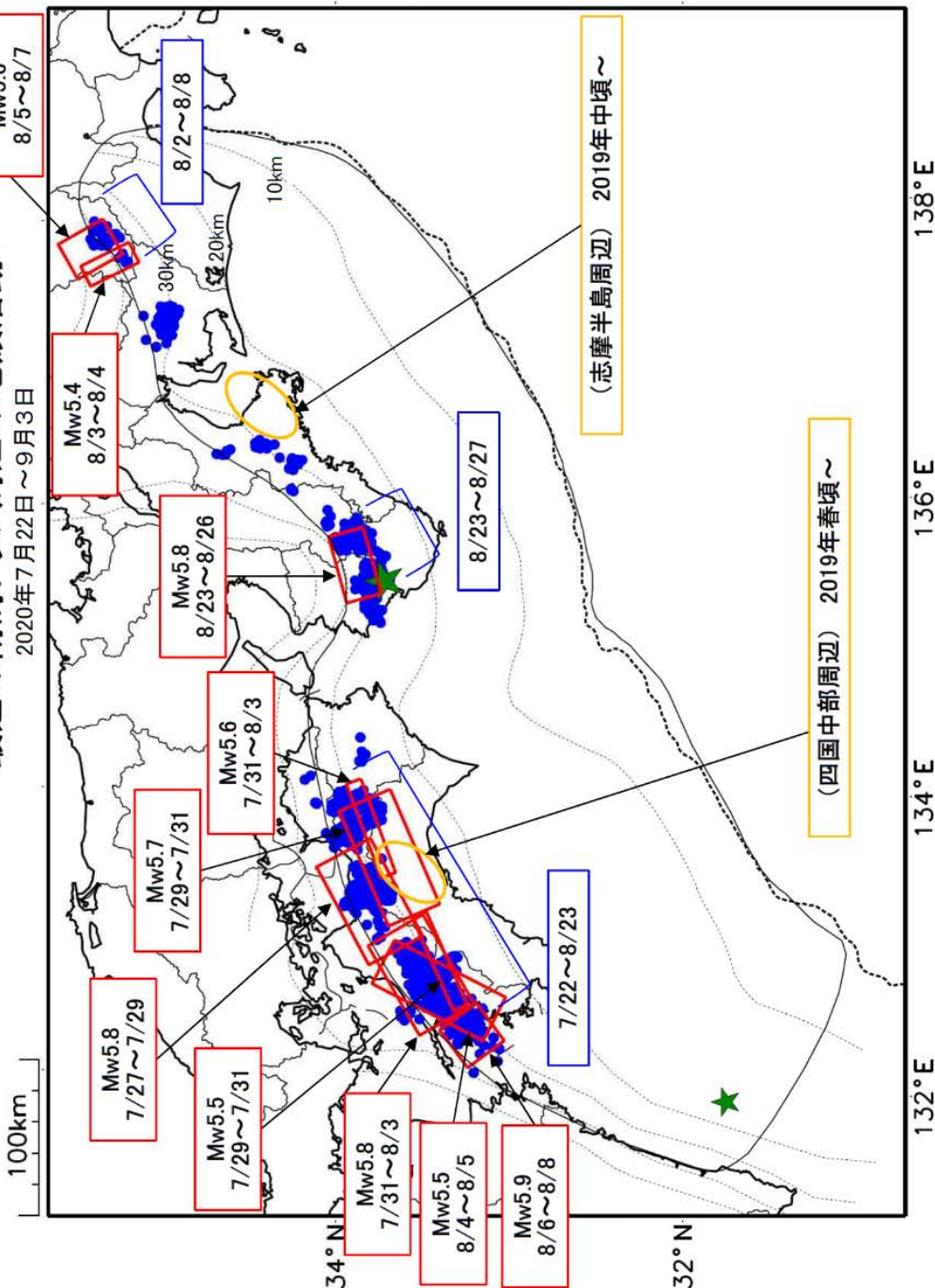
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1 年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2020年7月22日～9月3日



- 緑(★) 通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●) 深部低周波地震(微動)
- 赤(□) 短期的ゆっくりすべり
- 黄(○) 長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり……………【東海】気象庁の解析結果による。
 長期的ゆっくりすべり……………【紀伊半島中部から紀伊半島西部、四国東部から四国西部】産業技術総合研究所の解析結果による。
 ………………【四国中部周辺、志摩半島周辺】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

※通常の地震は、8月1日以降のものを表示している。

気象庁作成

令和2年8月1日～令和2年9月3日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時：分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
8/1	12:15	和歌山県南部	46	4.2	3	フィリピン海プレート内部
8/5	20:40	日向灘	25	3.5	-	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■四国東部 <u>7月30日～8月5日</u> ・・・(1) 8月7日～8日 8月15日～16日 8月29日 ■四国中部 <u>7月22日～8月4日</u> ・・・(1) 8月6日、8月10日 8月15日、 8月19日～20日 ■四国西部 <u>7月29日～8月23日</u> ・・・(1) 8月28日～30日	■紀伊半島北部 8月3日 8月7日 8月27日 ■紀伊半島中部 8月14日～15日 <u>8月23日～25日</u> <u>8月27日</u> }・・・(3) ■紀伊半島西部 8月2日～4日 8月6日～7日 8月13日 8月15日 <u>8月24日～27日</u> ・・・(3)	<u>8月2日～8日</u> ・・・(2) 9月2日～（継続中）

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

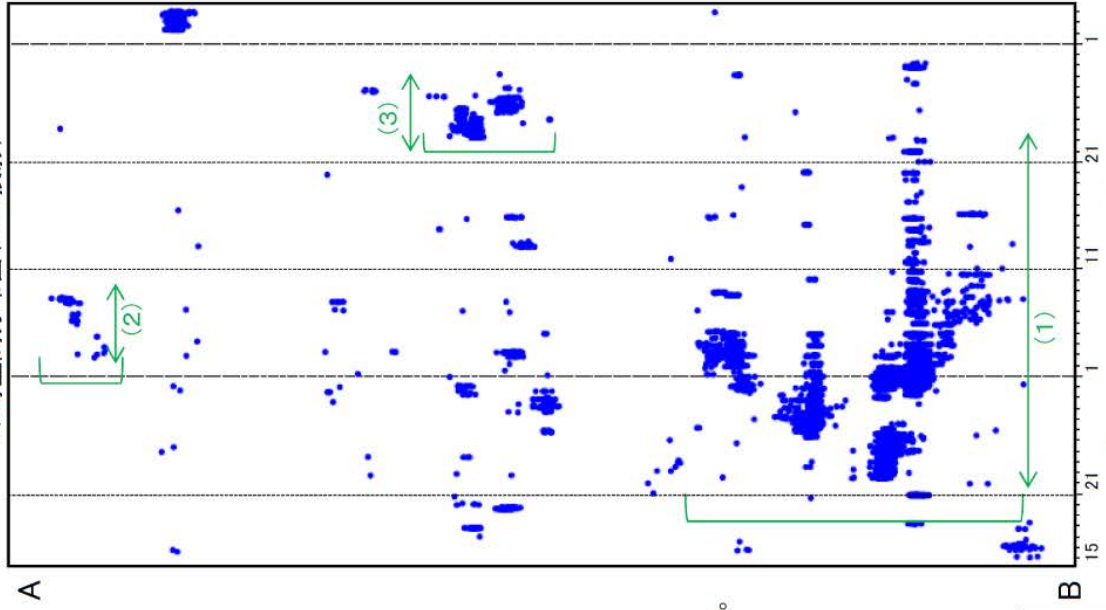
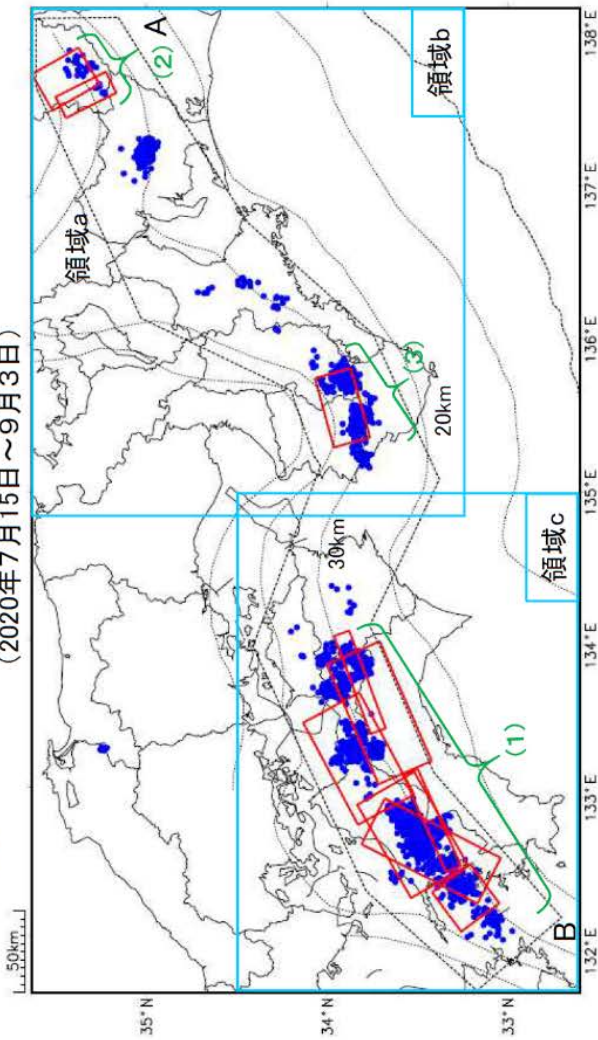
※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）～（3）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

気象庁作成

深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要

深部低周波地震（微動）の震央分布図と短期的ゆっくりすべりの断層モデル
 領域a（点線矩形）内の深部低周波地震（微動）の時空間分布図（A-B投影）
 （2020年7月15日～9月3日）



※領域b（東海から紀伊半島）、領域c（四国）の拡大図を次頁以降に示す。

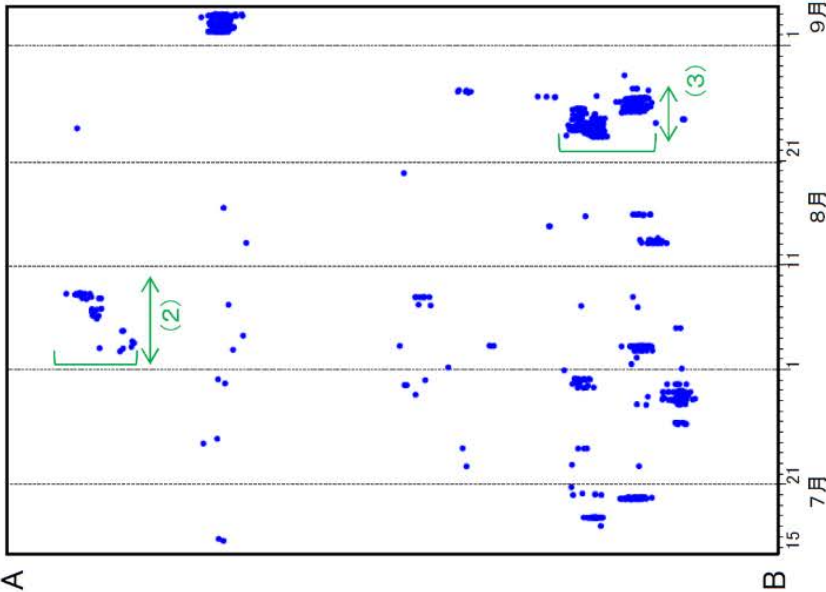
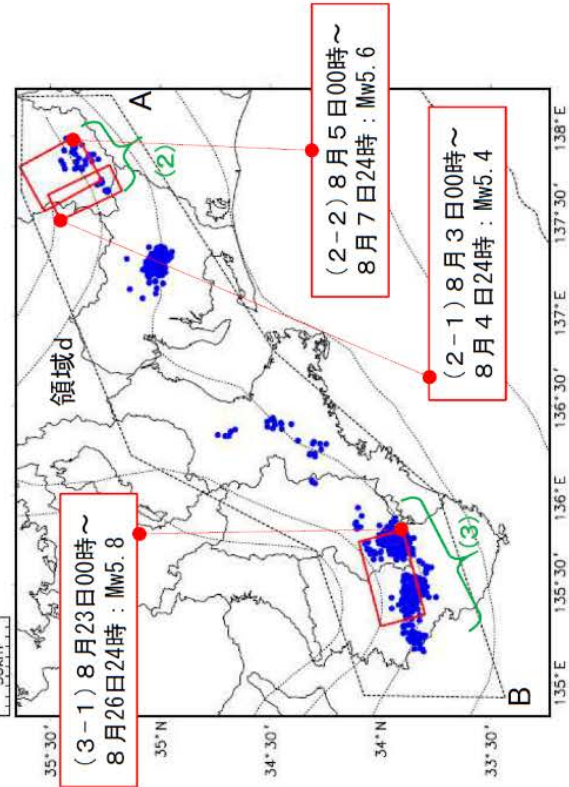
※深部低周波地震（微動）活動の活動期間、短期的ゆっくりすべりの詳細は次頁以降に示す。

●：深部低周波地震（微動）震央（気象庁の解析結果を示す） 期間（気象庁の解析結果を示す）
 □：短期的ゆっくりすべりの断層モデル（東海：気象庁の解析結果を示す。紀伊半島、四国：産業技術総合研究所の解析結果を示す。）
 点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10kmごとの等深線)を示す。

気象庁作成

深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要（東海から紀伊半島）

領域b内の深部低周波地震（微動）の震央分布図と
短期的ゆっくりすべりの断層モデル（2020年7月15日～9月3日）
領域d（点線矩形）内の深部低周波地震（微動）の
時間分布図（A-B投影）



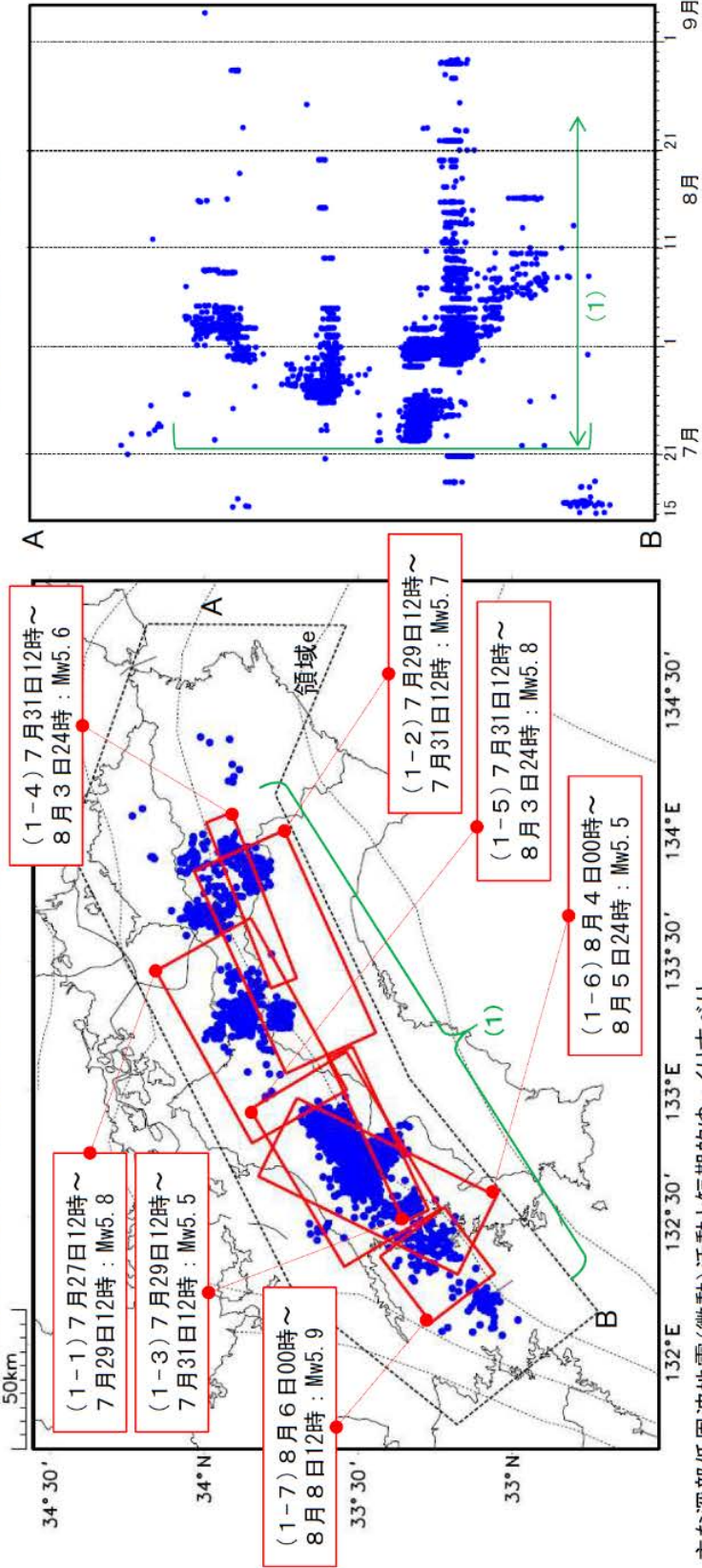
活動場所		深部低周波地震（微動）活動の期間	短期的ゆっくりすべりの期間と規模
(2)	東海	8月2日～8月8日	(2-1) 8月3日00時～8月4日24時 : Mw5.4 (2-2) 8月5日00時～8月7日24時 : Mw5.6
(3)	紀伊半島中部から 紀伊半島西部	8月23日～8月27日	(3-1) 8月23日00時～8月26日24時 : Mw5.8

●：深部低周波地震（微動）震央（気象庁の解析結果を示す）
□：短期的ゆっくりすべりの断層モデル（東海：気象庁の解析結果を示す。紀伊半島：産業技術総合研究所の解析結果を示す。）
点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10km)の等深線を示す。

気象庁作成

深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要（四国）

領域c内の深部低周波地震（微動）の震央分布図と
短期的ゆっくりすべりの断層モデル（2020年7月15日～9月3日）



主な深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

活動場所	深部低周波地震（微動）活動の期間		短期的ゆっくりすべりの期間と規模	
	活動の期間		短期的ゆっくりすべりの期間と規模	
(1)	四国東部から 四国西部	7月22日～8月23日	(1-1) 7月27日12時～7月29日12時 : Mw5.8 (1-2) 7月29日12時～7月31日12時 : Mw5.7 (1-3) 7月29日12時～7月31日12時 : Mw5.5 (1-4) 7月31日12時～8月3日24時 : Mw5.6	(1-5) 7月31日12時～8月3日24時 : Mw5.8 (1-6) 8月4日00時～8月5日24時 : Mw5.5 (1-7) 8月6日00時～8月8日12時 : Mw5.9

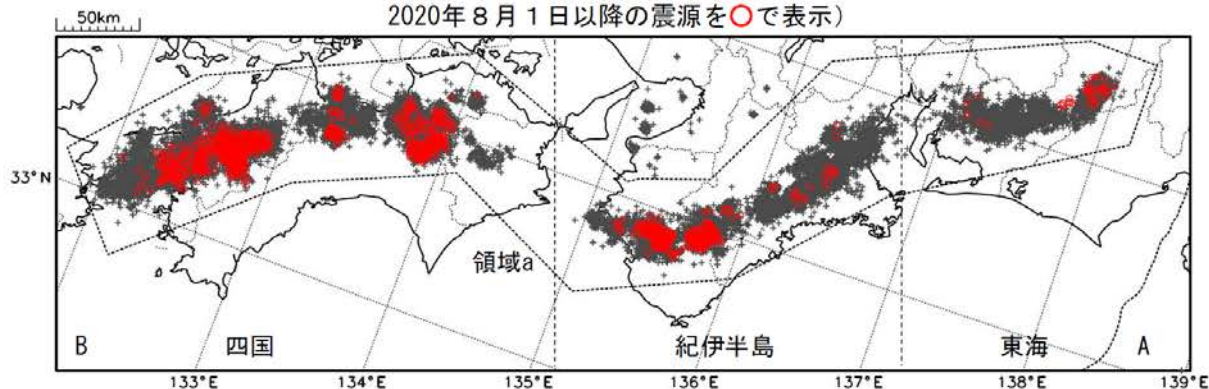
●：深部低周波地震（微動）震央（気象庁の解析結果を示す） 期間（気象庁の解析結果を示す）
□：短期的ゆっくりすべりの断層モデル（四国：産業技術総合研究所の解析結果を示す。）
点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ（10km）の等深線を示す。

気象庁作成

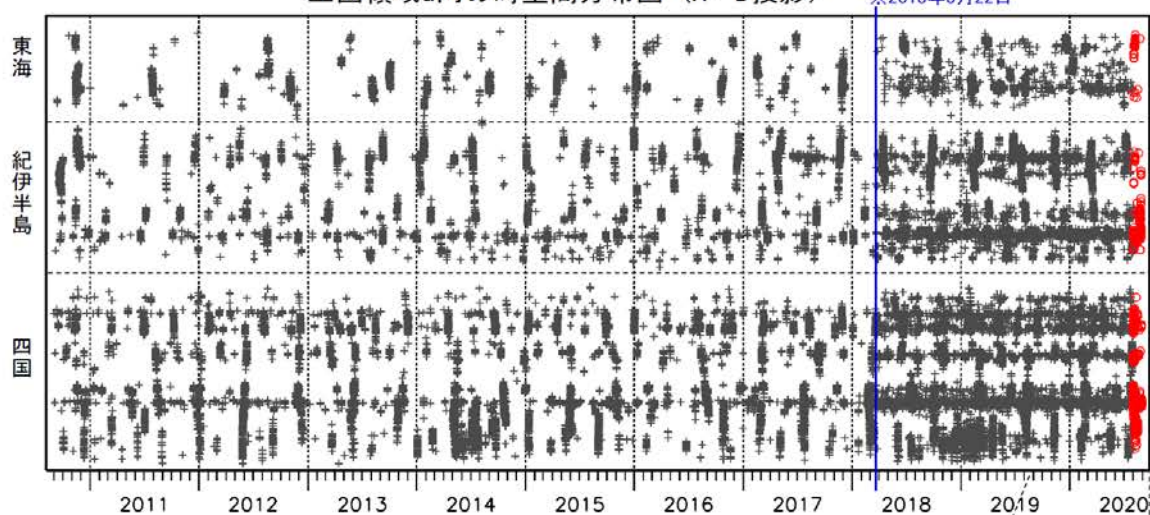
深部低周波地震（微動）活動（2010年9月1日～2020年8月31日）

深部低周波地震（微動）は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

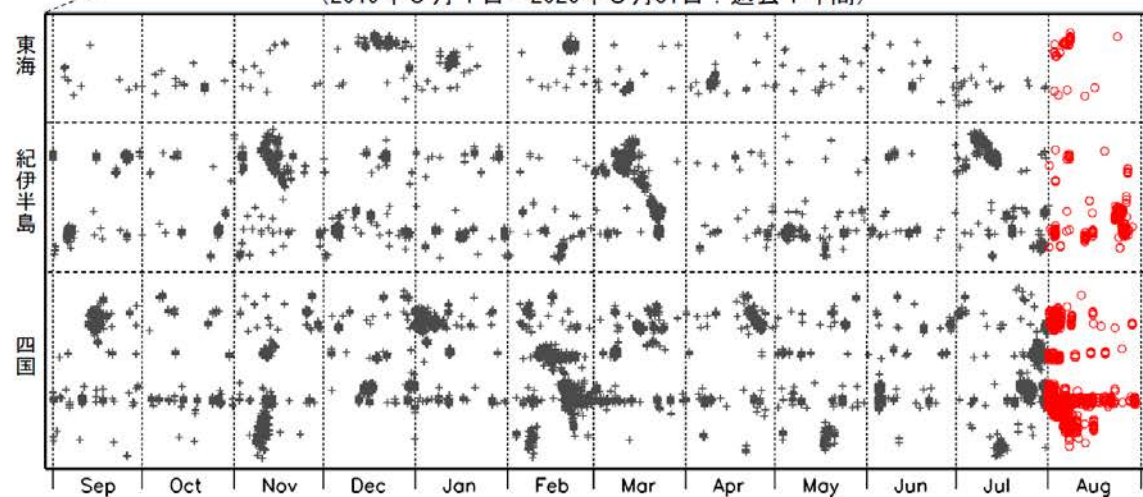
震央分布図（2010年9月1日～2020年8月31日：過去10年間
2020年8月1日以降の震源を○で表示）



上図領域a内の時空間分布図（A-B投影）



（2019年9月1日～2020年8月31日：過去1年間）



※2018年3月22日から、深部低周波地震（微動）の処理方法の変更（Matched Filter法の導入）により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況
(2020年8月)



防災科研



● 8月23～26日頃に紀伊半島南部において、やや活発な微動活動。

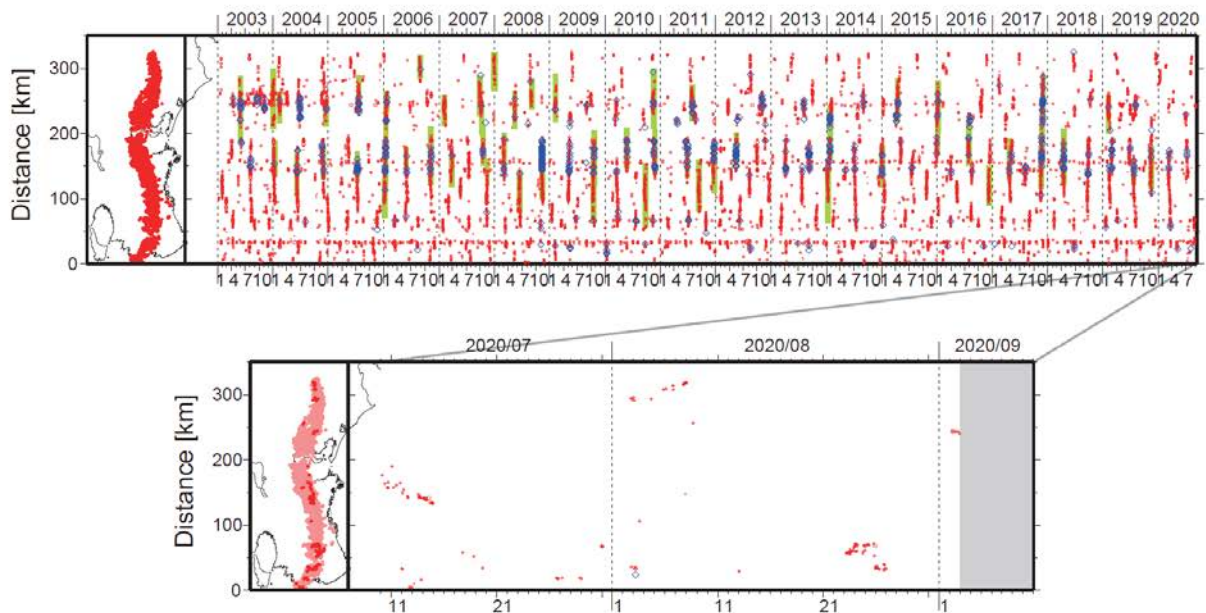


図1. 紀伊半島・東海地域における2003年1月～2020年9月2日までの深部低周波微動の時空間分布（上図）。赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスター処理 (Obara et al., 2010) によって1時間毎に自動処理された微動分布の重心である。青菱形は周期20秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である。黄緑色の太線はこれまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す。下図は2020年8月を中心とした期間の拡大図である。8月23～26日頃に奈良県南部から和歌山県中部において、やや活発な微動活動がみられた。この活動は奈良県南部で開始し、西方向への活動域の移動がみられた。8月2～3日頃には長野県南部においてごく小規模な活動がみられた。8月5～8日頃にはさらにその北の領域において小規模な活動がみられた。9月2日頃からは愛知県中部において、微動活動がみられる。

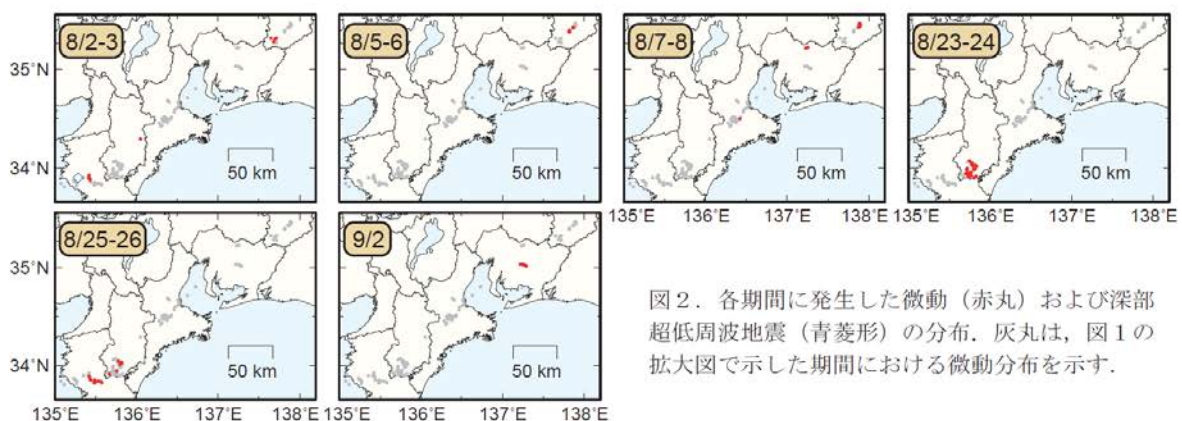


図2. 各期間に発生した微動（赤丸）および深部超低周波地震（青菱形）の分布。灰丸は、図1の拡大図で示した期間における微動分布を示す。

防災科学技術研究所資料

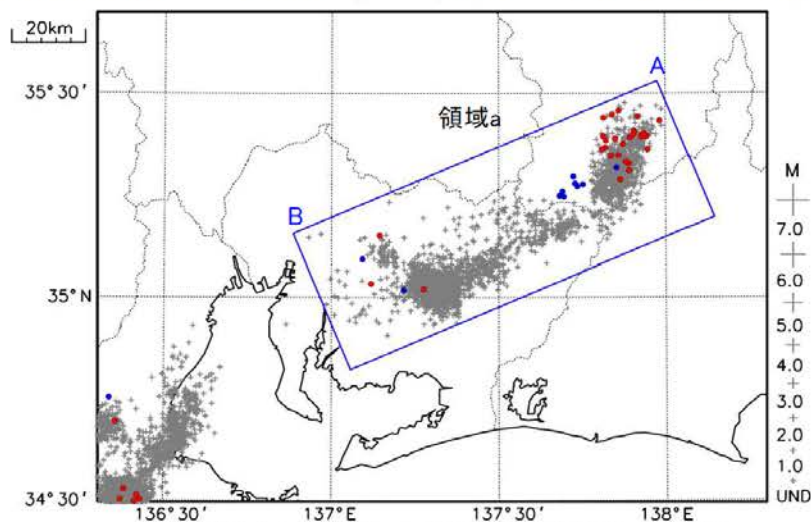
東海の深部低周波地震（微動）活動と 短期的ゆっくりすべり

8月2日から8日にかけて、東海で深部低周波地震（微動）を観測した。8月2日に長野・愛知県境付近で活動が始まり、8月5日以降はやや北東側で活動がみられた。

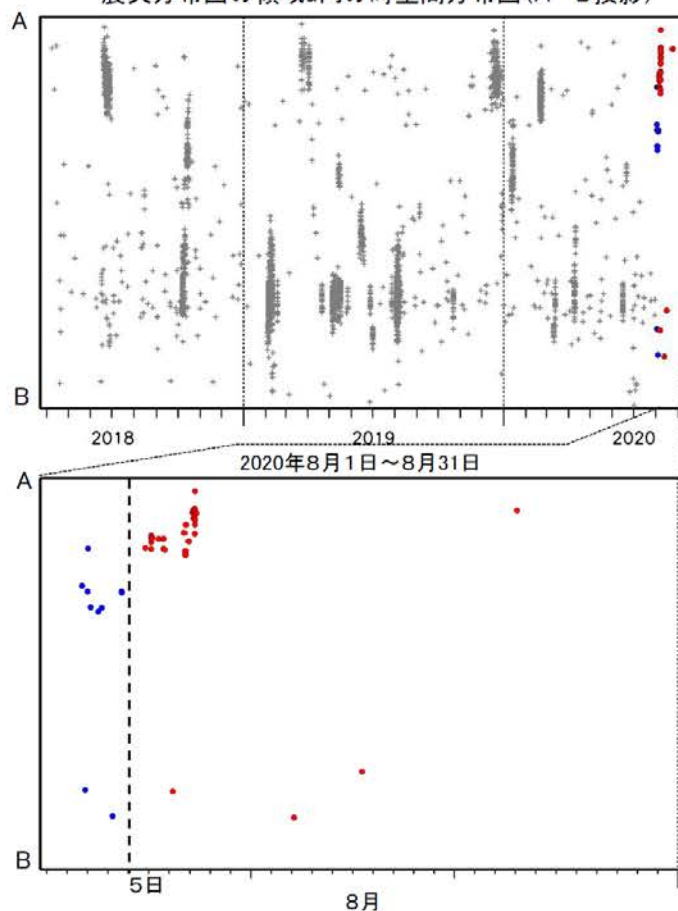
深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

深部低周波地震（微動）活動

震央分布図（2018年4月1日～2020年8月31日、深さ0～60km、Mすべて）
 灰：2018年4月1日～2020年7月31日、青：2020年8月1日～8月4日、赤：8月5日～8月31日



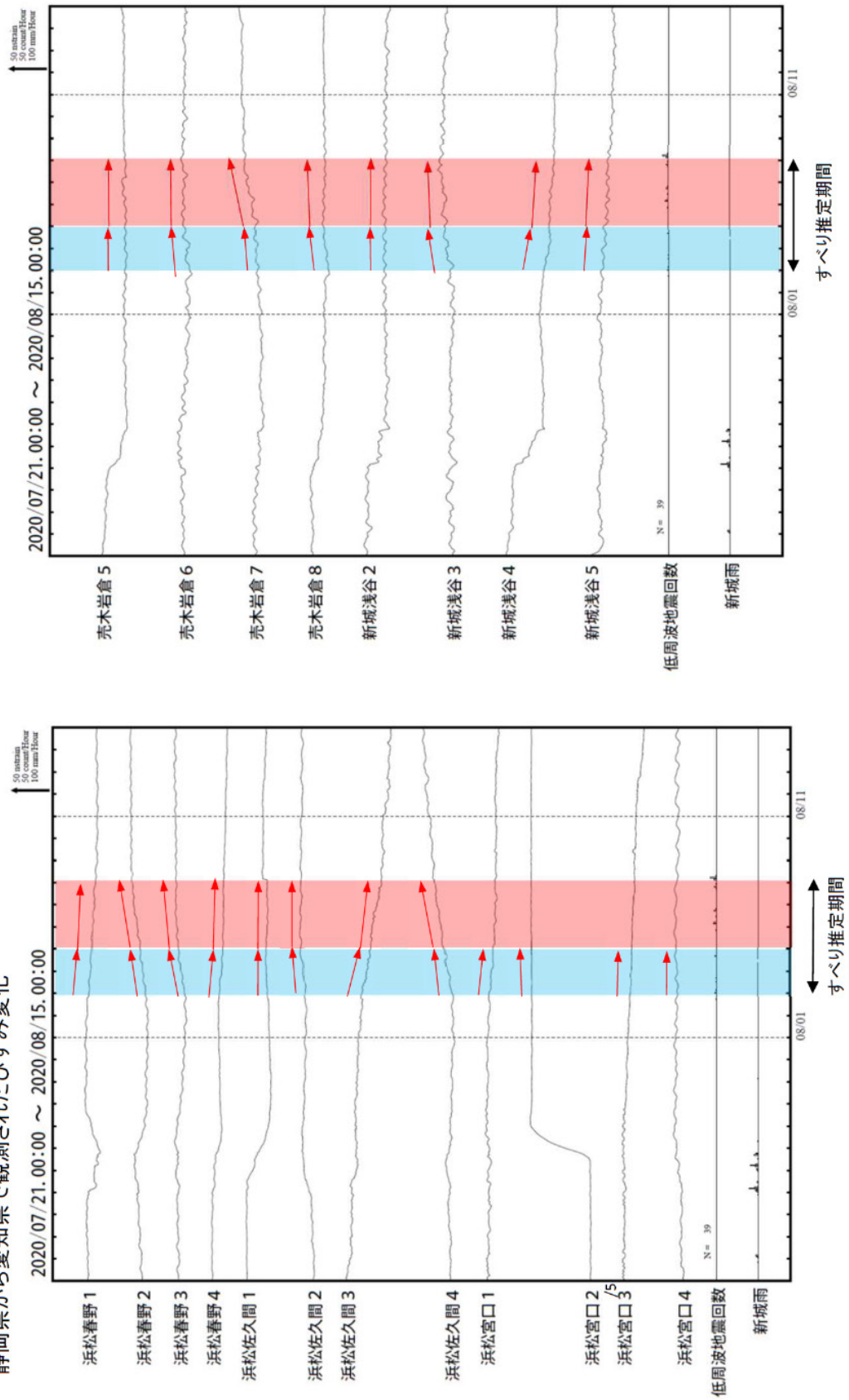
震央分布図の領域a内の時空間分布図（A-B投影）



気象庁作成

東海で観測した短期的ゆっくりすべり(8月3日～7日)

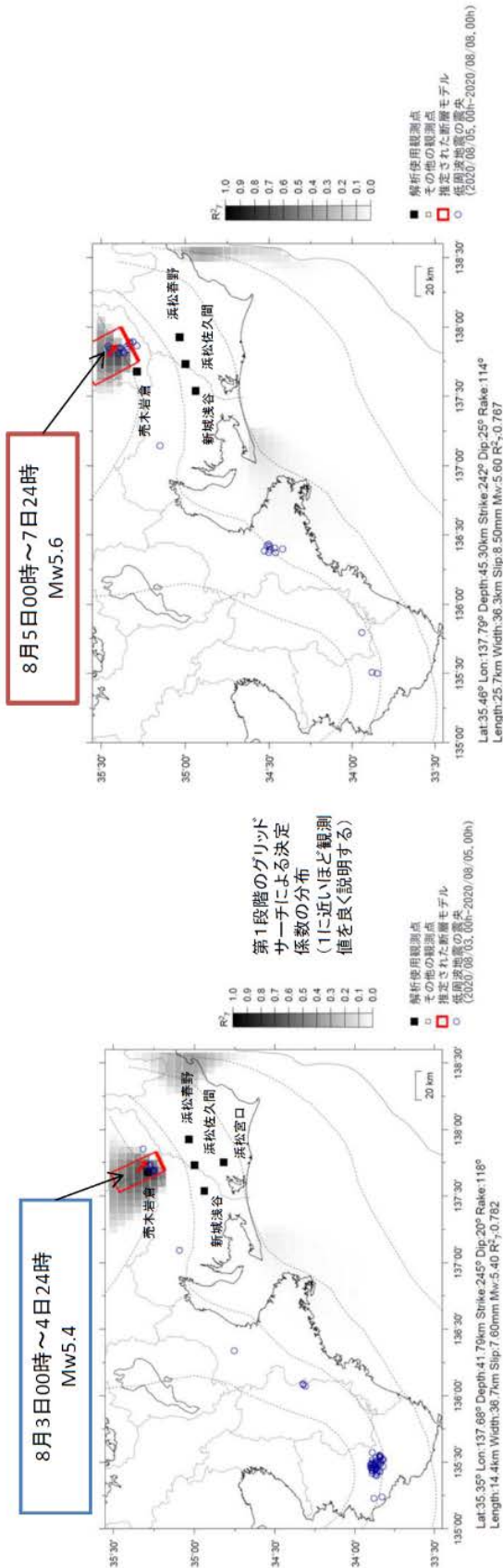
静岡県から愛知県で観測されたたひずみ変化



浜松春野は静岡県のひずみ計である。

気象庁作成

東海で観測した短期的ゆっくりすべり(8月3日～7日)



前図に観測されたひずみ観測点での変化量を元にすべり推定を行ったところ、
低周波地震とほぼ同じ場所にすべり域が求まった。

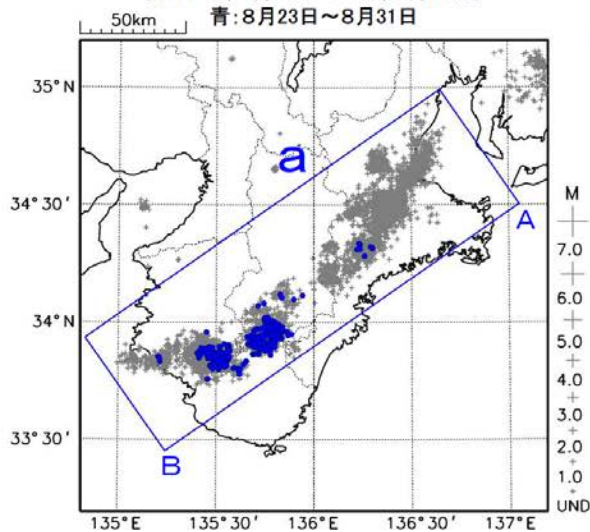
断層モデルの推定は、産総研の解析方法（板場ほか、2012）を参考に以下の2段階で行う。
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

紀伊半島中部から紀伊半島西部の深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

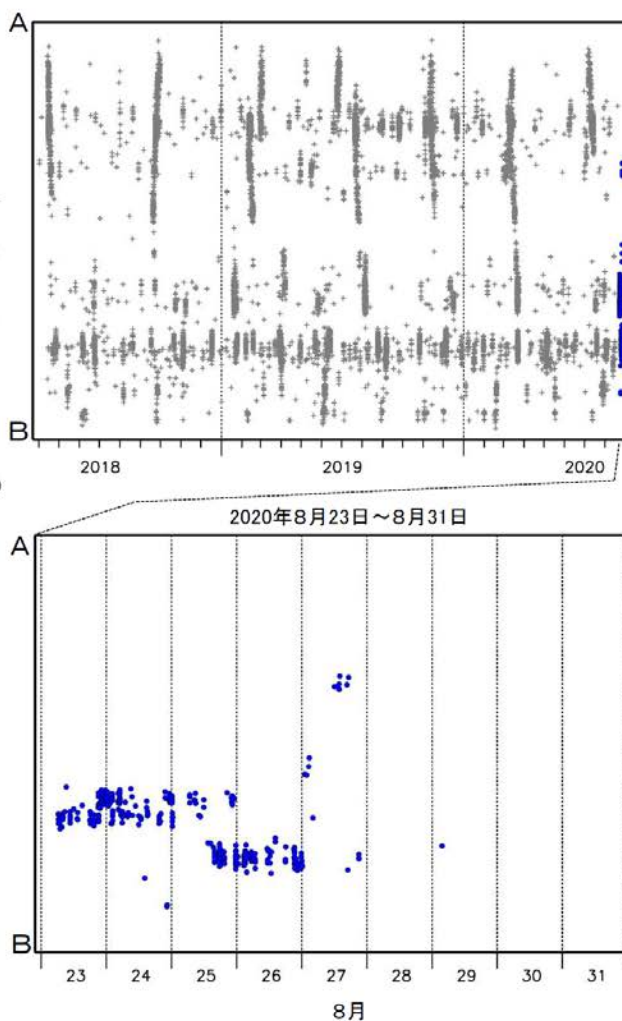
8月23日から27日にかけて、紀伊半島中部から紀伊半島西部で深部低周波地震（微動）を観測した。深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

深部低周波地震（微動）活動

震央分布図（2018年4月1日～2020年8月31日、
深さ0～60km、Mすべて）
灰：2018年4月1日～2020年8月22日、
青：8月23日～8月31日



震央分布図の領域a内の時空間分布図（A-B投影）



気象庁作成

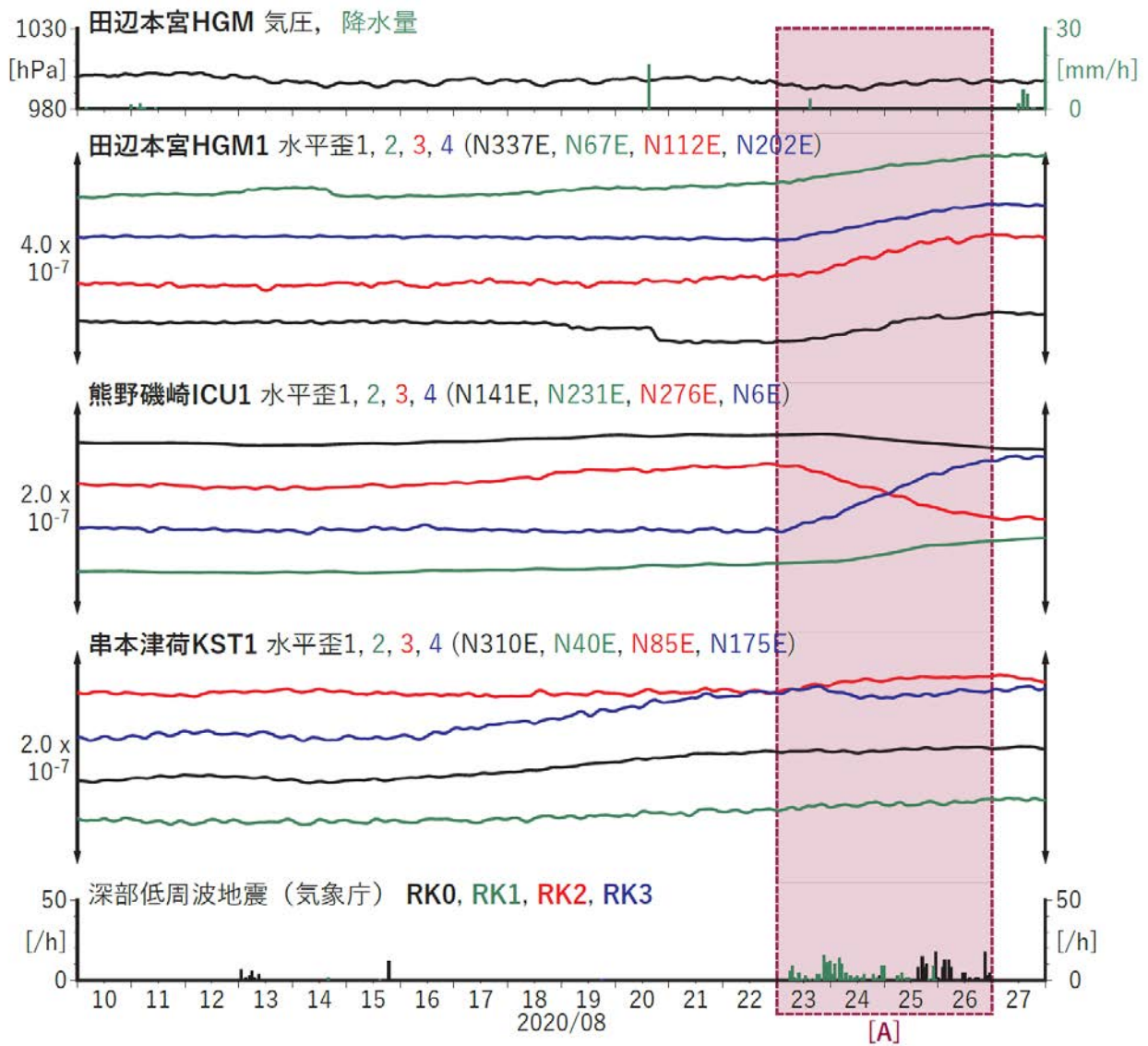


図16 歪の時間変化（2020/08/10 00:00 - 2020/08/28 00:00 (JST)）

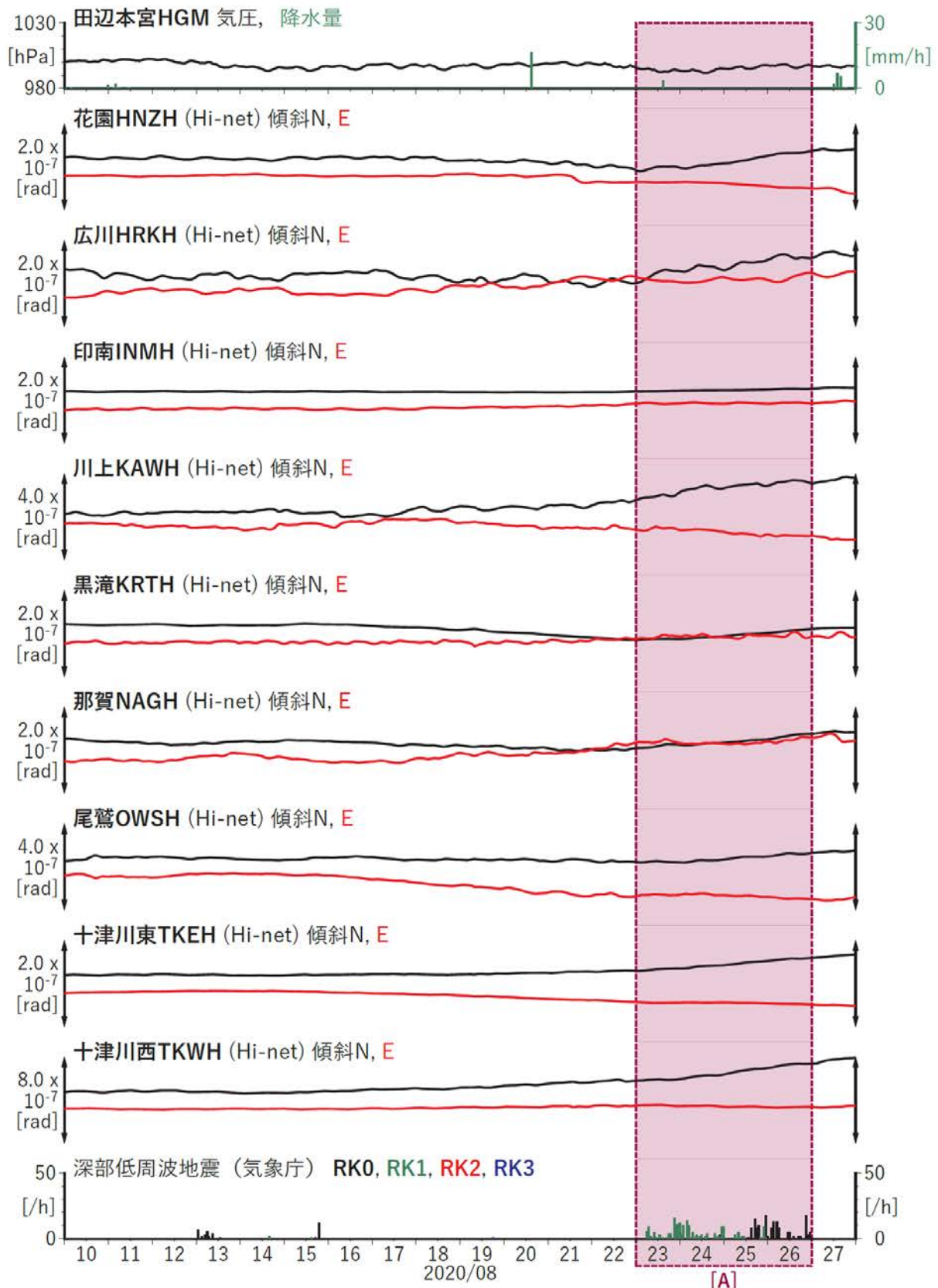
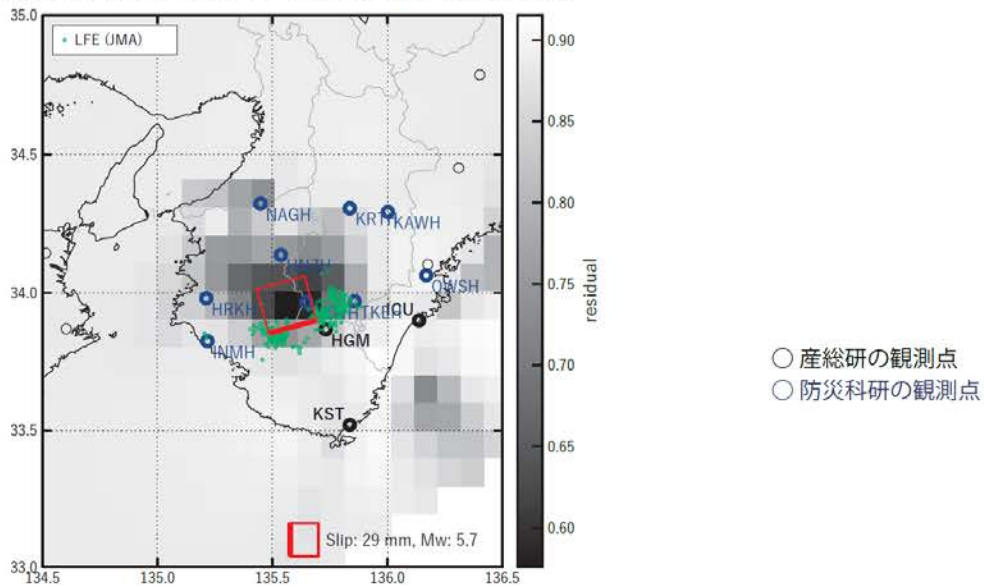


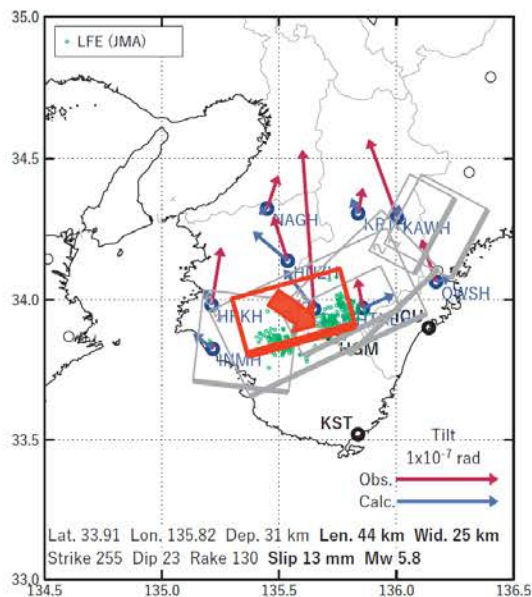
図17 傾斜の時間変化 (2020/08/10 00:00 - 2020/08/28 00:00 (JST))

[A] 2020/08/23-26

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

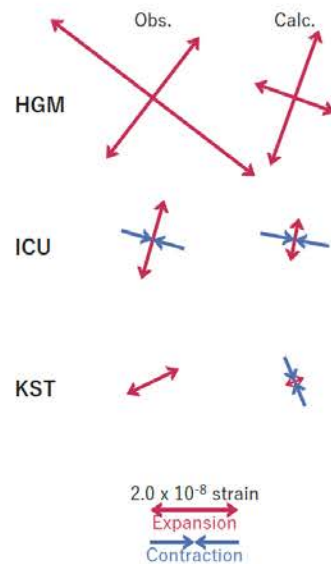


図18 2020/08/23-26 の歪・傾斜変化（図16-17[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2019/11/14PM-18AM (Mw5.6), 2: 2020/03/16PM-18 (Mw5.5), 3: 2020/03/19PM-21AM (Mw5.6)

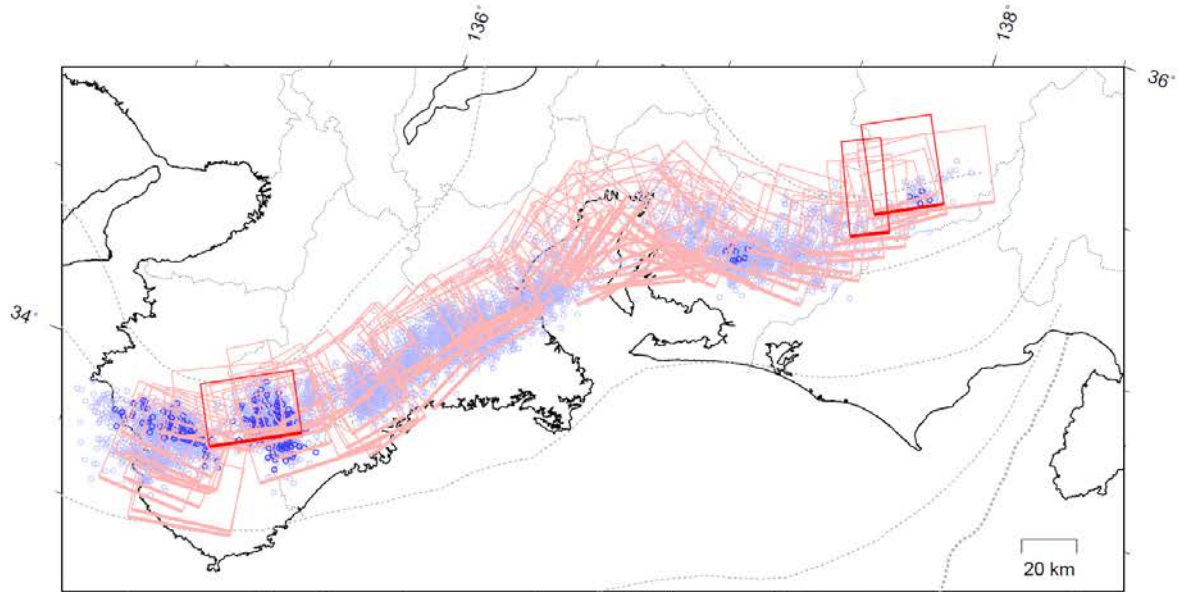
4: 2020/03/21PM-22AM (Mw5.5), 5: 2020/03/22PM-23AM (Mw5.4), 6: 2020/05/04-05AM (Mw5.4)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

東海～紀伊半島 短期的ゆっくりすべりの活動状況

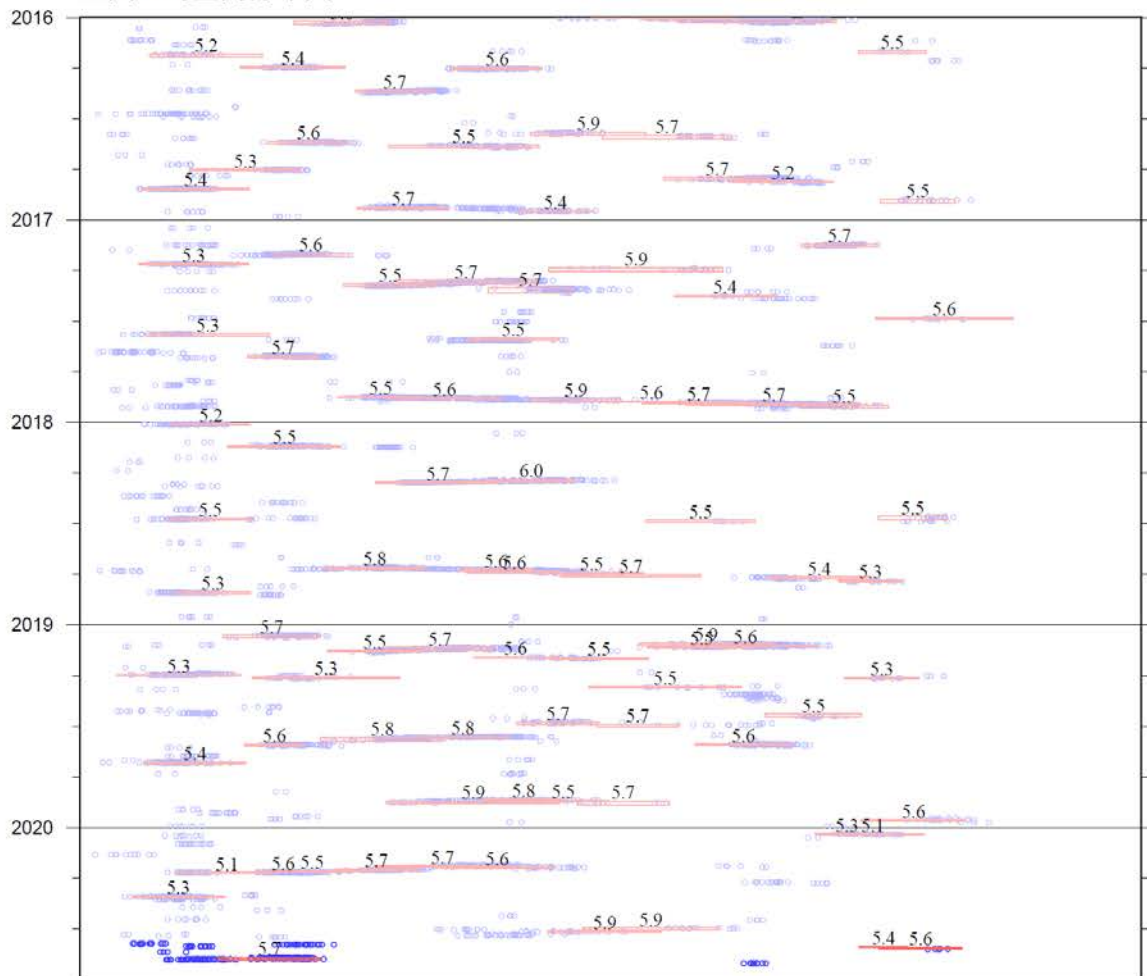
2016年1月1日～2020年9月2日

（2020年7月20日以降を濃く表示）



※破線は、フィリピン海プレート上面の等深線を示す。
※赤矩形は、気象庁による短期的ゆっくりすべりの断層モデル（参考解を含む）を示す。

上図の時空間分布図



※短期的ゆっくりすべりの解析には、気象庁、産業技術総合研究所及び静岡県データのデータを用いている。

※赤矩形の上に表示されている数字は解析されたMwを示す。

※青丸はエンベロープ相関法（防災科学技術研究所、東京大学地震研究所との共同研究による成果）で得られた低周波微動の震央を示す。

気象庁作成

四国の深部低周波微動活動状況（2020年8月）



防災科研



● 7月22日～8月11日頃に四国東部から西部において、活発な活動。

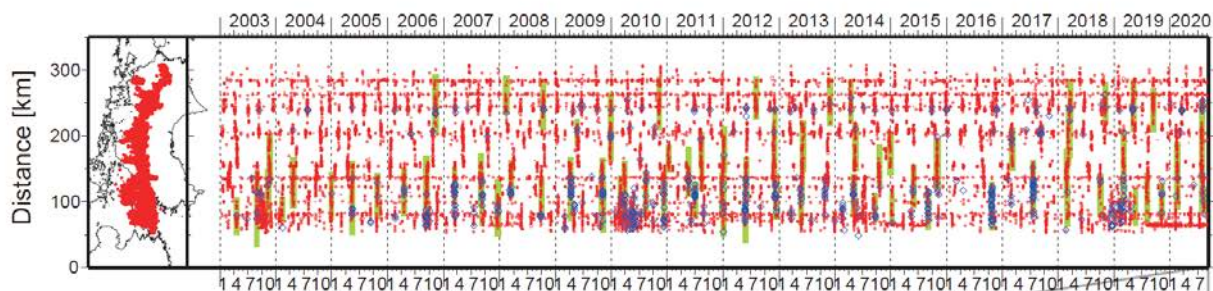
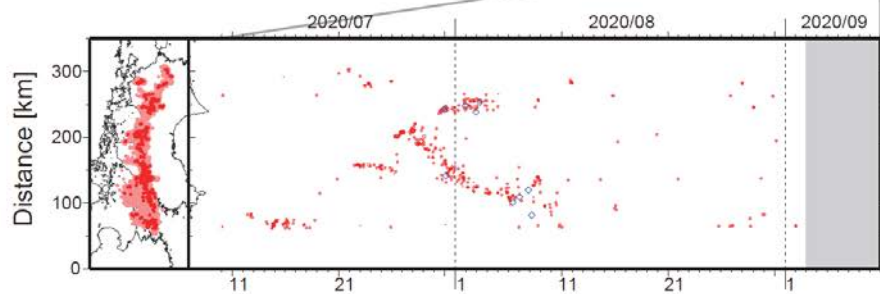


図1. 四国における2003年1月～2020年9月2日までの深部低周波微動の時空間分布（上図）。赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) によって1時間毎に自動処理された微動分布の重心である。青菱形は周期20秒



に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である。黄緑色太線は、これまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す。下図は2020年8月を中心とした期間の拡大図である。7月22日～8月11日頃には徳島県西部から愛媛県西部において活発な微動活動がみられた。この活動は愛媛県中部で開始した後、7月26日頃から愛媛県東部で活発化し、西方方向への活動域の移動が8月10日頃にかけてみられた。7月30日頃からは愛媛・徳島県境付近でも活動が活発化し、やや東方方向への活動域の移動がみられ、8月4日以降はこの領域における活動は低調となった。活動に際し、傾斜変動から短期的SSEの断層モデルも推定されている。8月15日頃には香川・徳島県境付近において、8月26～27日頃には豊後水道において、それぞれごく小規模な活動がみられた。

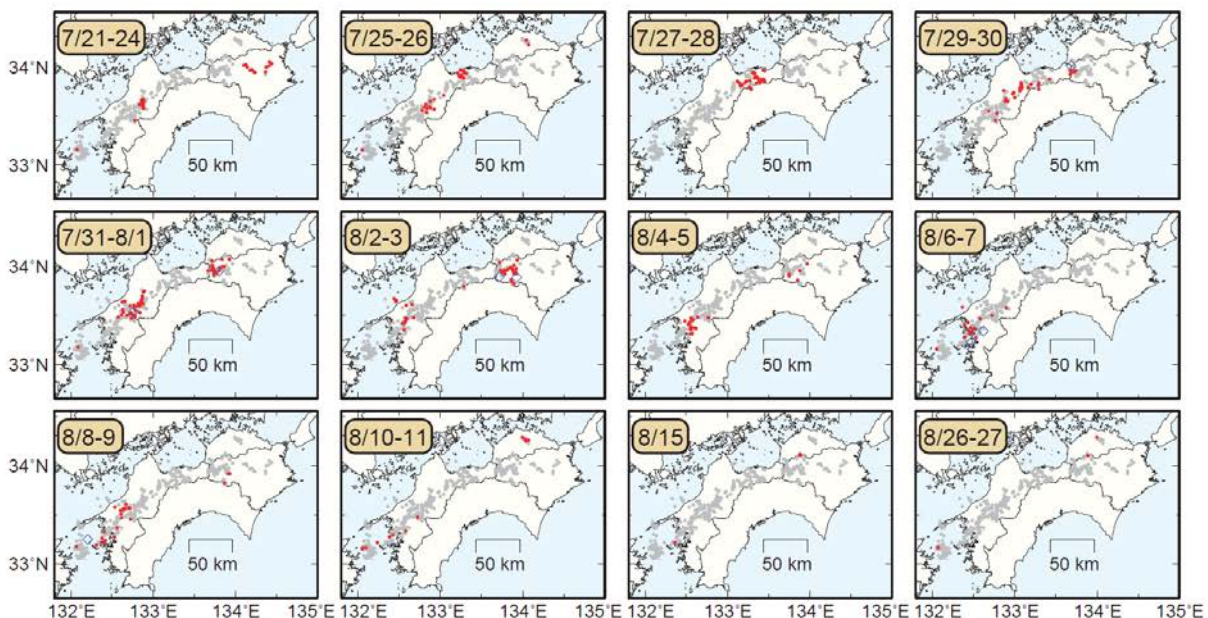


図2. 各期間に発生した微動分布（赤丸）および深部超低周波地震（青菱形）。灰丸は図1の拡大図で示した期間の微動分布。

防災科学技術研究所資料

四国東部から四国西部の深部低周波地震（微動）活動と 短期的ゆっくりすべり

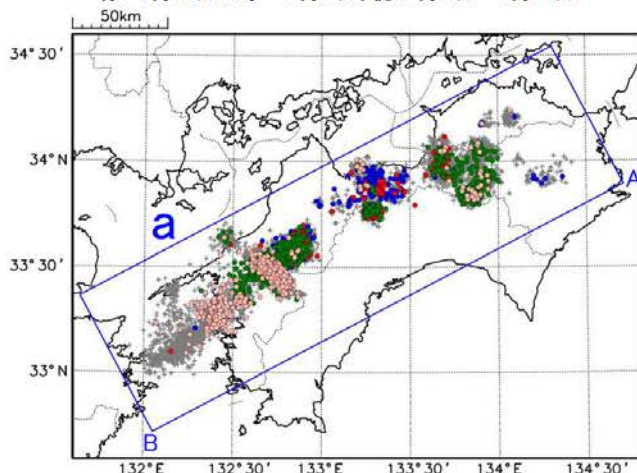
7月22日から8月23日にかけて四国東部から四国西部で深部低周波地震（微動）を観測した。7月22日に四国中部で始まった活動は、7月26日から北東側へ移動した。さらに、7月29日12時頃からは、四国東部及び四国西部でも活動がみられた。8月6日以降は主に四国西部から豊後水道にかけて活動がみられた。

7月27日12時頃から、深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測している。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

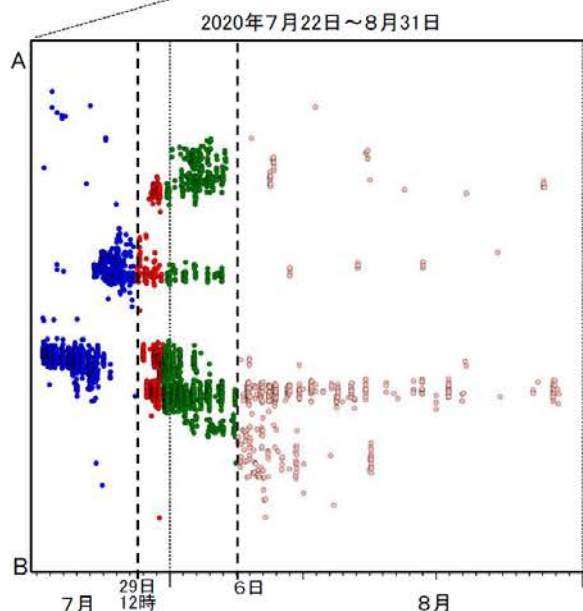
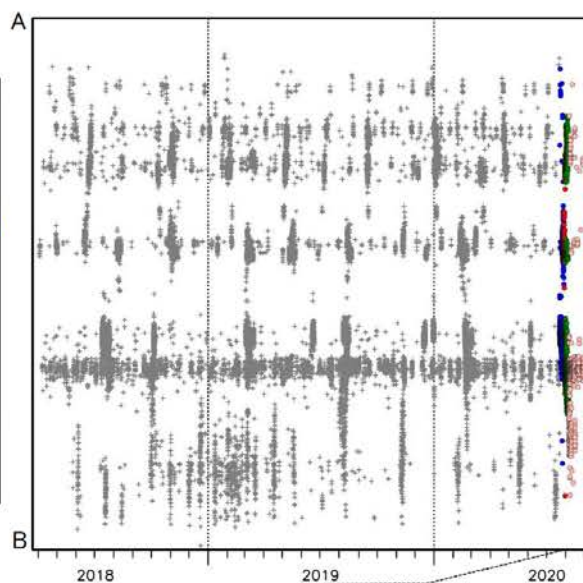
深部低周波地震（微動）活動

震央分布図（2018年4月1日～2020年8月31日、
深さ0～60km、Mすべて）

灰：2018年4月1日～2020年7月21日、
青：7月22日～7月29日12時、赤：7月29日12時～7月31日12時、
緑：7月31日12時～8月5日、桃：8月6日～8月31日



震央分布図の領域a内の時空間分布図（A—B投影）



気象庁作成

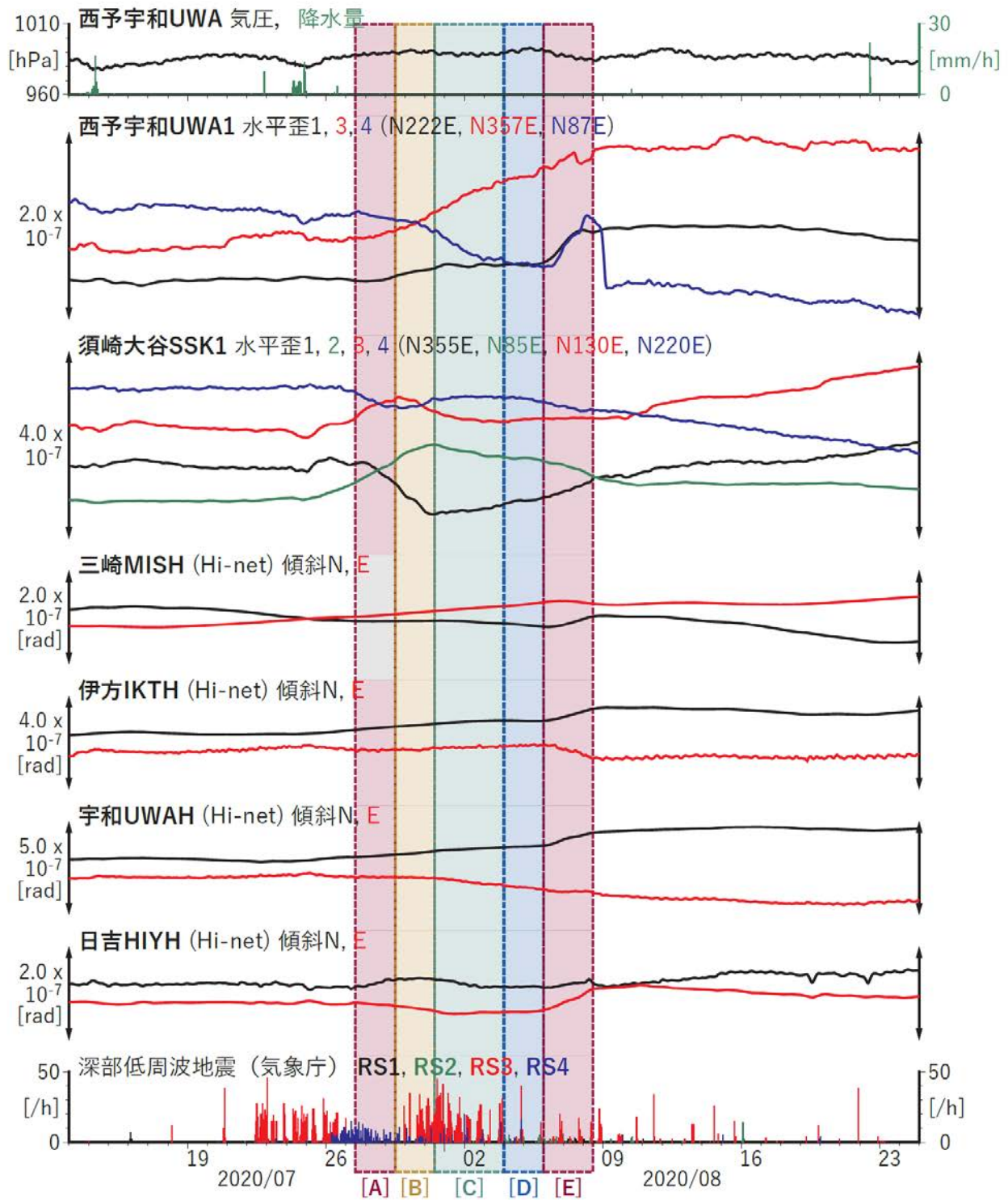


図2 歪・傾斜の時間変化（2020/07/13 00:00 - 2020/08/25 00:00 (JST)）

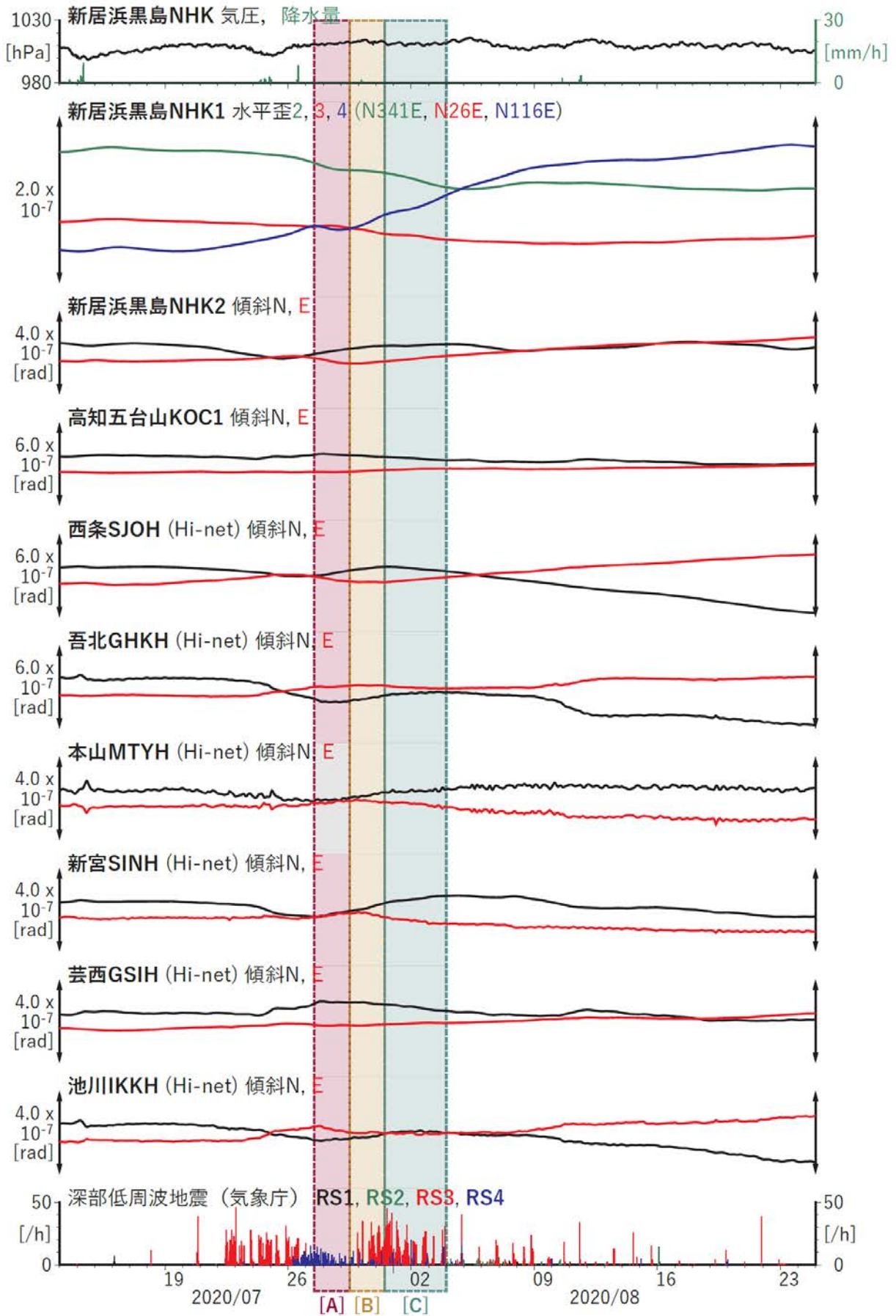
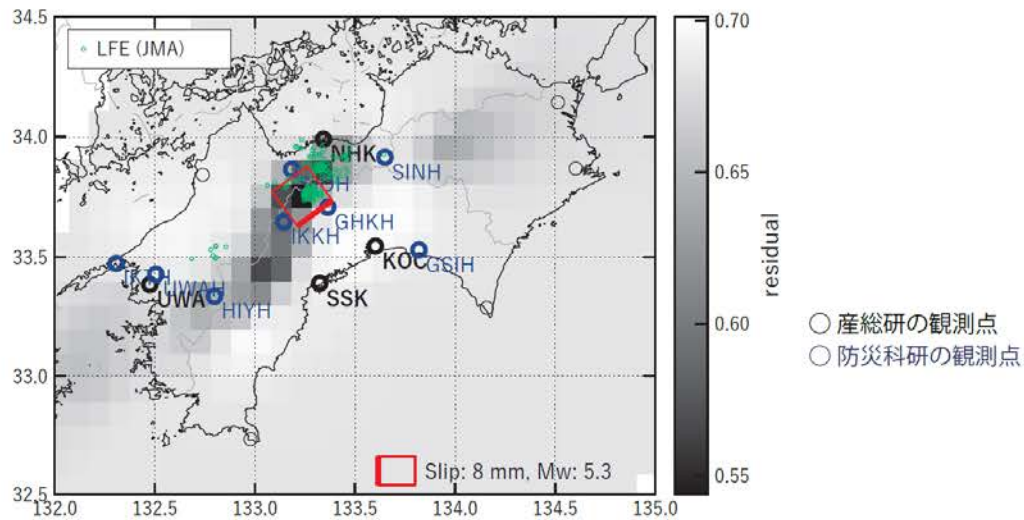


図3 歪・傾斜の時間変化（2020/07/13 00:00 - 2020/08/25 00:00 (JST)）

[A]2020/07/27PM-29AM

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル

(b2) 主歪

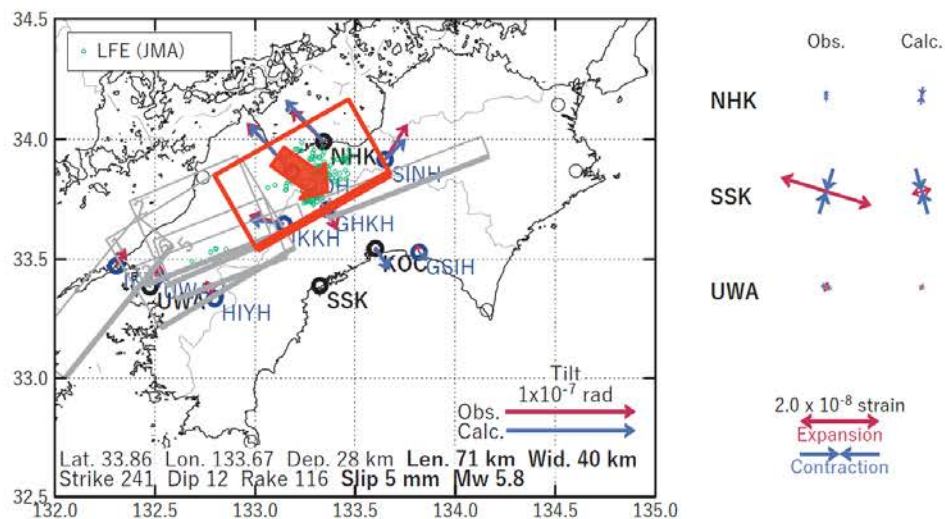


図4 2020/07/27PM - 29AM の歪・傾斜変化（図2-3[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

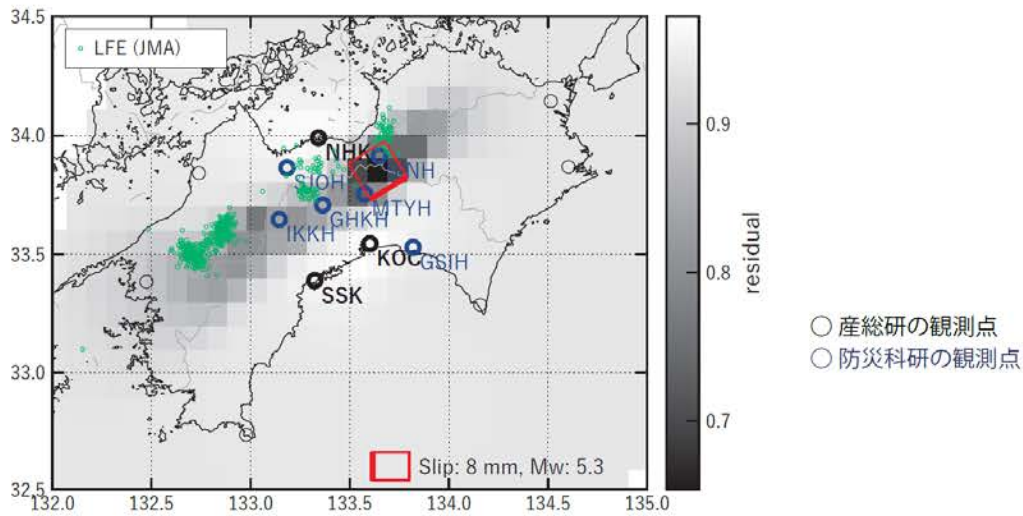
1: 2020/02/19-20AM (Mw5.5), 2: 2020/02/20PM-21AM (Mw5.8), 3: 2020/02/21PM-22 (Mw5.6)

4: 2020/04/23-27 (Mw5.5), 5: 2020/05/17-20AM (Mw5.6), 6: 2020/06/04PM-06 (Mw5.5)

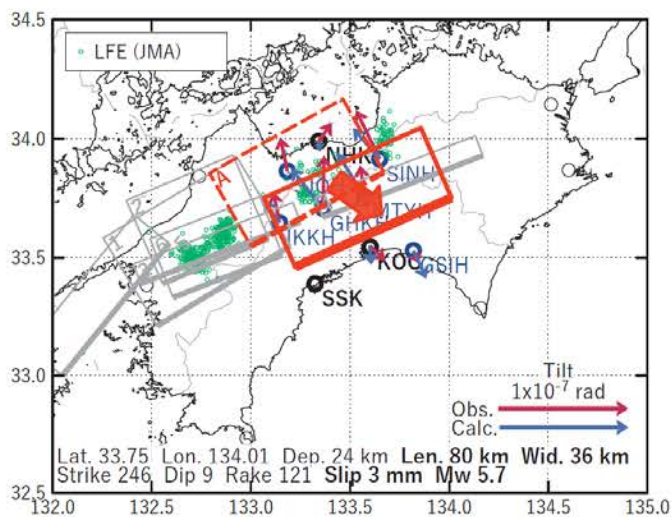
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[B1] 2020/07/29PM-31AM（東側）

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

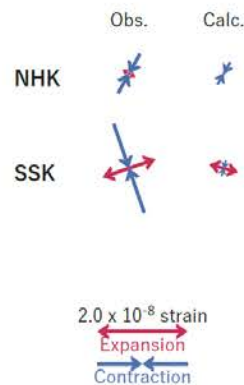


図5 2020/07/29PM - 31AM の歪・傾斜変化（図2-3[B]の東側観測点）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2020/02/19-20AM (Mw5.5), 2: 2020/02/20PM-21AM (Mw5.8), 3: 2020/02/21PM-22 (Mw5.6)

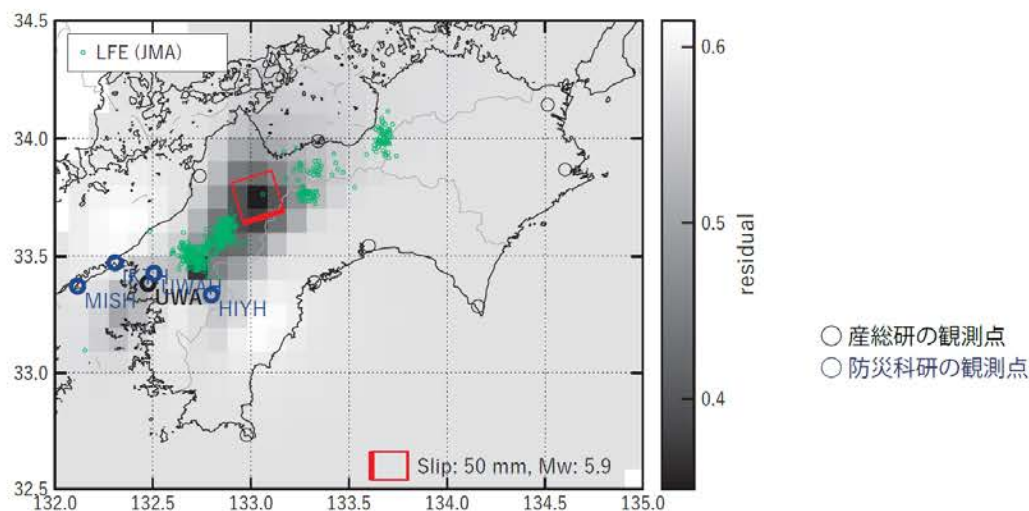
4: 2020/04/23-27 (Mw5.5), 5: 2020/05/17-20AM (Mw5.6), 6: 2020/06/04PM-06 (Mw5.5)

A: 2020/07/27PM-29AM (Mw5.8)

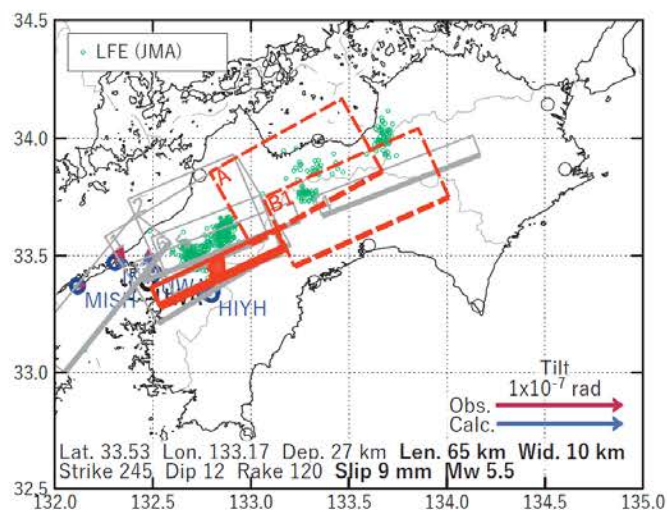
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[B2] 2020/07/29PM-31AM (西側)

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

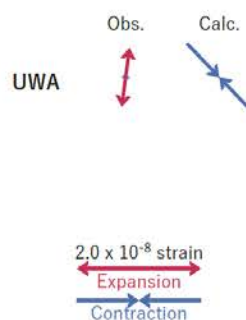


図6 2020/07/29PM-31AM の歪・傾斜変化（図2-3[B]の西側観測点）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2020/02/19-20AM (Mw5.5), 2: 2020/02/20PM-21AM (Mw5.8), 3: 2020/02/21PM-22 (Mw5.6)

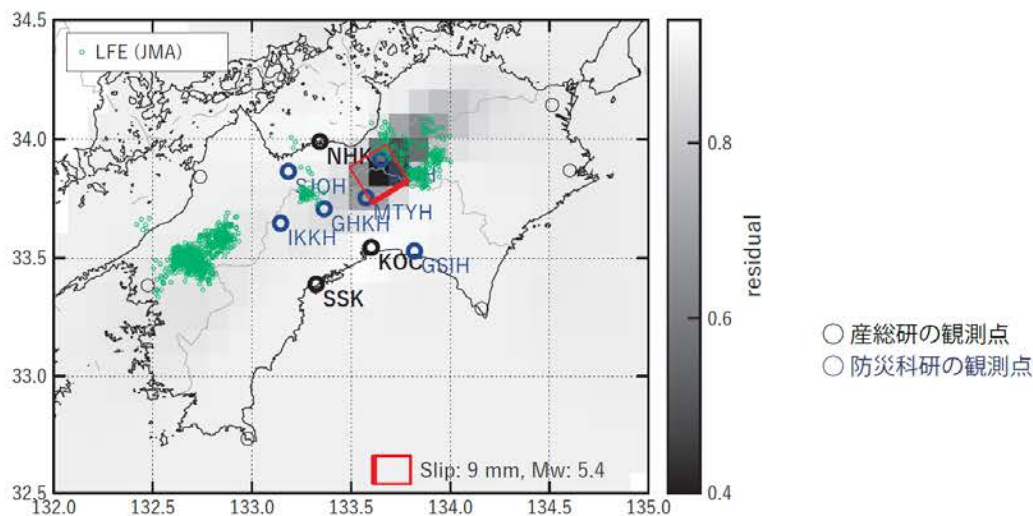
4: 2020/04/23-27 (Mw5.5), 5: 2020/05/17-20AM (Mw5.6), 6: 2020/06/04PM-06 (Mw5.5)

A: 2020/07/27PM-29AM (Mw 5.8), B1: 2020/07/29PM-31AM (Mw5.7)

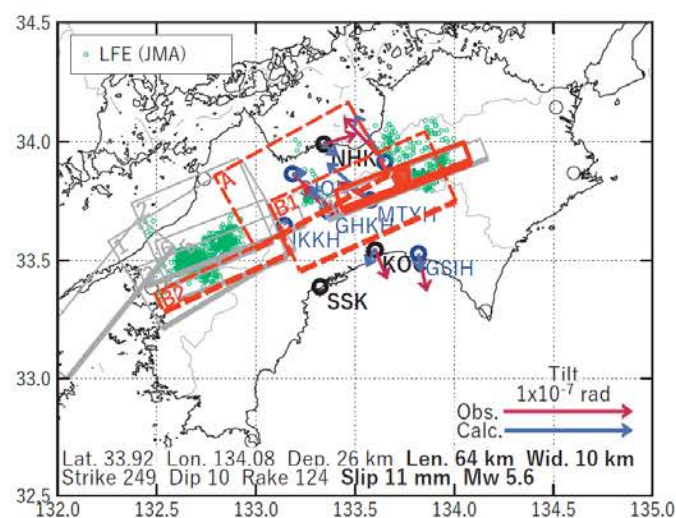
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[C1] 2020/07/31PM-08/03（東側）

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

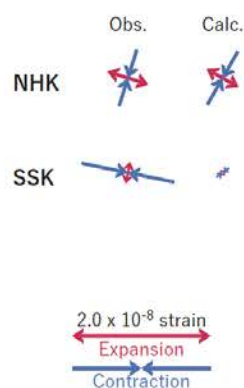


図7 2020/07/31PM-08/03 の歪・傾斜変化（図2-3[C]の東側観測点）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2020/02/19-20AM (Mw5.5), 2: 2020/02/20PM-21AM (Mw5.8), 3: 2020/02/21PM-22 (Mw5.6)

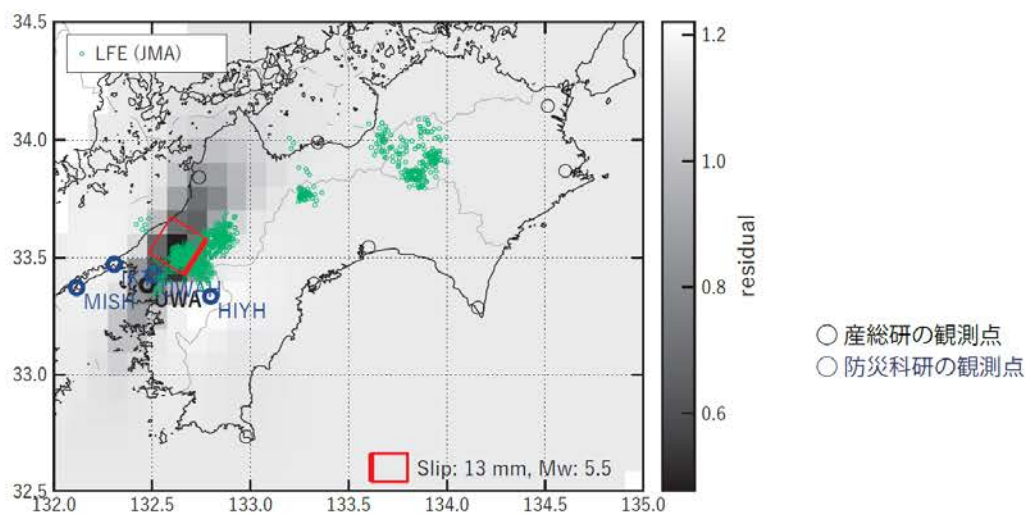
4: 2020/04/23-27 (Mw5.5), 5: 2020/05/17-20AM (Mw5.6), 6: 2020/06/04PM-06 (Mw5.5)

A: 2020/07/27PM-29AM (Mw 5.8), B1: 2020/07/29PM-31AM (Mw5.7), B2: 2020/07/29PM-31AM (Mw5.5)

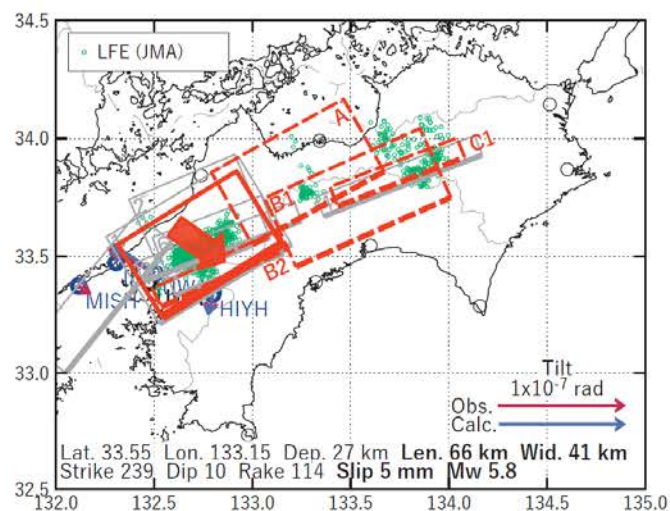
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[C2] 2020/07/31PM-08/03 (西側)

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

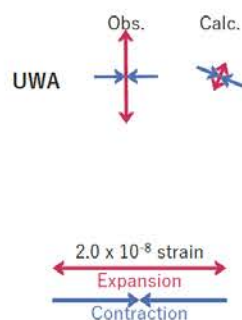


図8 2020/07/31PM-08/03の歪・傾斜変化（図2-3[C]の西側観測点）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2020/02/19-20AM (Mw5.5), 2: 2020/02/20PM-21AM (Mw5.8), 3: 2020/02/21PM-22 (Mw5.6)

4: 2020/04/23-27 (Mw5.5), 5: 2020/05/17-20AM (Mw5.6), 6: 2020/06/04PM-06 (Mw5.5)

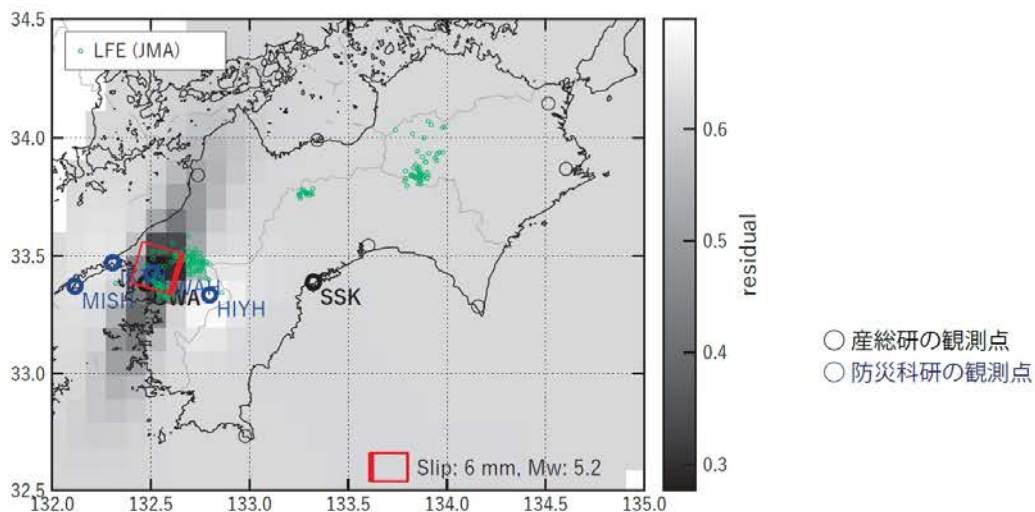
A: 2020/07/27PM-29AM (Mw 5.8), B1: 2020/07/29PM-31AM (Mw5.7), B2: 2020/07/29PM-31AM (Mw5.5)

C1: 2020/07/31PM-08/03 (Mw 5.6)

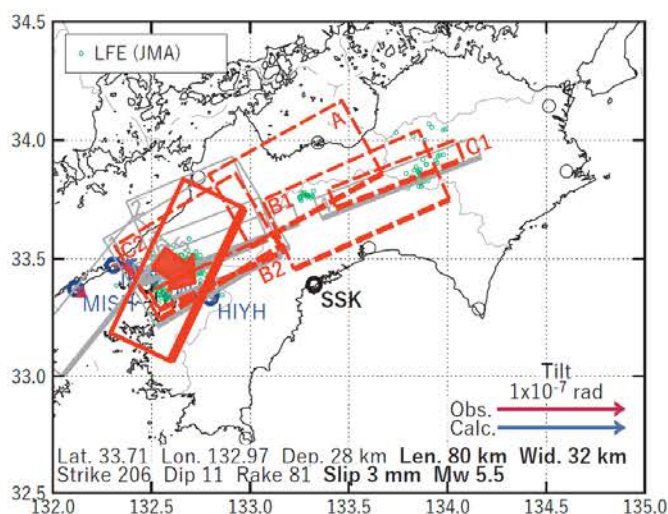
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[D] 2020/08/04-05

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

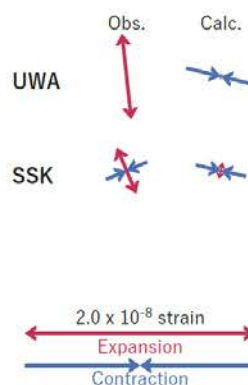


図9 2020/08/04-05の歪・傾斜変化（図2-3[D]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2020/02/19-20AM (Mw5.5), 2: 2020/02/20PM-21AM (Mw5.8), 3: 2020/02/21PM-22 (Mw5.6)

4: 2020/04/23-27 (Mw5.5), 5: 2020/05/17-20AM (Mw5.6), 6: 2020/06/04PM-06 (Mw5.5)

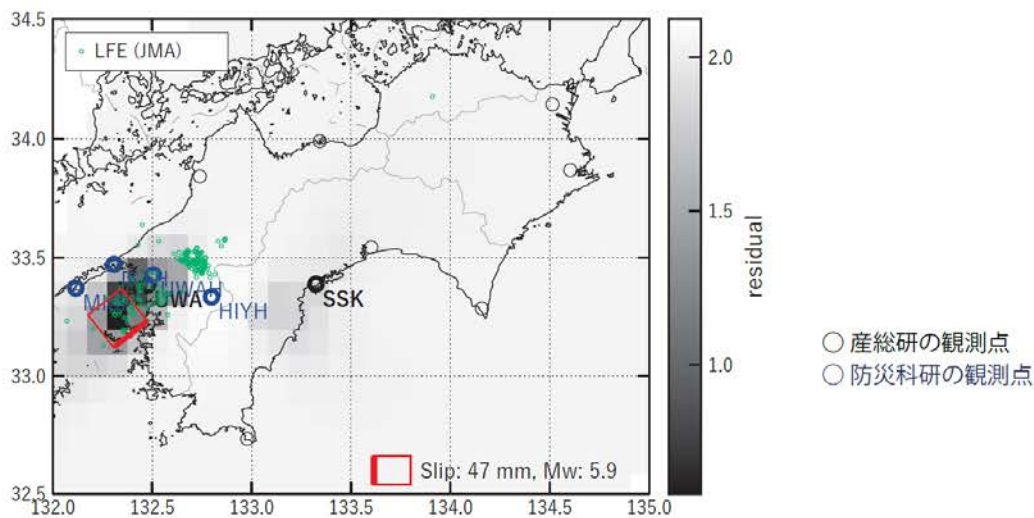
A: 2020/07/27PM-29AM (Mw 5.8), B1: 2020/07/29PM-31AM (Mw5.7), B2: 2020/07/29PM-31AM (Mw5.5)

C1: 2020/07/31PM-08/03 (Mw 5.6), C2: 2020/07/31PM-08/03 (Mw 5.8)

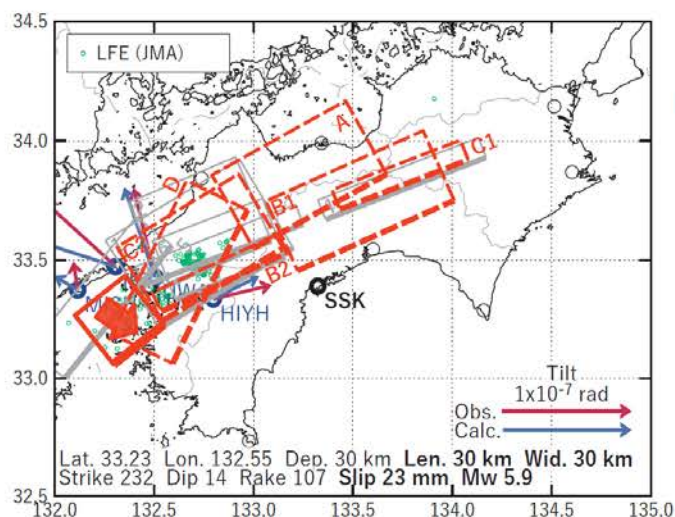
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[E] 2020/08/06-08AM

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

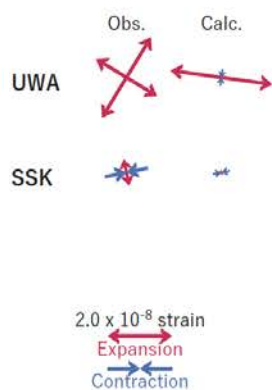


図10 2020/08/06-08AM の歪・傾斜変化（図2-3[E]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2020/02/19-20AM (Mw5.5), 2: 2020/02/20PM-21AM (Mw5.8), 3: 2020/02/21PM-22 (Mw5.6)

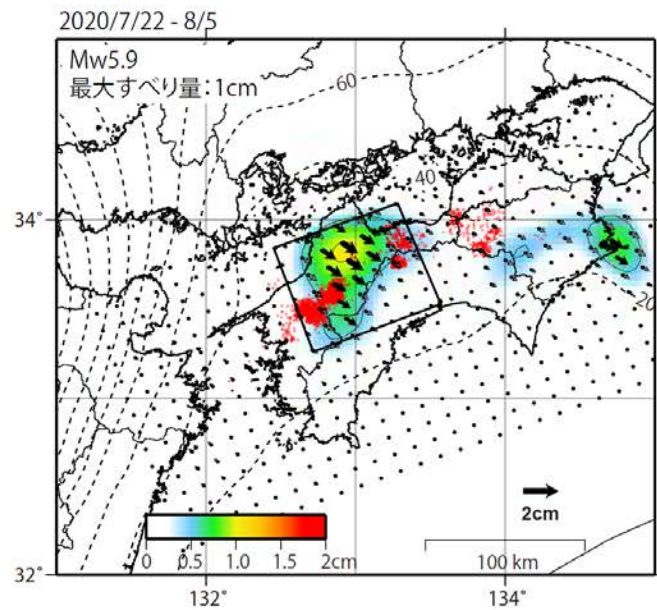
4: 2020/04/23-27 (Mw5.5), 5: 2020/05/17-20AM (Mw5.6), 6: 2020/06/04PM-06 (Mw5.5)

A: 2020/07/27PM-29AM (Mw 5.8), B1: 2020/07/29PM-31AM (Mw5.7), B2: 2020/07/29PM-31AM (Mw5.5)

C1: 2020/07/31PM-08/03 (Mw 5.6), C2: 2020/07/31PM-08/03 (Mw 5.8), D: 2020/08/04-05 (Mw 5.5)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

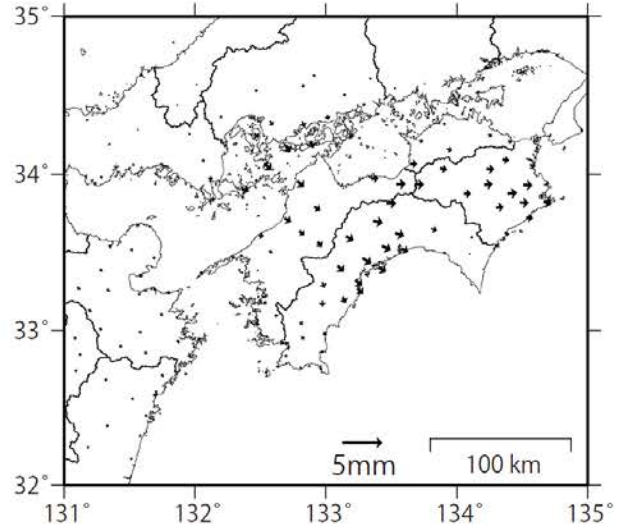
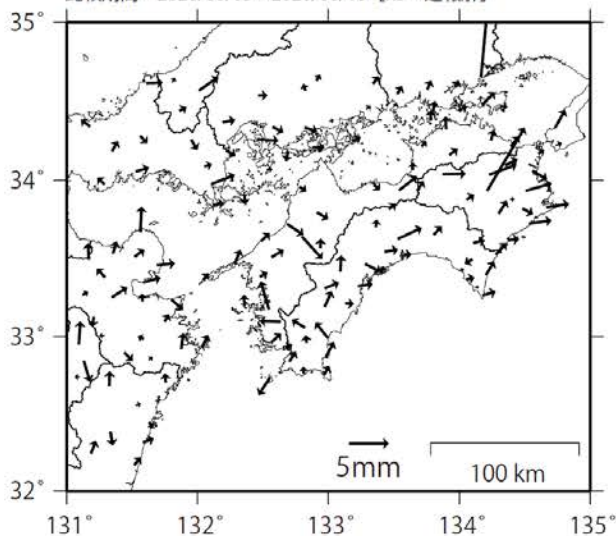
GNSSデータから推定された
四国西部の深部低周波微動と同期したスロースリップ（暫定）



観測

計算

基準期間: 2020/07/01~2020/07/22 [F3: 最終解]
比較期間: 2020/08/05~2020/08/10 [R3: 速報解]



解析に使用した全観測点の座標時系列から
共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。
基準期間と比較期間の間のオフセットをRamp関数で推定

解析に使用した観測点の範囲: 概ね北緯32~34.6°、東経131~134.8°
使用データ: F3解(2020/7/1 - 2020/7/25)+R3解(2020/7/26 - 2020/8/10)
トレンド期間: 2019/6/1 - 2020/6/1
モーメント計算範囲: 上段の図の黒枠内側
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他, 2007)
赤丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)
コンター間隔: 5mm
固定局: 三隅

国土地理院

四国中西部の短期的スロースリップ活動状況（2020年7～8月）

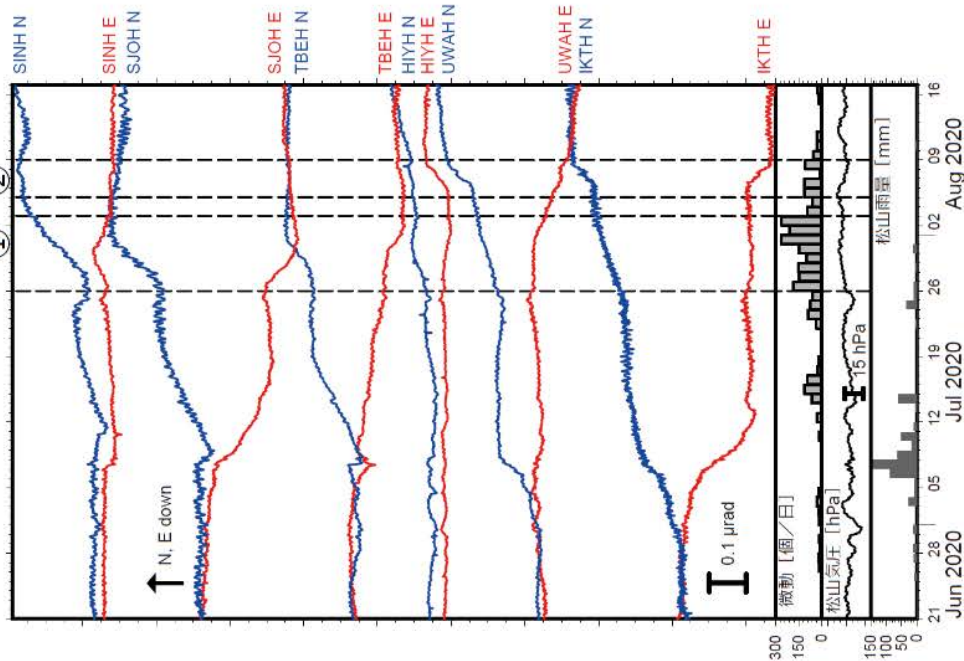


図1：2020年6月21日～8月16日の傾斜時系列。上方向への変化が北・東下がり
の傾斜変動を表し、BAYTAP-Gにより潮汐・気圧応答成分を除去した。期間①
②の傾斜変化ベクトルを図2に示す。四国中西部での微動活動度・気象庁松山観測
点の気圧・雨量をあわせて示す。

- ・四国中西部を活動域とする短期的スロースリップイベント (M_w 6.3)
- ・2020年2月 (M_w 6.1) 以来約5ヶ月ぶり

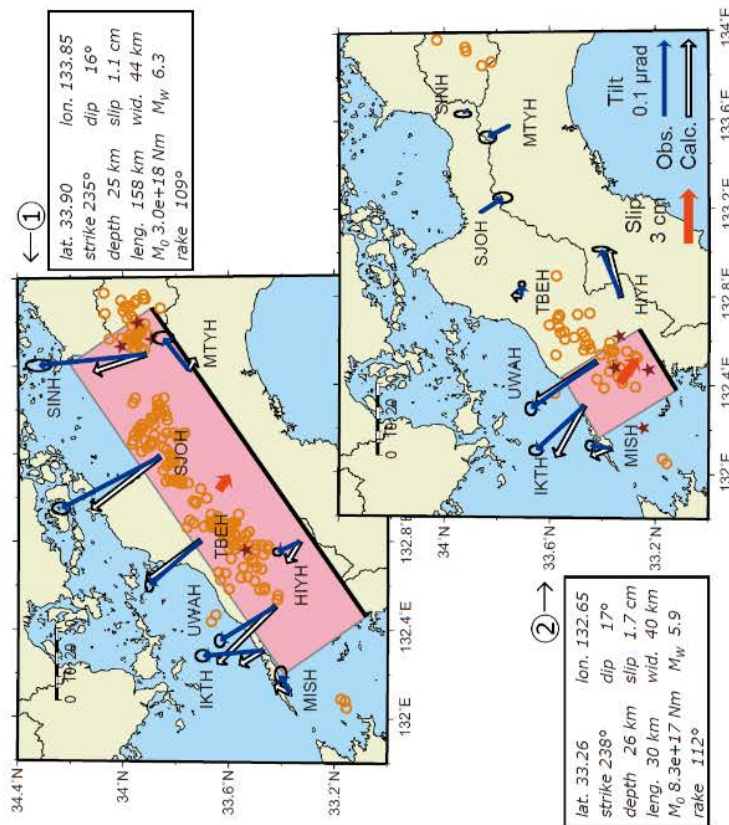


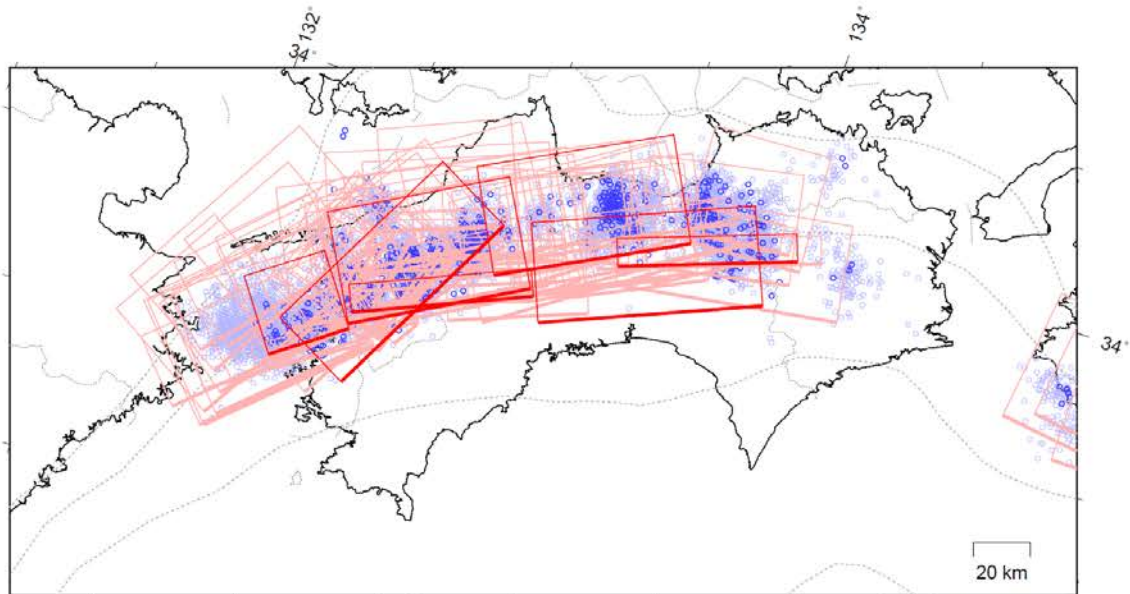
図2：期間①②に観測された傾斜変化ベクトル（青矢印）、推定されたスロースリップイベントの断層モデル（赤矩形・矢印）、モデルから計算される傾斜変化ベクトル（白抜き矢印）を示す。1時間ごとの微動工
ネルギーの重心位置（橙丸）もあわせて示す。すべり角はプレート相対運動方向に固定している。

謝辞

気象庁のWEBページで公開されている気象データを使用させて頂きました。記して感謝いたします。

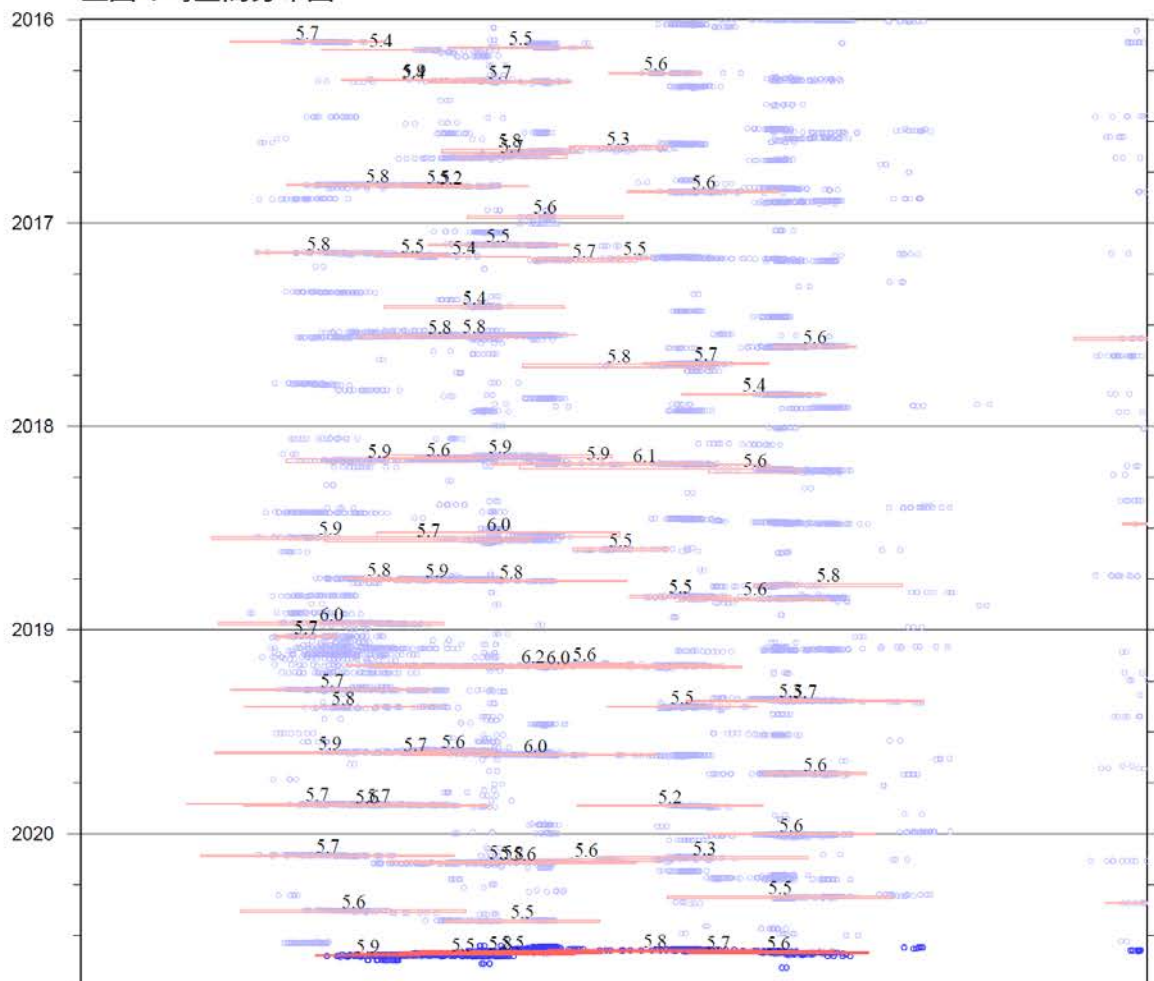
四国 短期的ゆっくりすべりの活動状況

2016年1月1日～2020年9月2日
(2020年7月20日以降を濃く表示)



※破線は、フィリピン海プレート上面の等深線を示す。
※赤矩形は、産業技術総合研究所による短期的ゆっくりすべりの断層モデルを示す。

上図の時空間分布図

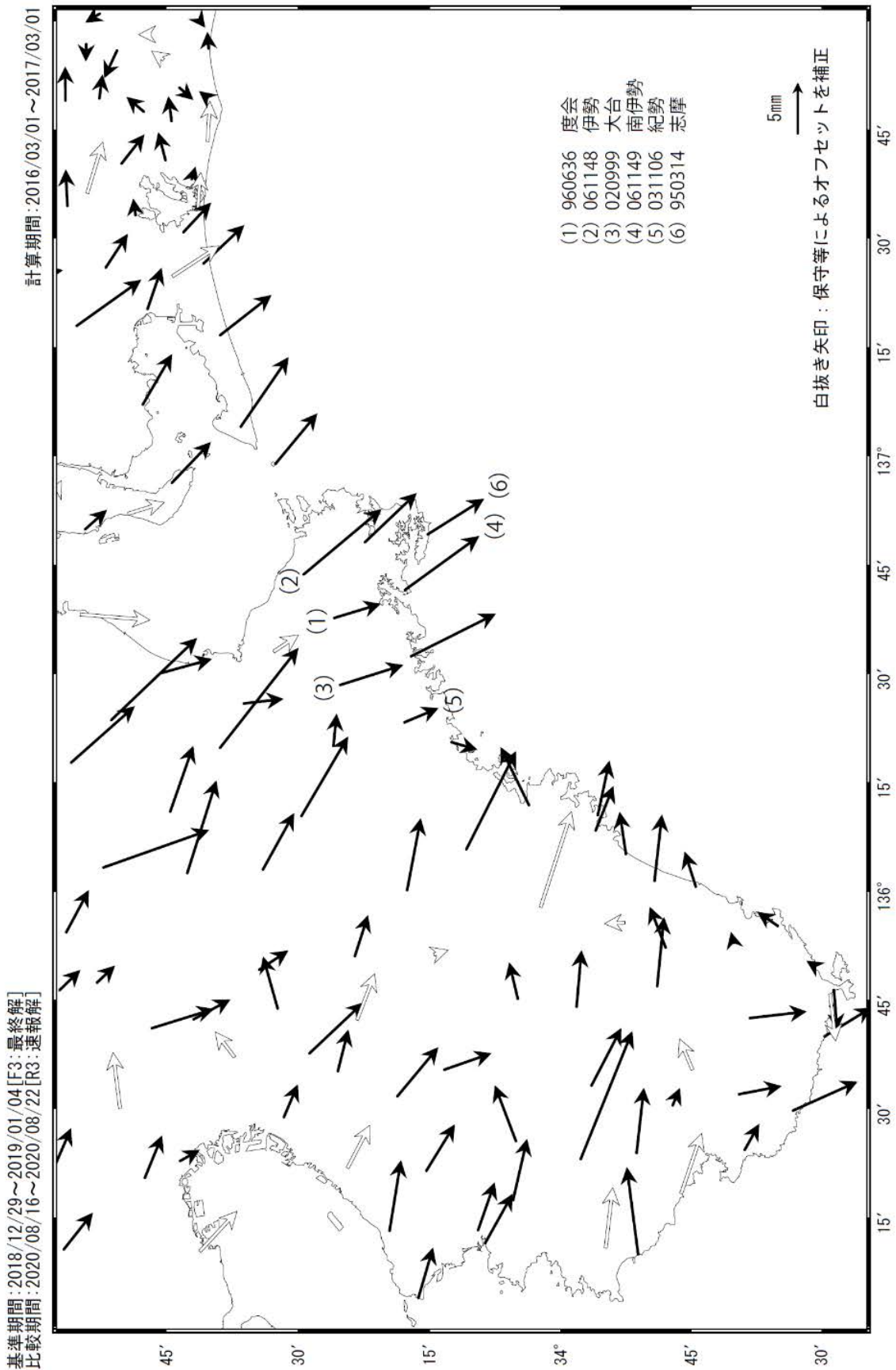


※短期的ゆっくりすべりの解析には、産業技術総合研究所及び防災科学技術研究所のデータを用いている。
※赤矩形の上に表示されている数字は解析されたMwを示す。
※青丸はエンベロープ相関法（防災科学技術研究所、東京大学地震研究所との共同研究による成果）で得られた低周波微動の震央を示す。

気象庁作成

（国土地理院による GNSS 解析）

志摩半島の非定常水平地殻変動（1次トレンド・年周期・半年周期除去後）

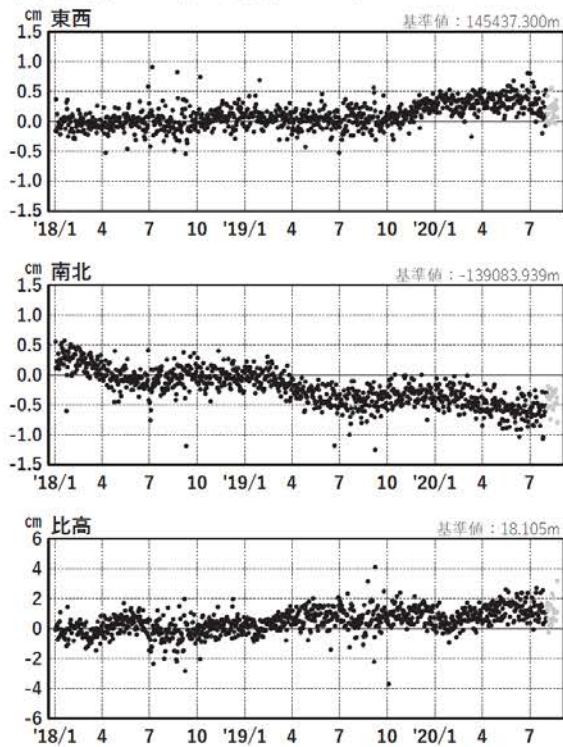


志摩半島 GNSS連続観測時系列（1）
1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

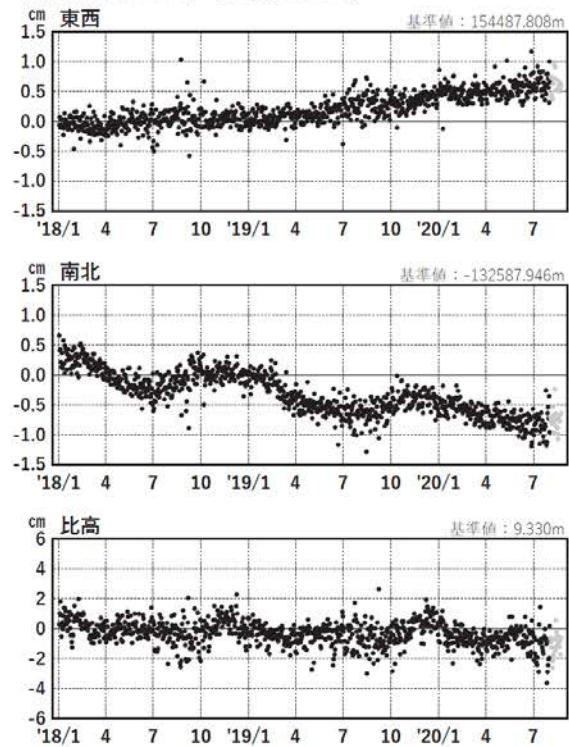
期間：2018/01/01～2020/08/22 JST

計算期間：2016/03/01～2017/03/01

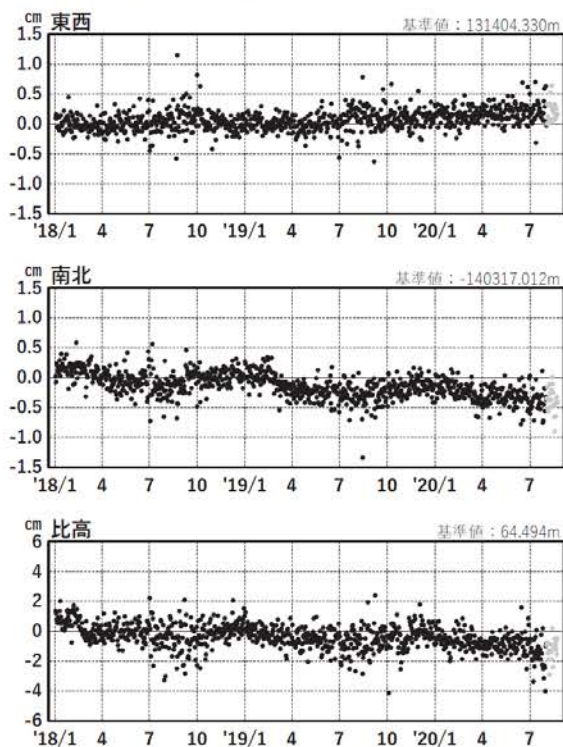
(1) 網野(960640)―度会(960636)



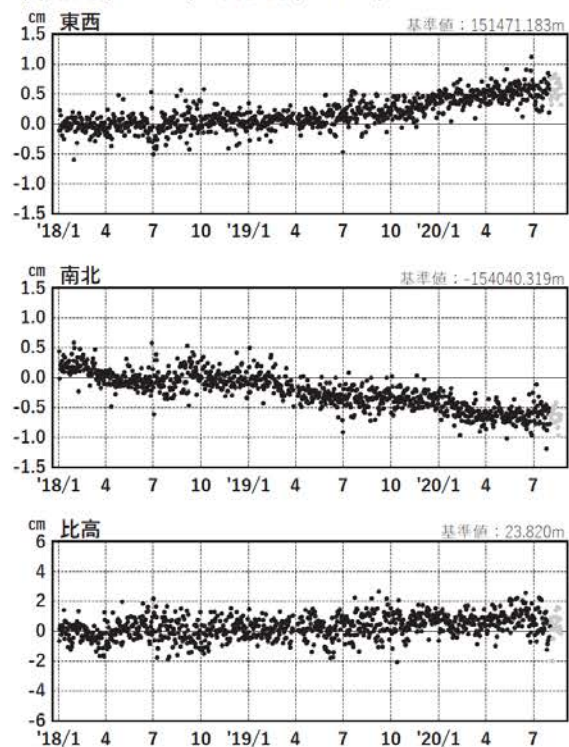
(2) 網野(960640)―伊勢(061148)



(3) 網野(960640)―大台(020999)



(4) 網野(960640)―南伊勢(061149)



●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

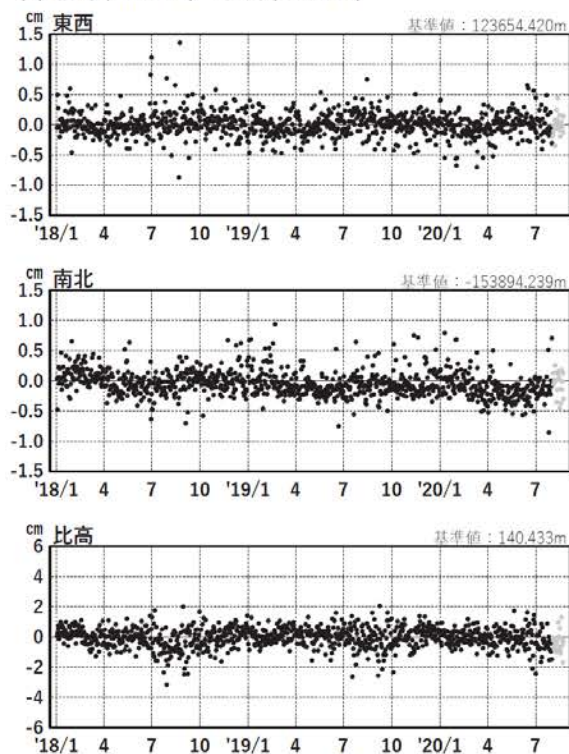
国土地理院

志摩半島 GNSS連続観測時系列（2）
1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

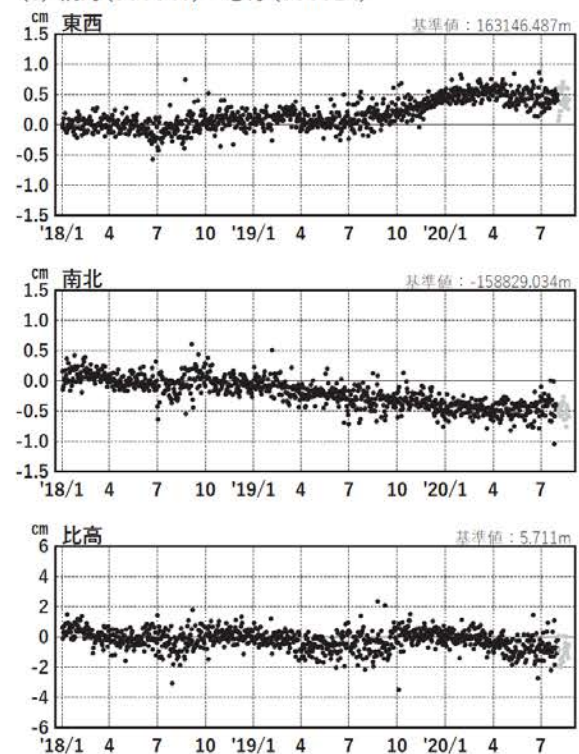
期間：2018/01/01～2020/08/22 JST

計算期間：2016/03/01～2017/03/01

(5) 網野(960640)ー紀勢(031106)



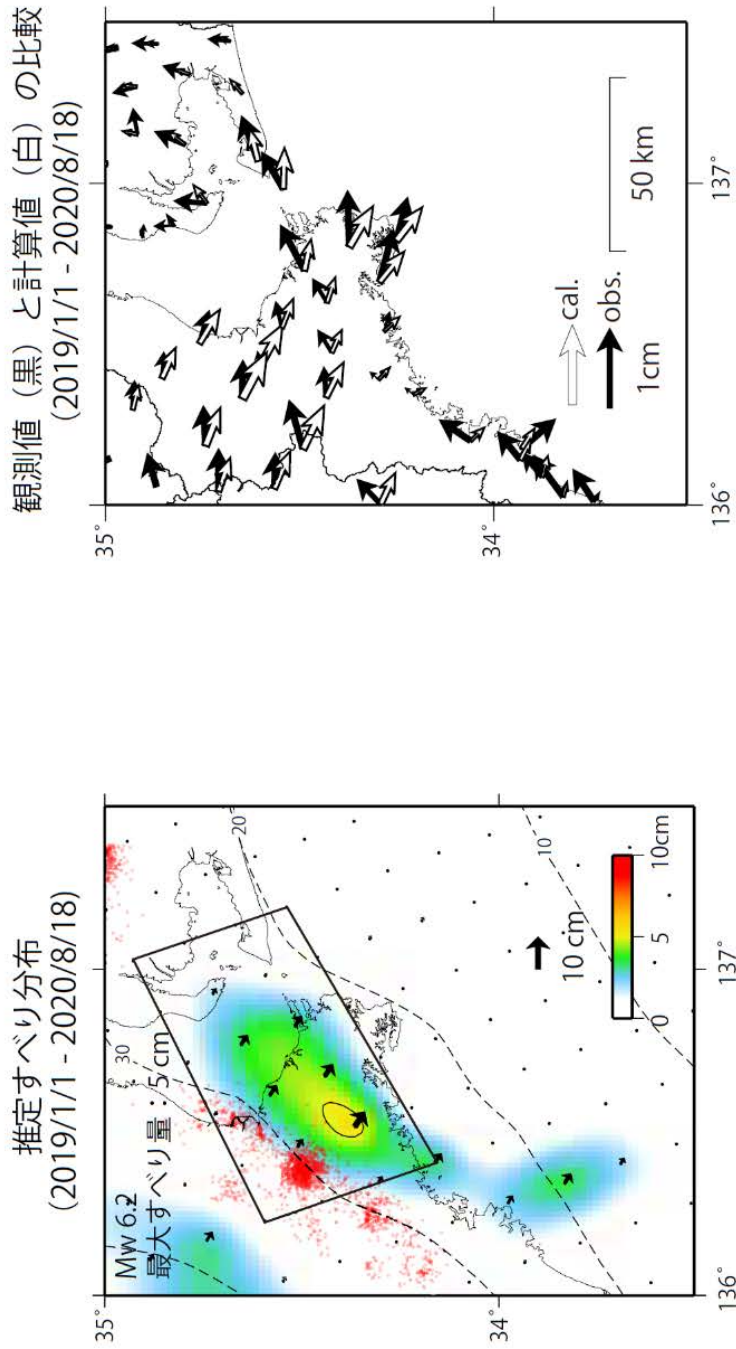
(6) 網野(960640)ー志摩(950314)



●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

国土地理院

GNSSデータから推定された
志摩半島の長期的ゆっくりすべり（暫定）



使用データ：F3解 (2018/1/1 - 2020/8/1) + R3解 (2020/8/2 - 2020/8/18) ※電子基準点の保守等による変動は補正済み
トレンド期間：2016/3/1 - 2017/3/1 (年周・半年周成分は2017/1/1 - 2020/8/18のデータで補正)

モーメント計算範囲：左図の黒枠内側

観測値：3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線 (弘瀬・他、2007)

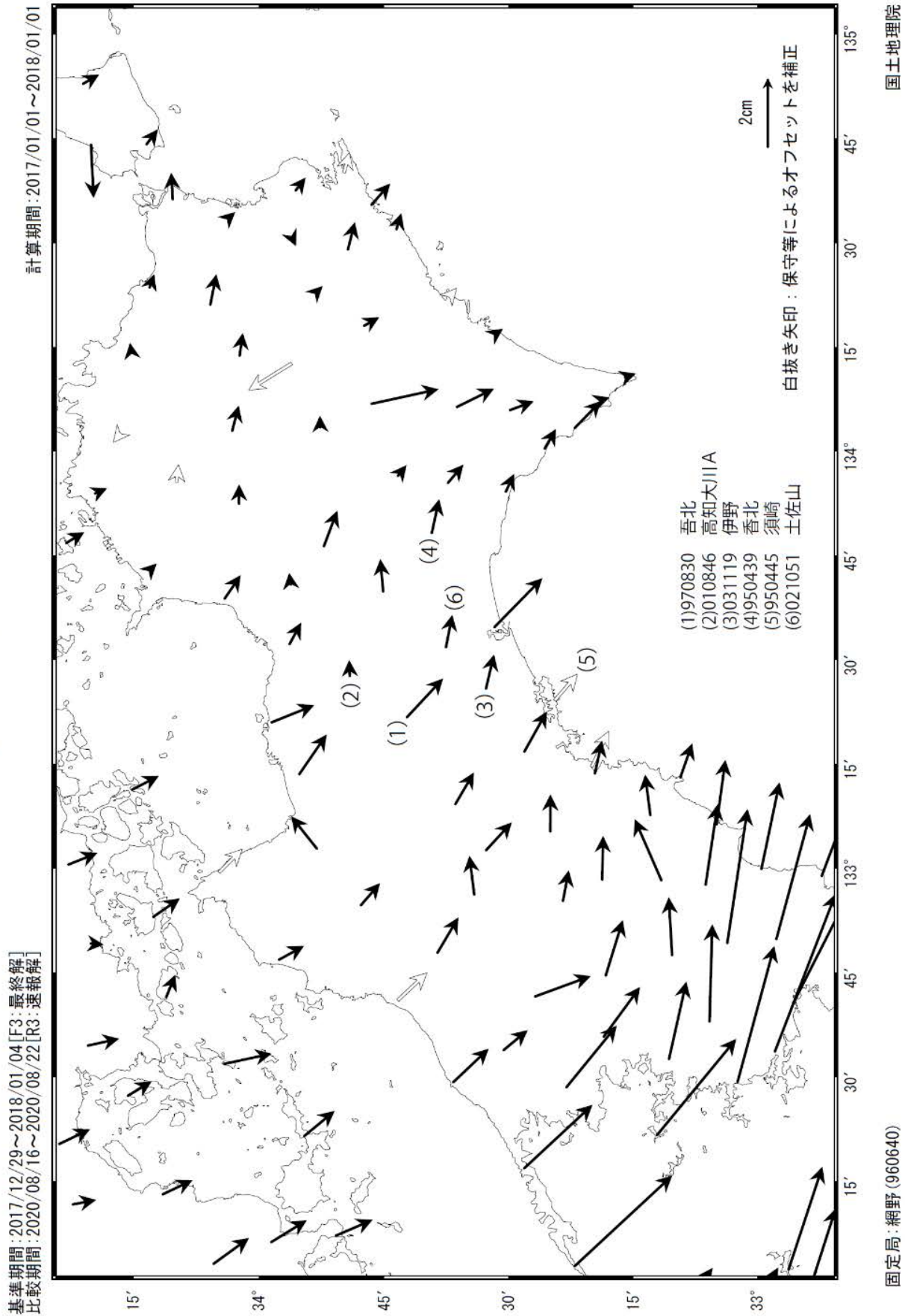
すべり方向：プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束

赤丸：低周波地震 (気象庁一元化震源)

固定局：網野

（国土地理院による GNSS 解析）

四国中部の非定常水平地殻変動（1次トレンド・年周期・半年周期除去後）

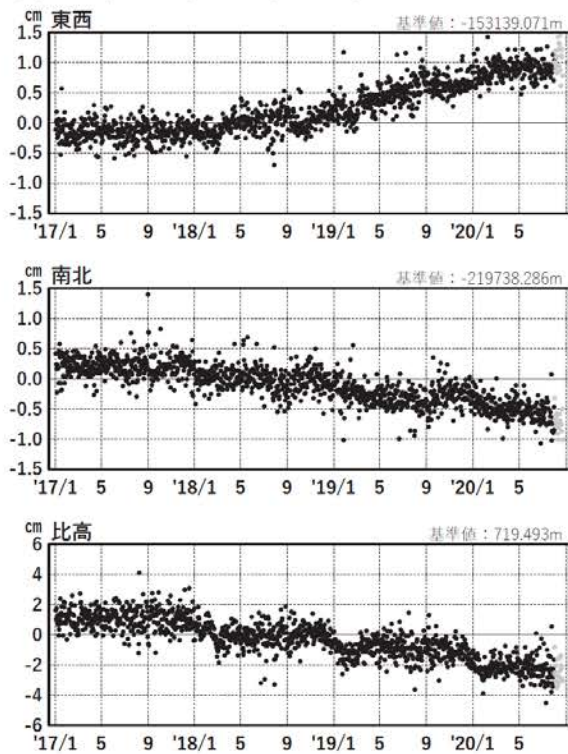


四国中部 G N S S 連続観測時系列（1）
1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

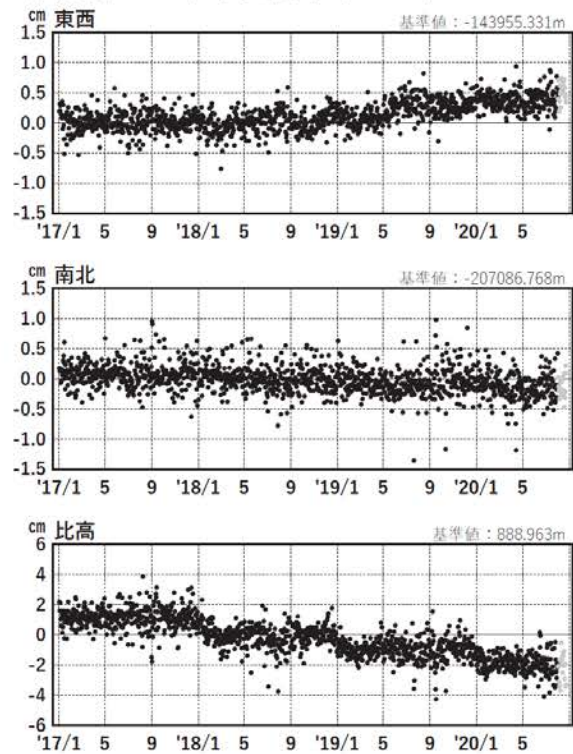
期間: 2017/01/01~2020/08/22 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

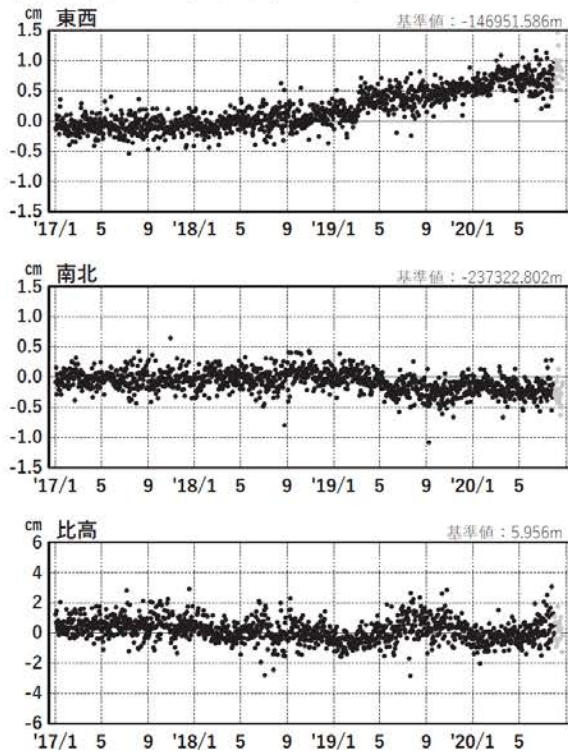
(1) 網野(960640)ー吾北(970830)



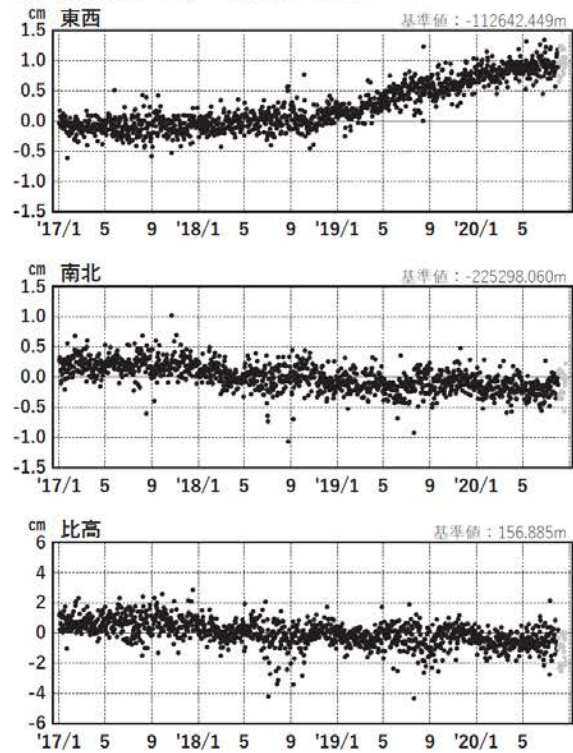
(2) 網野(960640)ー高知大川A (010846)



(3) 網野(960640)ー伊野(031119)



(4) 網野(960640)ー香北(950439)



●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

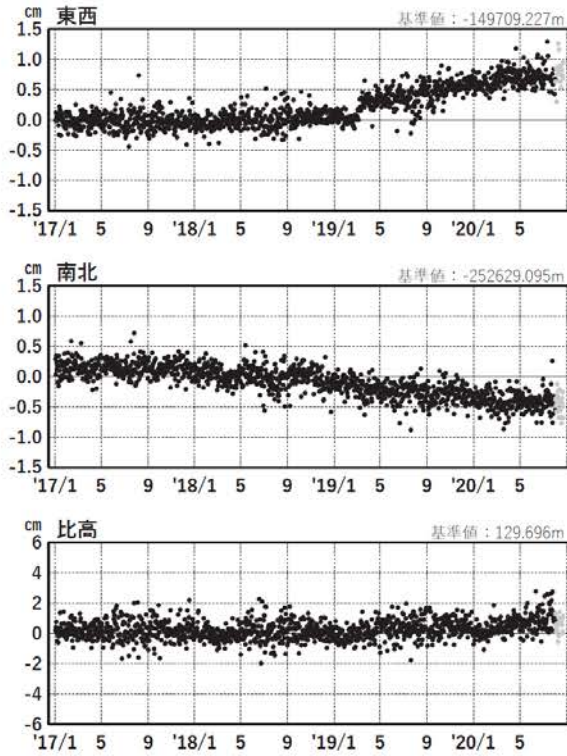
国土地理院

四国中部 G N S S 連続観測時系列（2）
1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

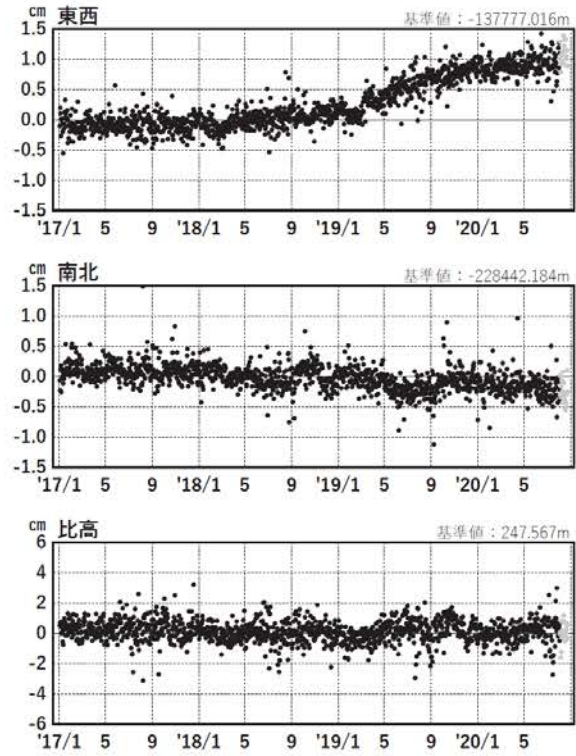
期間: 2017/01/01~2020/08/22 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

(5) 網野(960640)―須崎(940445)



(6) 網野(960640)―土佐山(021051)

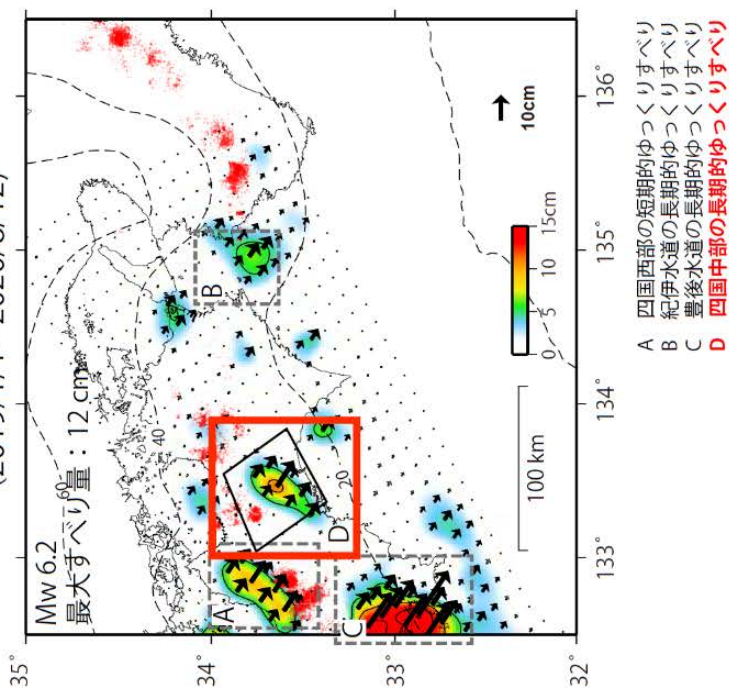


●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

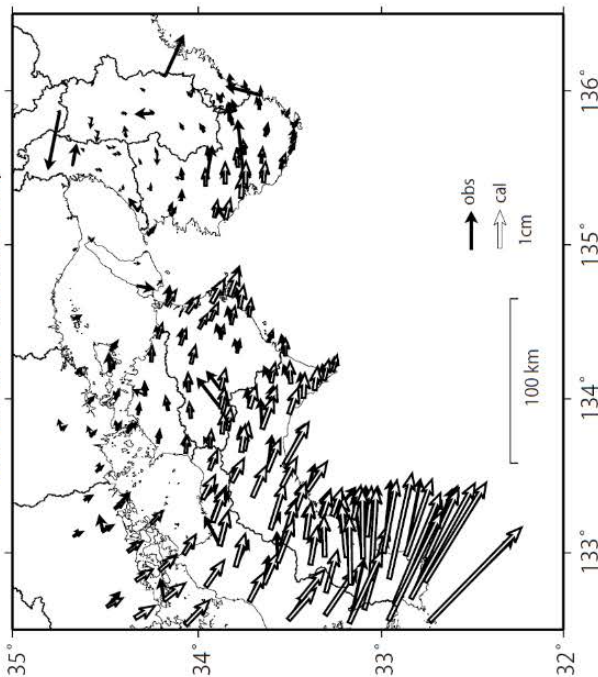
国土地理院

GNSSデータから推定された
四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布
(2019/1/1 - 2020/8/12)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2019/1/1 - 2020/8/12)



使用データ：F3解 (2019/1/1 - 2020/8/1) + R3解 (2020/8/2 - 2020/8/12) ※電子基準点の保守等による変動は補正済み
トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1（年周・半年周成分は2017/1/1 - 2020/8/12のデータで補正）

モーメント計算範囲：左図の黒枠内側

観測値：3日間の平均値をカルマンフィルタで平滑化した値

黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線 (弘瀬・他、2007)

すべり方向：プレートの流込み方向と平行な方向に拘束

赤丸：低周波地震（気象庁一元化震源）

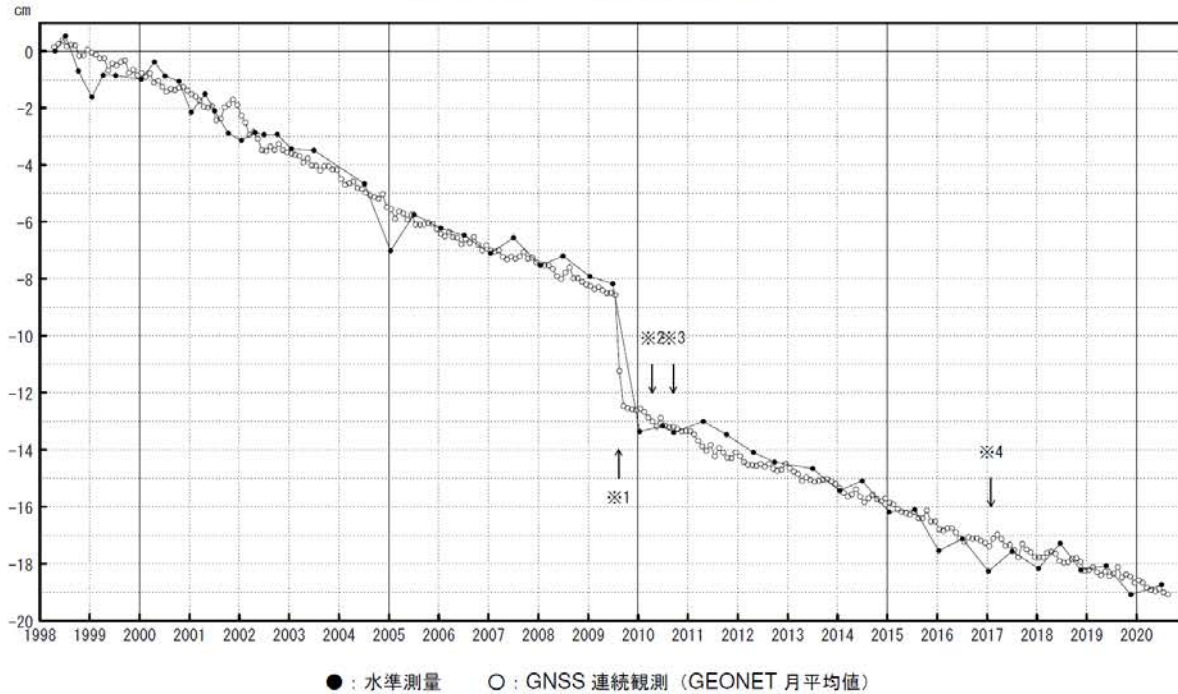
固定局：網野

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

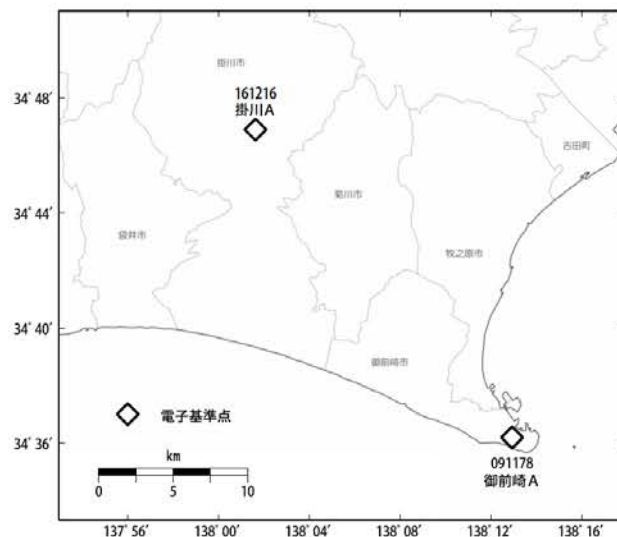
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 08/01～08/08 の平均。

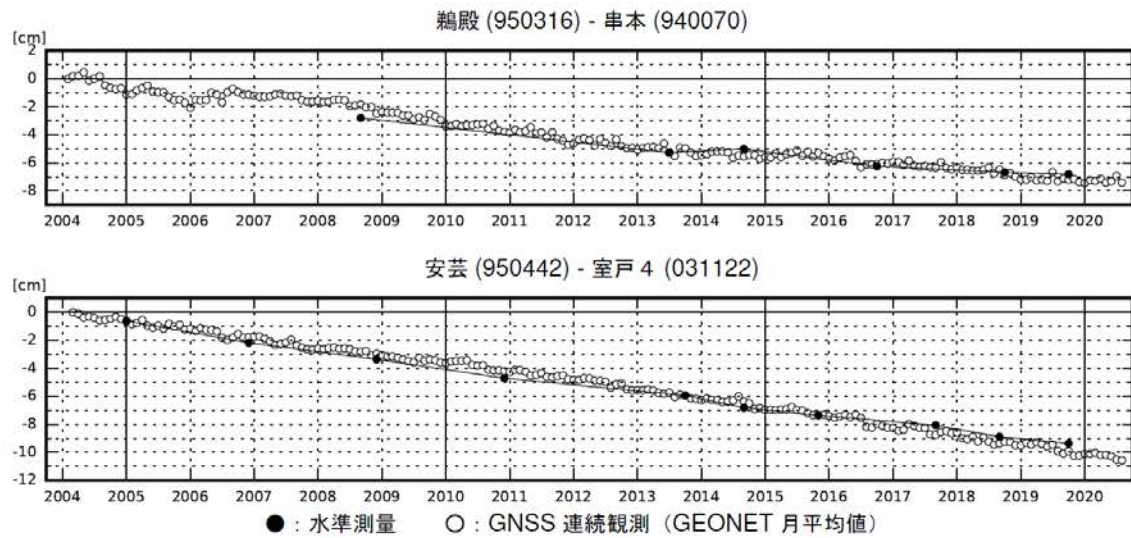
- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



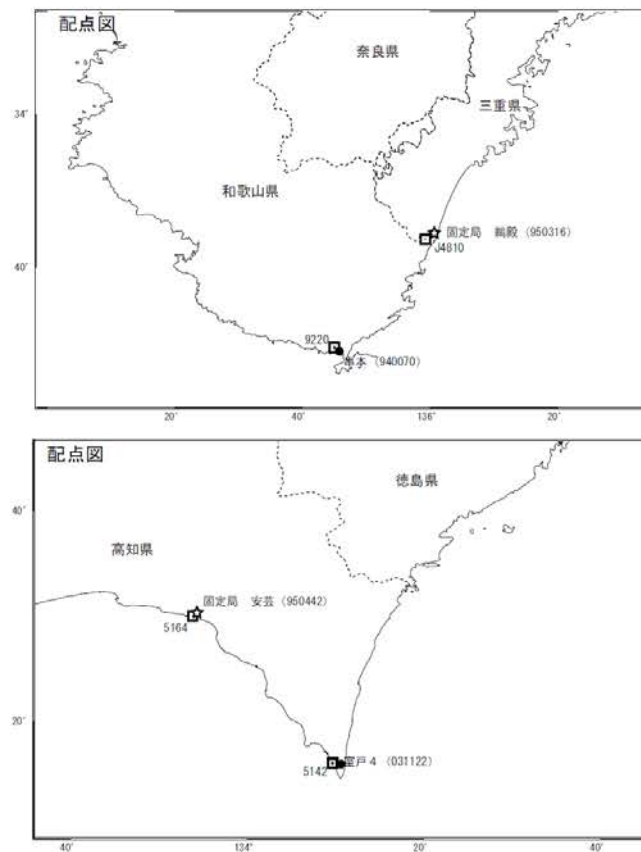
国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

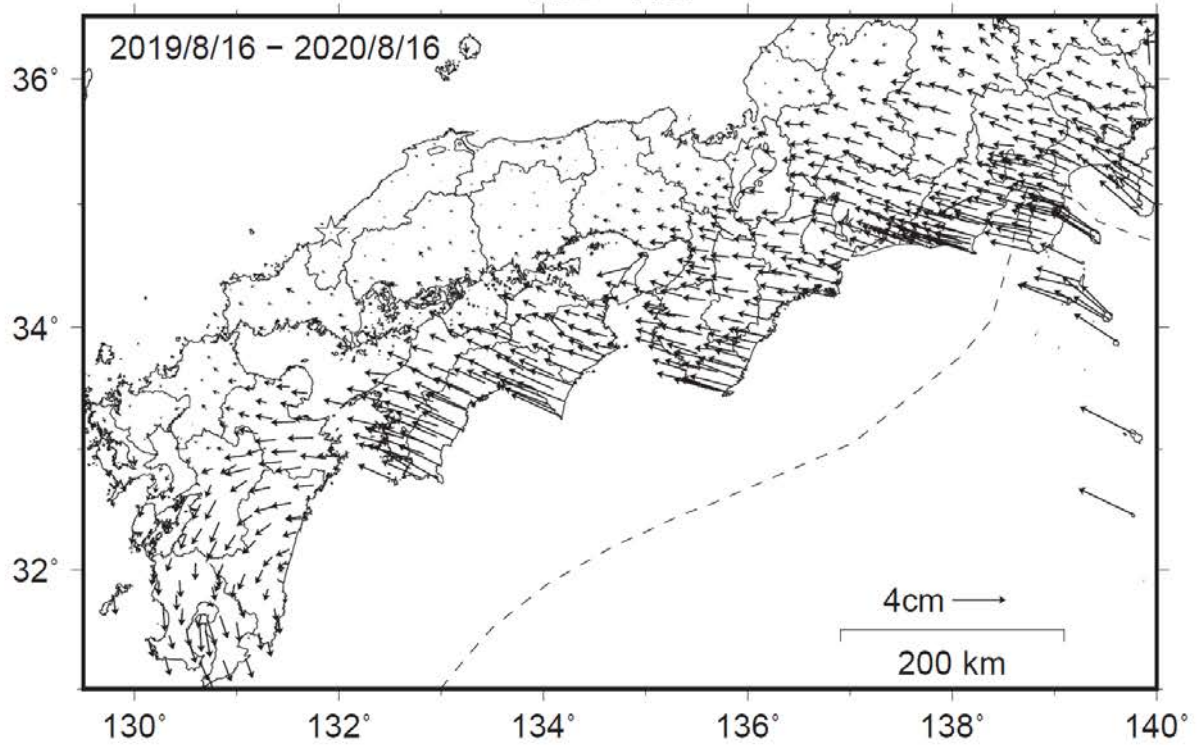


- ・ 最新のプロット点は8/1～8/8の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。

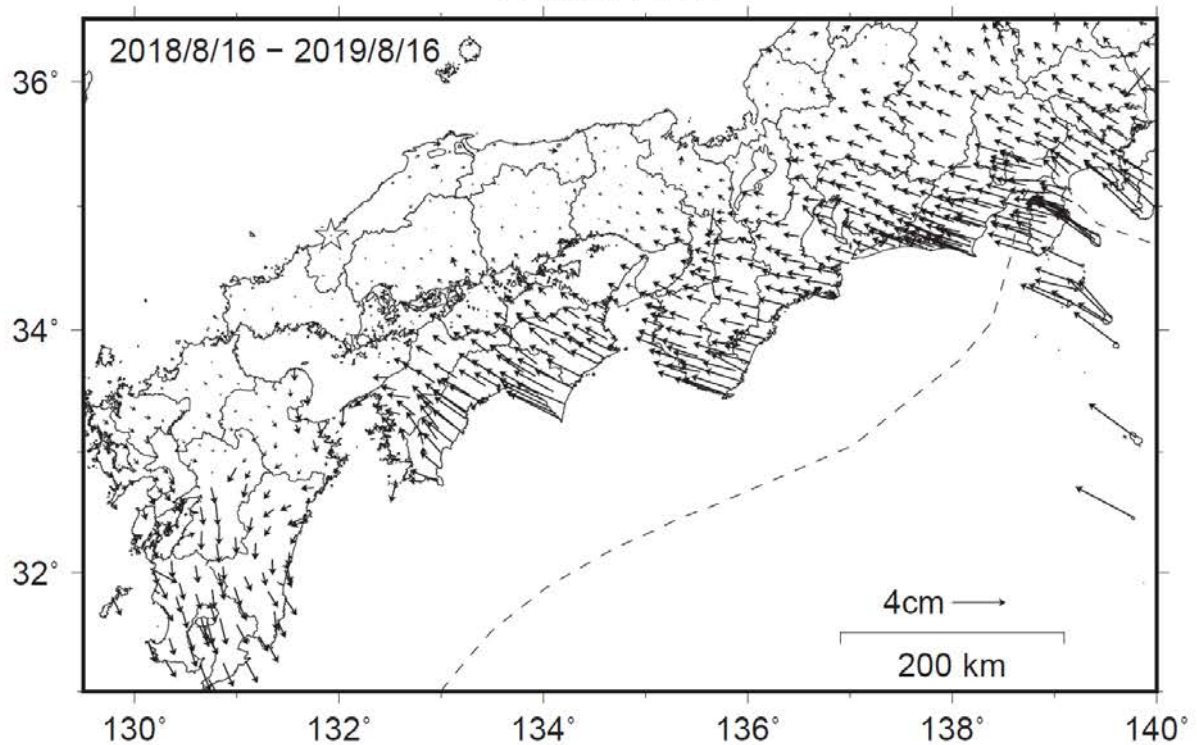


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



・各日付 ± 6日の計13日間の変動量の中央値をとり、その差から1年間の変動量を表示している。

国土地理院

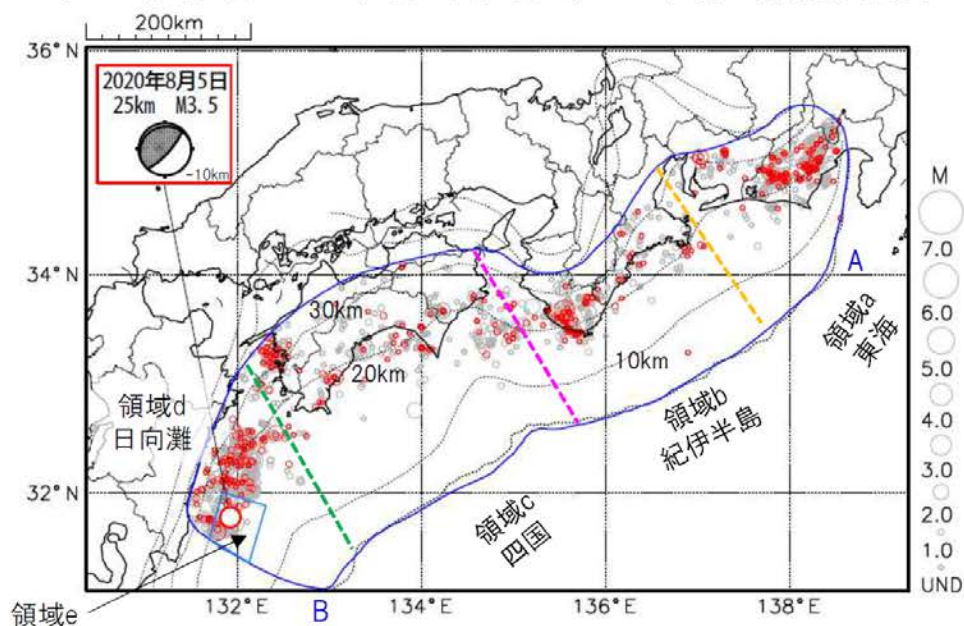
プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

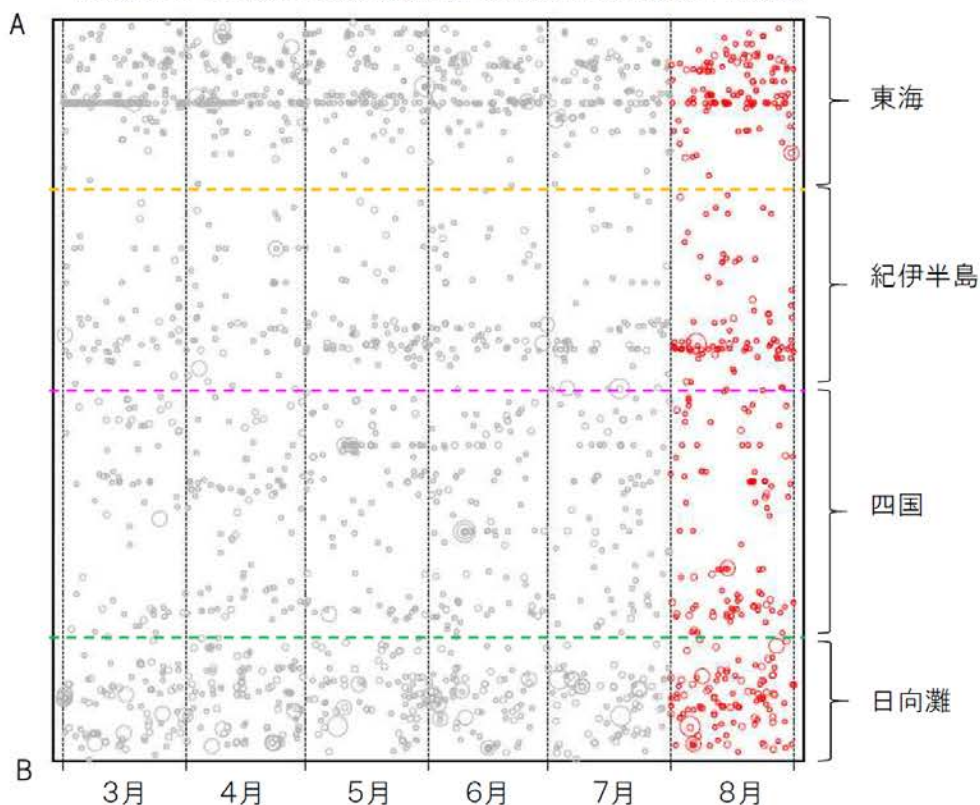
日向灘の領域e内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図

（2020年3月1日～2020年8月31日、M全て、2020年8月の地震を赤く表示）



南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図（A-B投影）



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差（+は浅い、-は深い）を示す。

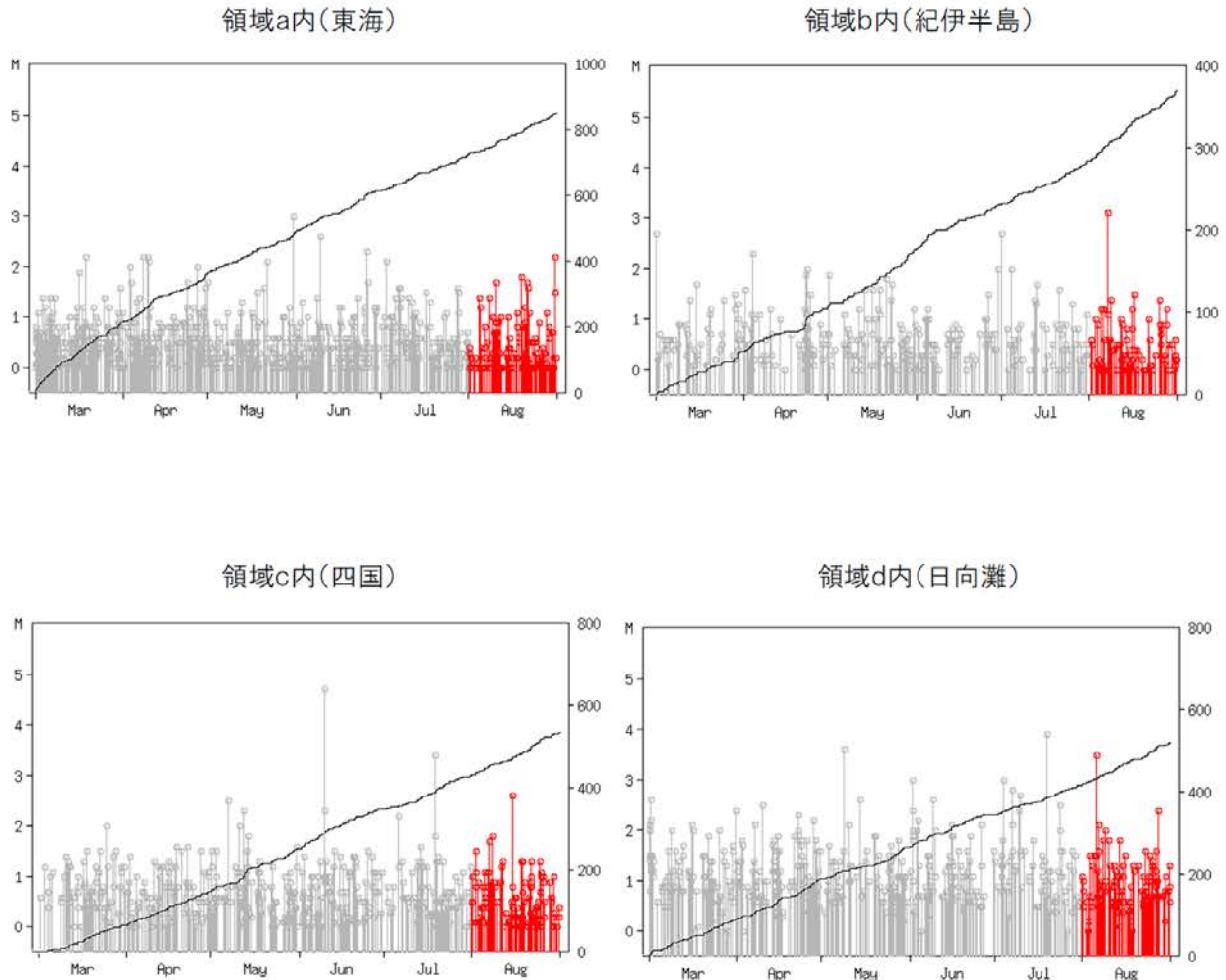
・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図

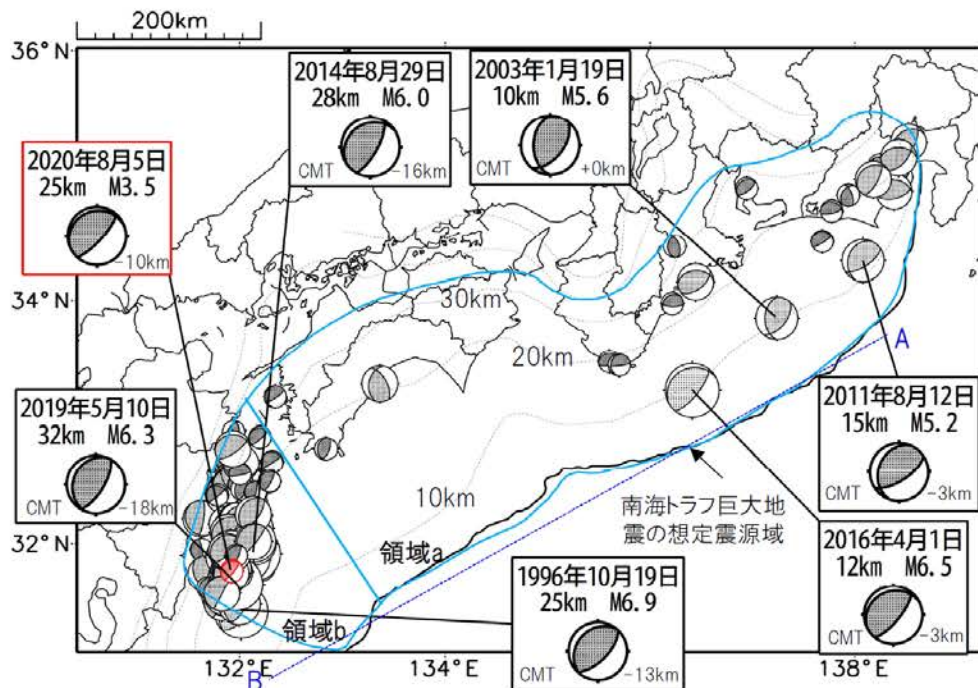


※M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図は参考として表記している。

気象庁作成

想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日～2020年8月31日、M $\geq$ 3.2、2020年8月の地震を赤く表示)



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

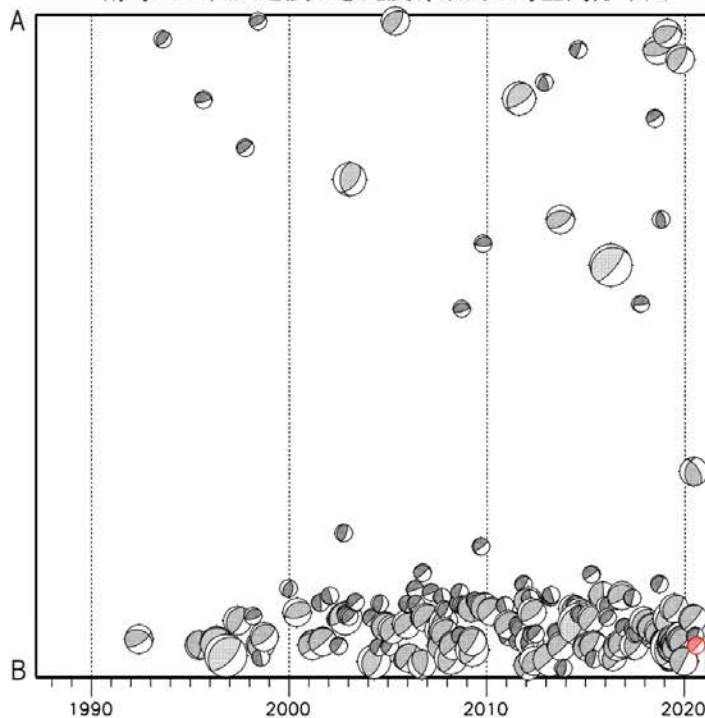
・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。

・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。

・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。

南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

【抽出条件】

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。

P軸の傾斜角が45度以下

P軸の方位角が65度以上180度以下(※)

T軸の傾斜角が45度以上

N軸の傾斜角が30度以下

※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様

・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。

・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。

・東海地方から四国地方(領域a)は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘(領域b)は、+10km～20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成

南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2020年8月31日

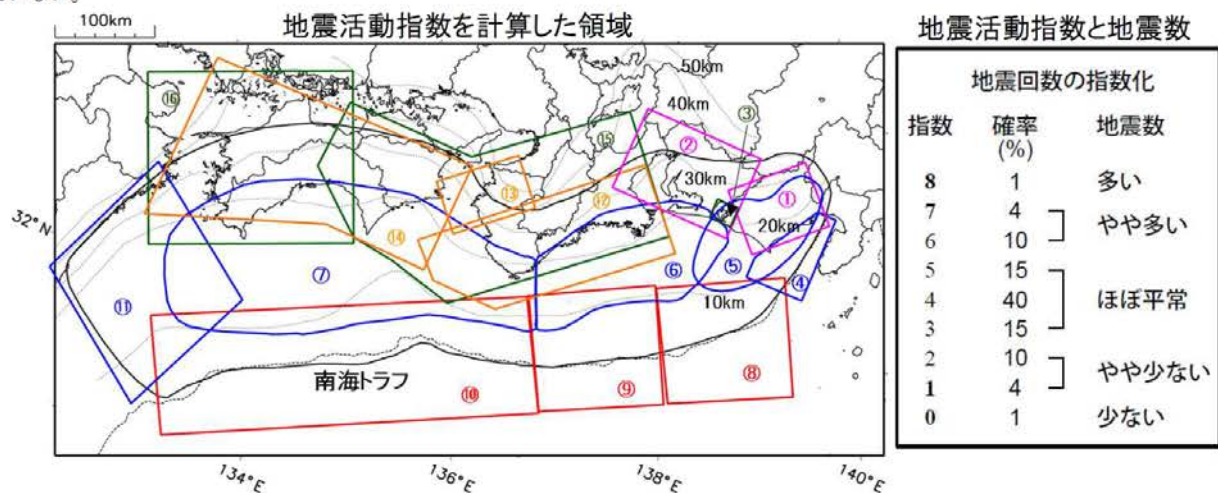
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南 海	⑦南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	4	6	4	4	5	4	5	4	6
平均回数	16.5	18.5	26.6	13.7	13.3	13.2	18.3	19.6	21.3
MLきい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離		3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数		7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0～ 30km	0～ 60km	0～ 30km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 100km	0～ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国
	⑧東側	⑩西側	全	地	地	地	プ	プ
	全	全						
地震活動指数	6	4	4	2	3	3	4	1
平均回数	12.0	14.9	20.6	22.9	41.9	30.4	27.7	28.2
MLきい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
クラスタ 除去	距離		10km	10km	10km	3km	3km	3km
	日数		10日	10日	10日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日
深さ	0～ 100km	0～ 100km	0～ 100km	0～ 20km	0～ 20km	0～ 20km	20～ 100km	20～ 100km

* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2019年1月31日

* 領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

* ⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



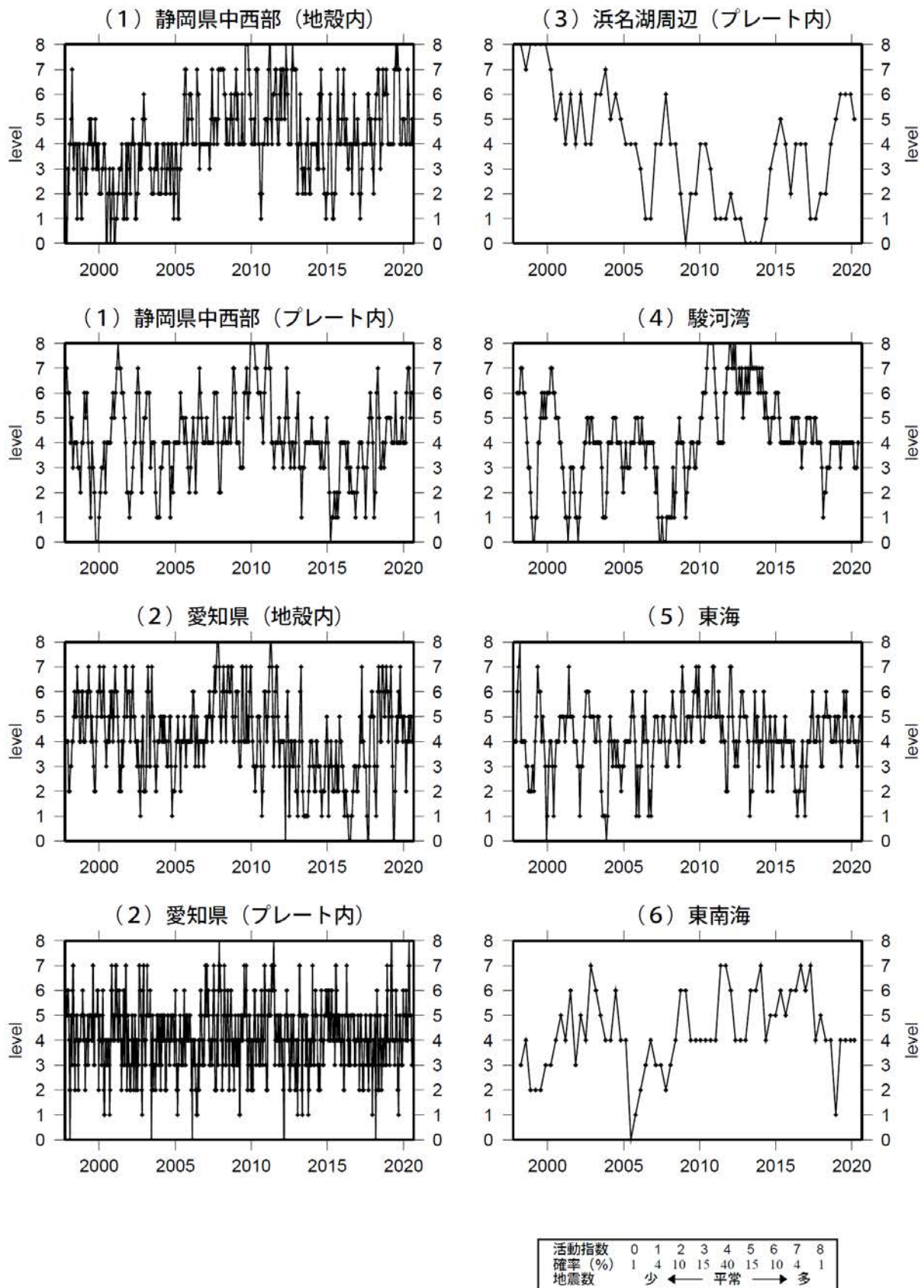
* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

* Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

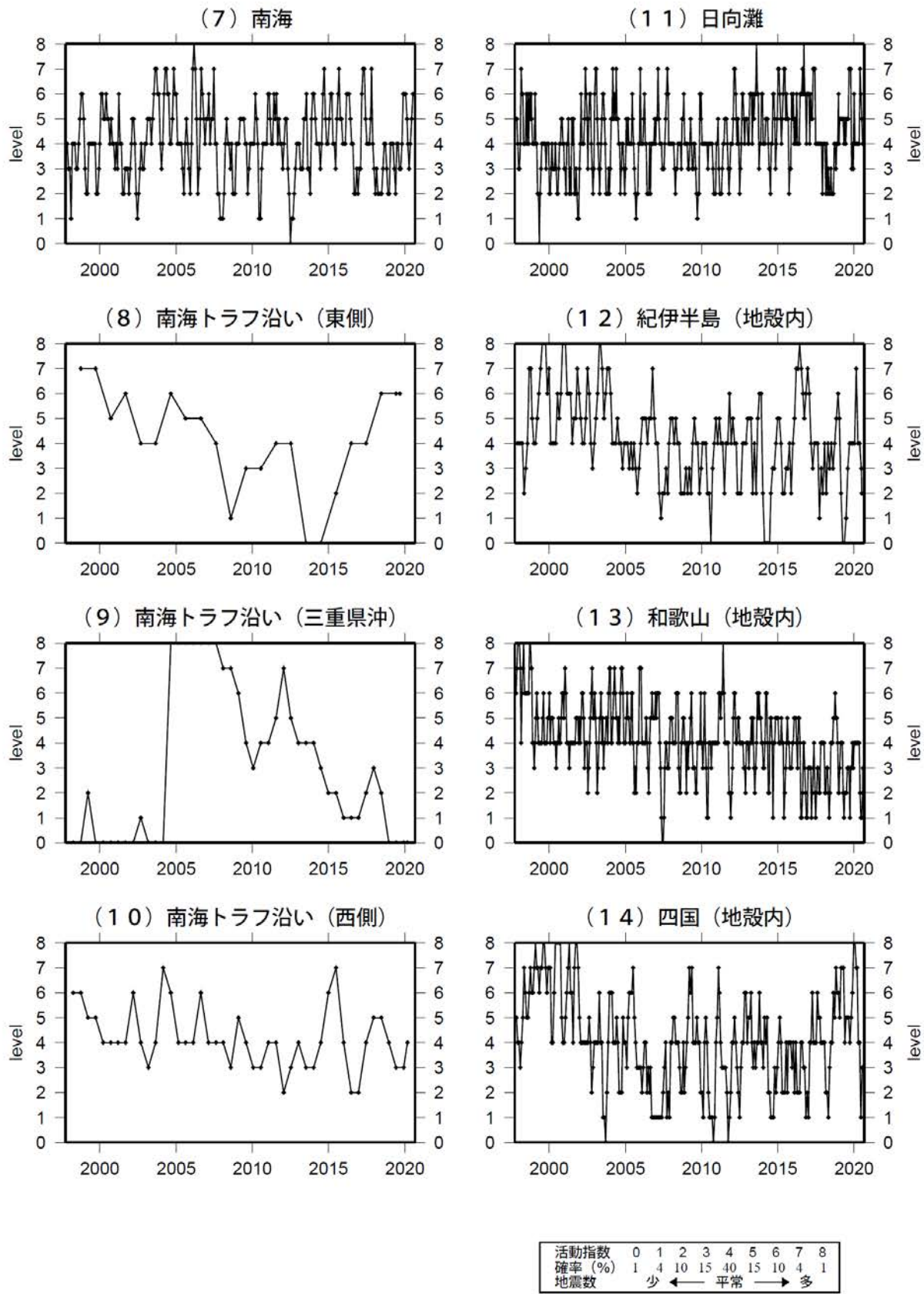
2020年08月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

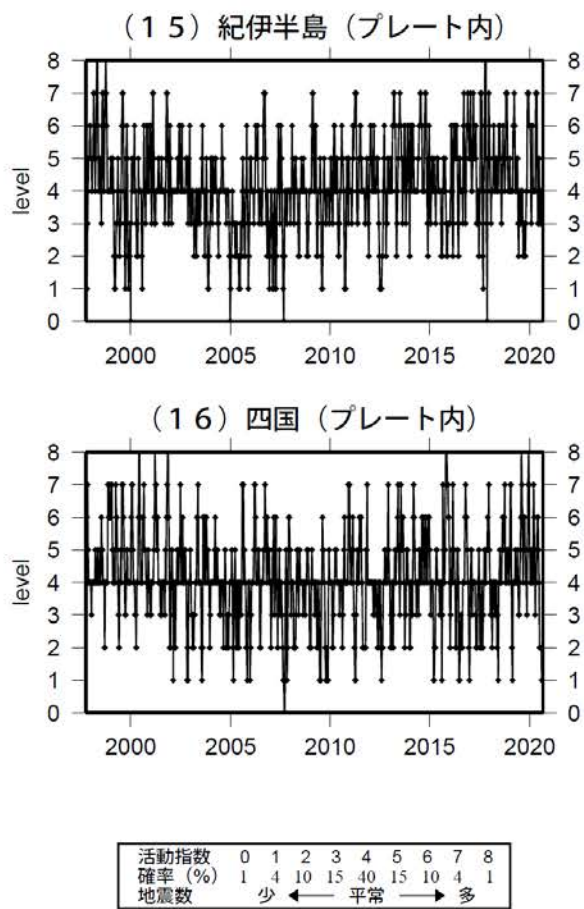
2020年08月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

2020年08月31日



気象庁作成

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和2年8月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和2年9月8日14時現在）。

阿蘇山では、18日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

表1 令和2年9月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2 （火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌブリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ペルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（8月1日～31日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

湯釜付近の浅部の火山性地震が継続的に発生していることから、湯釜付近の浅部の熱水活動はやや高い状態が続いていると考えられます。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

浅間山の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、8月中旬頃からほぼ停滞しています。GNSS連続観測では、7月頃に一部の基線でわずかな伸びの変化が見られましたが、8月頃からほぼ停滞しています。しかし、山体浅部を震源とする火山性地震は、増減を繰り返しながら引き続き発生しており、噴煙量も6月以前と比べ増加した状態が継続しています。

浅間山では火山活動が高まっており、今後、山頂火口から概ね2km以内に影響を及ぼす小噴火の可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、引き続き弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒して

ください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

気象衛星ひまわりの観測で、噴煙高度が火口縁上 4,000m 程度に達する噴煙が継続的に確認されましたが、8 月中旬頃から噴煙高度の低下傾向が認められます。19 日および 23 日の上空からの観測によると、観測中噴火は認められませんでした。

周囲に比べて地表面温度の高い領域はほぼ認められなくなったほか、溶岩噴出率も低下した状態が続いています。

以上のように、火山活動に低下傾向がみられていますが、今後も噴火が継続する可能性がありますので、山頂火口から概ね 2.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS 連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。

火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

阿蘇山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕←18 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ

阿蘇山では、火山性微動の振幅が 7 月 18 日以降、小さい状態で経過し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、6 月中旬頃からやや少ない状態で経過しています。

これらのことから、中岳第一火口から概ね 1 km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、18 日 11 時 00 分に噴火予報を発表して、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げました。

GNSS 連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線の伸びは停滞しています。

このように、火山活動は低下したものの、今後再び火山活動が高まる可能性がありますので、引き続き注意してください。

活火山であることから、火口内では土砂や火山灰を噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等が実施している立入規制等に留意してください。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

新燃岳では、火山性地震の回数が増減を繰り返しています。また、火口西側斜面の割れ目付近において引き続き噴気や地熱域が認められ、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加した状態であり、火山活動がわずかに高まった状態となっています。一方で、地殻変動のデータに特段の変化がみられていないことから、現在のところ規模の大きな噴火に至る可能性は低いと考えられます。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね 2 km まで、火砕流が概ね 1 km まで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、9 日 05 時 38 分に爆発が発生し、噴煙が火口縁上 5,000m まで上がりました。そ

の後、ごく小規模な噴火が時々観測されました。

桜島島内の傾斜計及び伸縮計では、6月下旬から山体膨張を示す緩やかな地殻変動が観測されていましたが、7月下旬以降は停滞しています。8月中旬以降、一部の観測点でわずかな収縮がみられます。

広域のGNSS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部で長期にわたり供給されたマグマが蓄積された状態が継続しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量がやや多い状態が続いていることから、南岳山頂火口を中心に、噴火活動が再び活発化する可能性があります。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

薩摩硫黄島では、4月30日以降、噴火は観測されていません。

地震や微動の発生状況に特段の変化はありませんが、夜間に火映が観測され、時折噴煙が高くなるなど、長期的には熱活動が高まった状態が続いています。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

口永良部島では、29日17時46分頃にごく小規模な噴火が発生しました。噴火を観測したのは2020年5月13日以来です。

新岳火口付近の浅い所が震源と推定される火山性地震は増減を繰り返しています。

また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で経過するなど火山活動は高まった状態です。

GNSS連続観測では、2019年10月頃からの島内の基線の伸びに、鈍化または停滞傾向がみられます。しかし、地下ではマグマが蓄積された状態が維持されていると推定され、その蓄積量は2015年噴火発生前の状態に匹敵します。

2019年10月以降の火山活動は、2018年から2019年の火山活動と同程度以上で推移しており、2014年から2015年に匹敵する火山活動に発展する可能性も考えられます。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加していることから、流下する火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳^{おたけ}火口では、活発な噴火活動が続いています。

諏訪之瀬島では、長期的に噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されます。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

（1）主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
東北地方	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）
	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	阿蘇山（つづき）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（＊印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、＊＊印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山＊、摩周、雄阿寒岳＊、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山＊＊、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンドナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

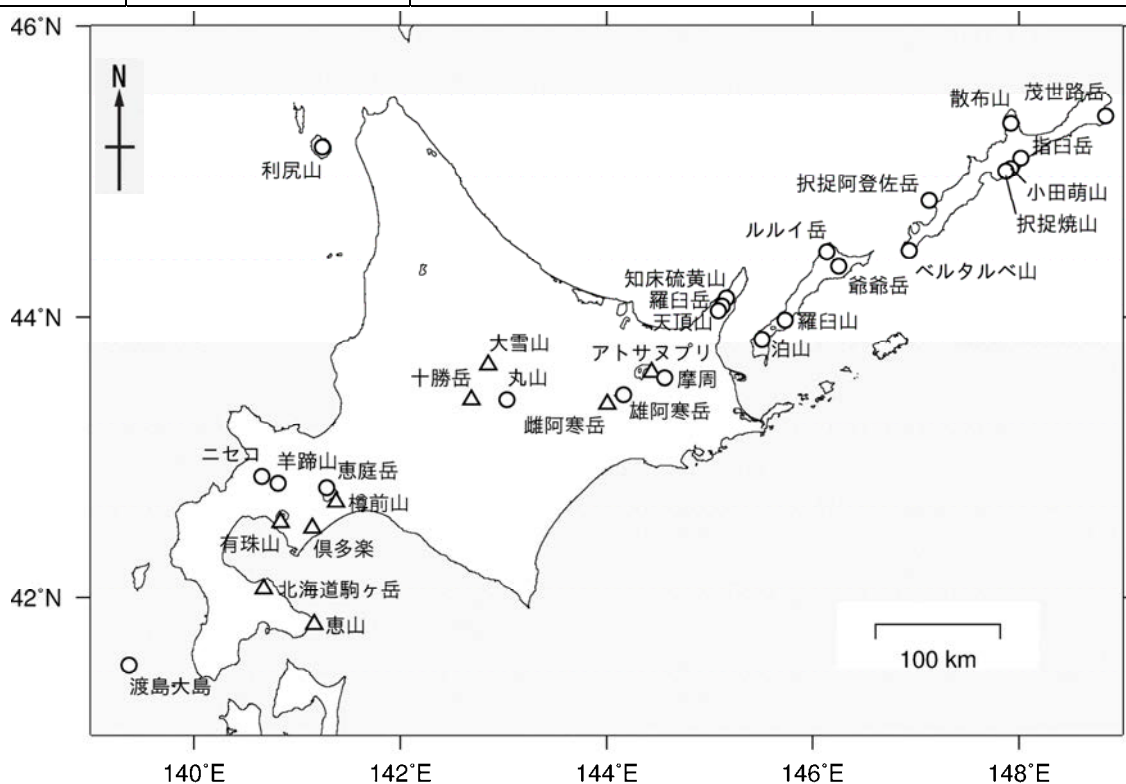
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和2年8月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡 例

噴火警戒レベル対象火山

▲：噴火警報発表中

△：噴火予報発表中

噴火警戒レベル対象外の火山

●：噴火警報発表中

○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（8月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

赤沼火口及び北西噴気孔列の噴気高がやや高い状態で経過しており、噴気活動がやや活発になっています。火山性地震の顕著な増加はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、今後の活動の推移に注意してください。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

十勝岳では、2006年から2017年秋ごろにかけて山体浅部が膨張し、その状態が現在も維持されています。火山性地震の一時的な増加、火山性微動や火山性地震と同期した傾斜変動は時折観測されており、振子沢噴気孔群や62-2火口では地熱域の拡大や火口温度の上昇が確認されています。火山活動の活発化を示唆する現象が観測されていますので、今後の活動推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和2年8月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（8月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の活動がやや活発な状況が続いています。また、女岳付近では地熱活動も継続的に認められており、今後の火山活動の推移に注意してください。



鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では、2020 年3月頃から吾妻山深部の膨張を示す変化がみられています。この変化が継続した場合には、火山活動が活発化に向かう可能性がありますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

大穴火口付近では熱活動が継続しており、噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

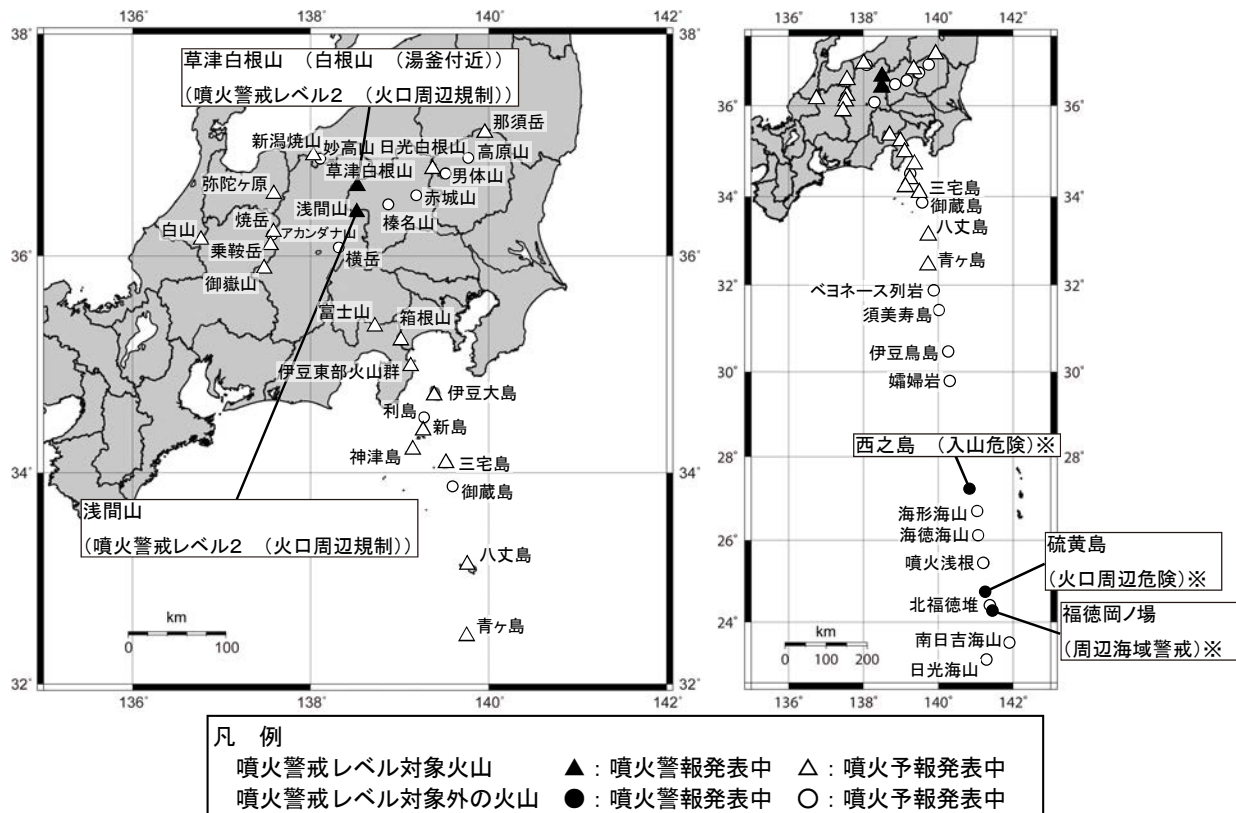
管内月間火山概況（令和2年8月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（8月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。
その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

湯釜付近の浅部の火山性地震が継続的に発生していることから、湯釜付近の浅部の熱水活動はやや高い状態が続いていると考えられます。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

浅間山の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、8月中旬頃からほぼ停滞しています。GNSS連続観測では、7月頃に一部の基線でわずかな伸びの変化が見られましたが、8月頃からほぼ停滞しています。しかし、山体浅部を震源とする火山性地震は、増減を繰り返しながら引き続き発生しており、噴煙量も6月以前と比べ増加した状態が継続しています。

浅間山では火山活動が高まっており、今後、山頂火口から概ね2km以内に影響を及ぼす小噴火の可能性あります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、引き続き弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴煙活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移に注意してください。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震活動が継続しており、GNSS連続観測では山頂付近で緩やかな膨張が続いているとみられます。中長期的に焼岳の火山活動は高まってきており、今後の火山活動の推移に注意してください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いています。

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

ただし、2014年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出しています。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね500mの範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、火山活動によると思われる地殻変動は観測されていません。

ただし、大涌谷周辺の想定火口域では活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意する必要があります。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴気活動は低調で、火山性地震は少ない状態で経過しており、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。長期的に継続していた山体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでの膨張により地下深部にマグマが供給された状態にあり、火山活動はやや高まった状態にあると考えられますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調な状態で、火山ガス放出量は少ない状態で経過しています。しかし、地殻変動観測では山体が膨張する変化が継続しており、長期的には地下へマグマが供給されていると考えられます。また、山体浅部の膨張を示すと考えられる地殻変動も観測されています。ただちに噴火する兆候はありませんが、今後の火山活動に注意してください。

噴煙活動は低調ではあるものの、主火孔からの噴煙活動が引き続き認められることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

気象衛星ひまわりの観測で、噴煙高度が火口縁上4,000m程度に達する噴煙が継続的に確認されましたが、8月中旬頃から噴煙高度の低下傾向が認められます。19日および23日の上空からの観測によると、観測中噴火は認められませんでした。

周囲に比べて地表面温度の高い領域はほぼ認められなくなったほか、溶岩噴出率も低下した状態が続いています。

以上のように、火山活動に低下傾向がみられていますが、今後も噴火が継続する可能性があります

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

ので、山頂火口から概ね2.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。

火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

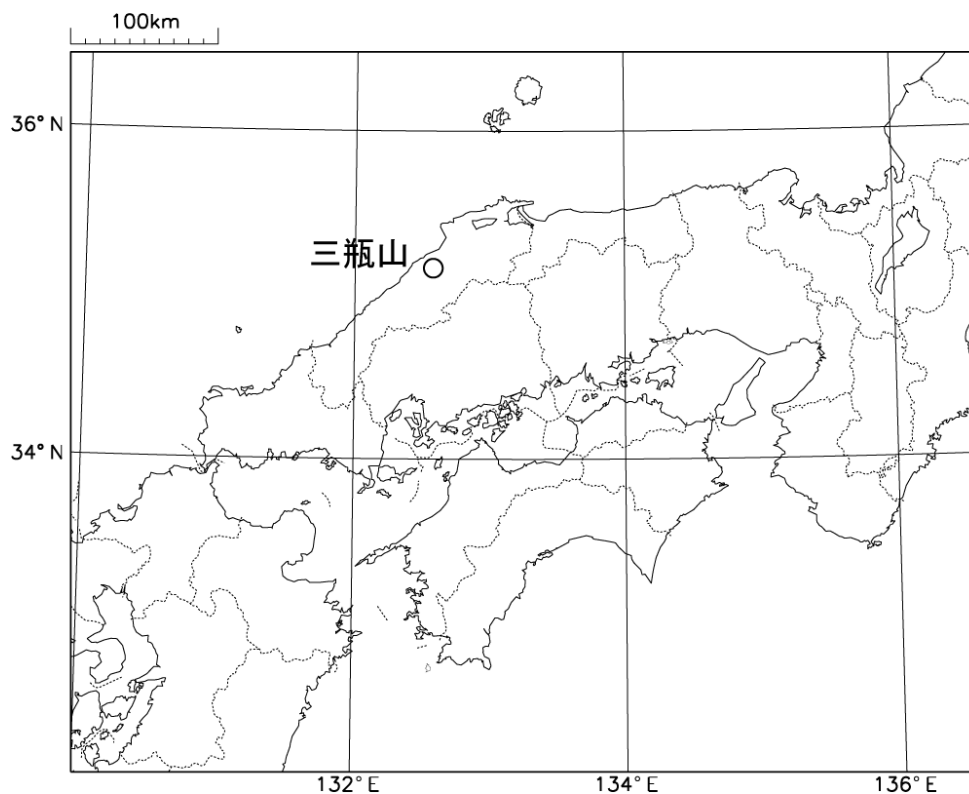
管内月間火山概況（令和2年8月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（8月31日現在）

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

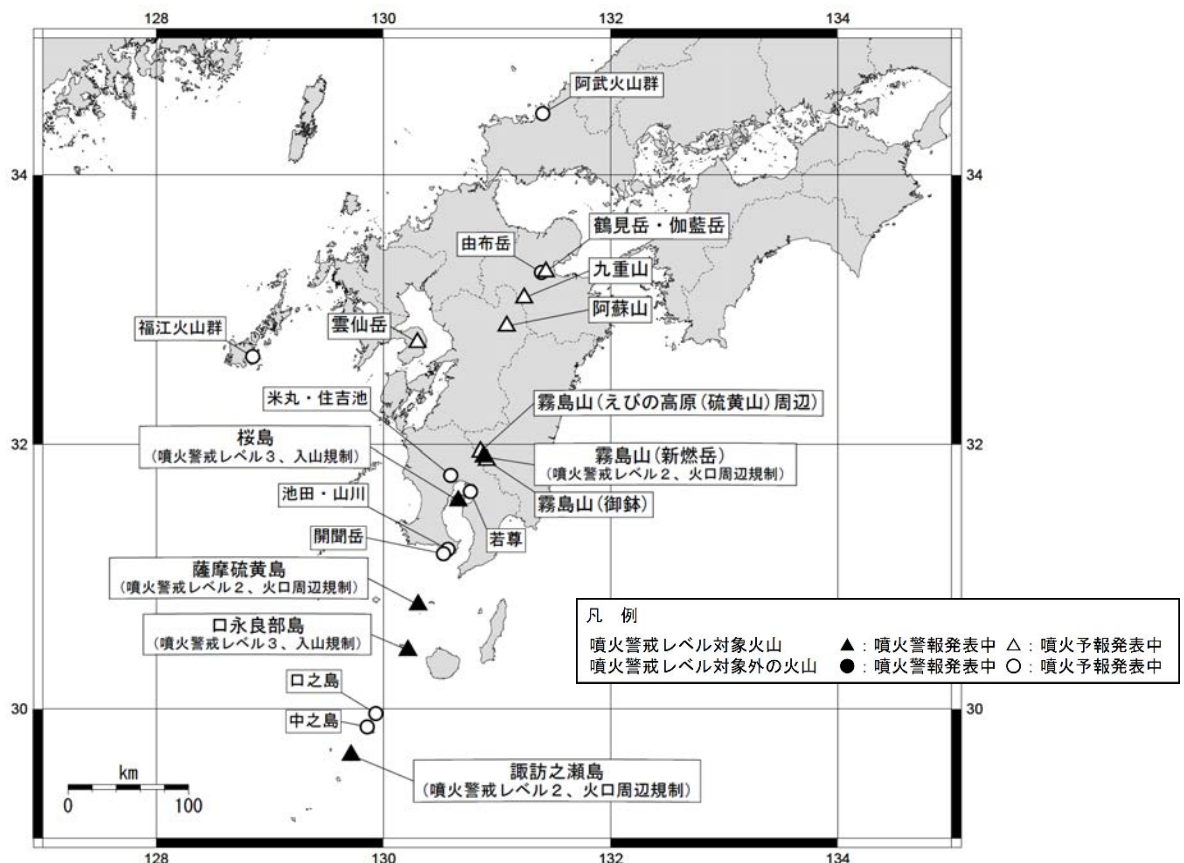
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和2年8月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和2年8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル2（火口周辺規制）	霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（8月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

阿蘇山では、18日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）へ引き下げました。

つるみだけ がらんだけ
鶴見岳・伽藍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕
火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

くじゅうさん
九重山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕
火山活動に特段の変化はありませんが、2014年以降、硫黄山付近の噴気孔群地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化がみられており、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

あそさん
阿蘇山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕 ←18日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）へ引下げ
阿蘇山では、火山性微動の振幅が7月18日以降、小さい状態で経過し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、6月中旬頃からやや少ない状態で経過しています。
これらのことから、中岳第一火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、18日11時00分に噴火予報を発表して、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。
GNSS連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線の伸びは停滞しています。
このように、火山活動は低下したものの、今後再び火山活動が高まる可能性がありますので、引き続き注意してください。
活火山であることから、火口内では土砂や火山灰を噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。
地元自治体等が実施している立入規制等に留意してください。

うんぜんだけ
雲仙岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕
火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2kmを震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん
霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕
硫黄山では活発な噴気活動が続いていますが、火山性地震は少ない状態で経過しています。また、GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線の伸びは2019年2月頃から概ね停滞しています。
火山活動に特段の変化は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲、及び硫黄山火口内では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

きりしまやま しんもえだけ
霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕
新燃岳では、火山性地震の回数が増減を繰り返しています。また、火口西側斜面の割れ目付近において引き続き噴気や地熱域が認められ、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加した状態であり、火山活動がわずかに高まった状態となっています。一方で、地殻変動のデータに特段の変化がみられていないことから、現在のところ規模の大きな噴火に至る可能性は低いと考えられます。
弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。
風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。
地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

きりしまやま おはち
霧島山（御鉢）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

さくらじま
桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、9日05時38分に爆発が発生し、噴煙が火口縁上5,000mまで上がりました。その後、ごく小規模な噴火が時々観測されました。

桜島島内の傾斜計及び伸縮計では、6月下旬から山体膨張を示す緩やかな地殻変動が観測されていましたが、7月下旬以降は停滞しています。8月中旬以降、一部の観測点でわずかな収縮がみられます。

広域のGNSS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部で長期にわたり供給されたマグマが蓄積された状態が継続しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量がやや多い状態が続いていることから、南岳山頂火口を中心に、噴火活動が再び活発化する可能性があります。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま
薩摩 硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

薩摩硫黄島では、4月30日以降、噴火は観測されていません。

地震や微動の発生状況に特段の変化はありませんが、夜間に火映が観測され、時折噴煙が高くなるなど、長期的には熱活動が高まった状態が続いています。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

くちのえらぶじま
口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

口永良部島では、29日17時46分頃にごく小規模な噴火が発生しました。噴火を観測したのは2020年5月13日以来です。

新岳火口付近の浅い所が震源と推定される火山性地震は増減を繰り返しています。

また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で経過するなど火山活動は高まった状態です。

GNSS連続観測では、2019年10月頃からの島内の基線の伸びに、鈍化または停滞傾向がみられます。しかし、地下ではマグマが蓄積された状態が維持されていると推定され、その蓄積量は2015年噴火発生前の状態に匹敵します。

2019年10月以降の火山活動は、2018年から2019年の火山活動と同程度以上で推移しており、2014年から2015年に匹敵する火山活動に発展する可能性も考えられます。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加していることから、流下する火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま
諏訪之瀬島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

おたけ
御岳火口では、活発な噴火活動が続いています。

諏訪之瀬島では、長期的に噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されます。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和2年8月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄气象台地震火山課

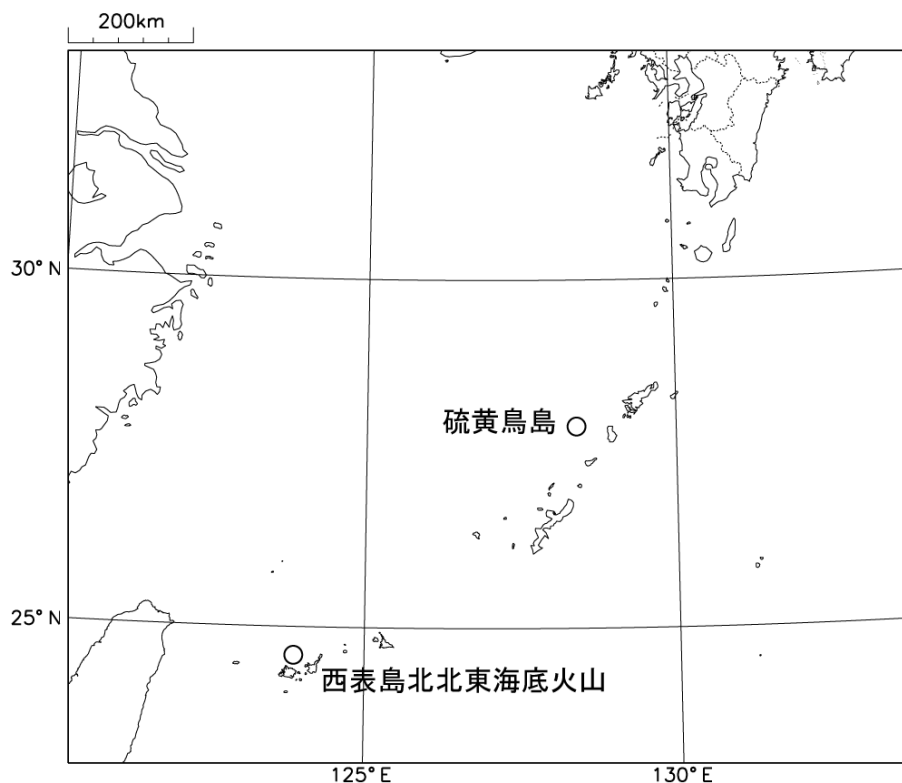
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（8月31日現在）

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

表 令和2年8月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第76号～86号	3日、7日 16時00分 9日 07時15分 9日 17時30分 10日 16時00分 14日 17時35分 17日、21日、24日、 28日、31日 16時00分	地殻変動、噴火、火山性地震・微動等の火山活動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。降灰の状況。上空からの観測結果。
			降灰予報（速報） 9日 05時52分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
			降灰予報（詳細） 9日 06時14分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第79号～96号	3日 16時00分 5日 11時00分 5日 16時10分 6日 16時45分 7日～12日 16時00分 14日 17時35分 17日、19日、21日、 24日、26日、28日、 31日 16時00分	火山性地震、噴煙、地殻変動等の火山活動の状況。 現地調査による地熱域、火山ガス等の状況。 上空からの観測結果。
西之島	火口周辺警報 (入山危険)	降灰予報（詳細）	2日 21時22分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
草津白根山 (白根山（湯釜付近）)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第89号～97号	3日、7日、10日、 14日、17日、21日、 24日、28日、31日 16時00分	火山性地震、湯釜火口内の状況、地殻変動等の火山活動の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第33号～41号	3日、7日、10日、 14日、17日、21日、 24日、28日、31日 16時00分	地殻変動、火山性地震、噴煙、火山ガス等の火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第66号～70号	3日、7日、10日、 14日、17日 16時00分	噴煙、火山性微動、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。
	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)：	噴火予報	18日 11時00分	火山活動は低下しており、中岳第一火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったとして、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）に引下げ。
		解説情報 第71号	18日 11時20分	火山性微動、火山ガス、火口内の熱活動、地殻変動等の火山活動の状況。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第69号～81号	3日、7日、10日、 14日、17日、21日、 24日 16時00分 26日 10時00分 27日～31日 16時00分	火山性地震、地殻変動、現地調査による火山ガスや地熱域の状況等の火山活動の状況。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第32号～36号	3日、10日、17日、 24日、31日 16時00分	噴煙、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。

令和 2 年 8 月 地震・火山月報（防災編）

諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 32 号～35 号	7 日、14 日、21 日、 28 日 16 時 00 分	噴火の状況。 噴煙、火山性地震・微動、地殻変動等 の火山活動の状況。
		降灰予報（速報）	1 日 03 時 45 分 12 時 39 分 13 時 30 分 14 時 30 分 16 時 01 分 18 時 29 分 2 日 06 時 52 分 18 日 12 時 14 分 20 日 17 時 32 分 21 日 03 時 48 分 04 時 14 分 05 時 05 分 14 時 57 分 22 時 52 分 22 日 05 時 15 分 21 時 26 分 23 日 06 時 10 分	噴火発生から 1 時間以内に予想され る降灰量分布や小さな噴石の落下範 囲を予想。
		降灰予報（詳細）	01 日 04 時 00 分 09 時 20 分 12 時 47 分 12 時 57 分 13 時 39 分 14 時 38 分 16 時 12 分 18 時 39 分 02 日 07 時 02 分 18 日 12 時 29 分 20 日 17 時 41 分 21 日 03 時 58 分 04 時 22 分 05 時 15 分 15 時 08 分 23 時 03 分 22 日 05 時 26 分 21 時 38 分 23 日 06 時 18 分	噴火発生から 6 時間先までに予想さ れる降灰量分布や降灰開始時刻を予 想。

注 1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注 2) 草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。ただし、阿蘇山においては、18 日 8 時の発表で終了した。

● 世界の主な地震

令和2年（2020年）8月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

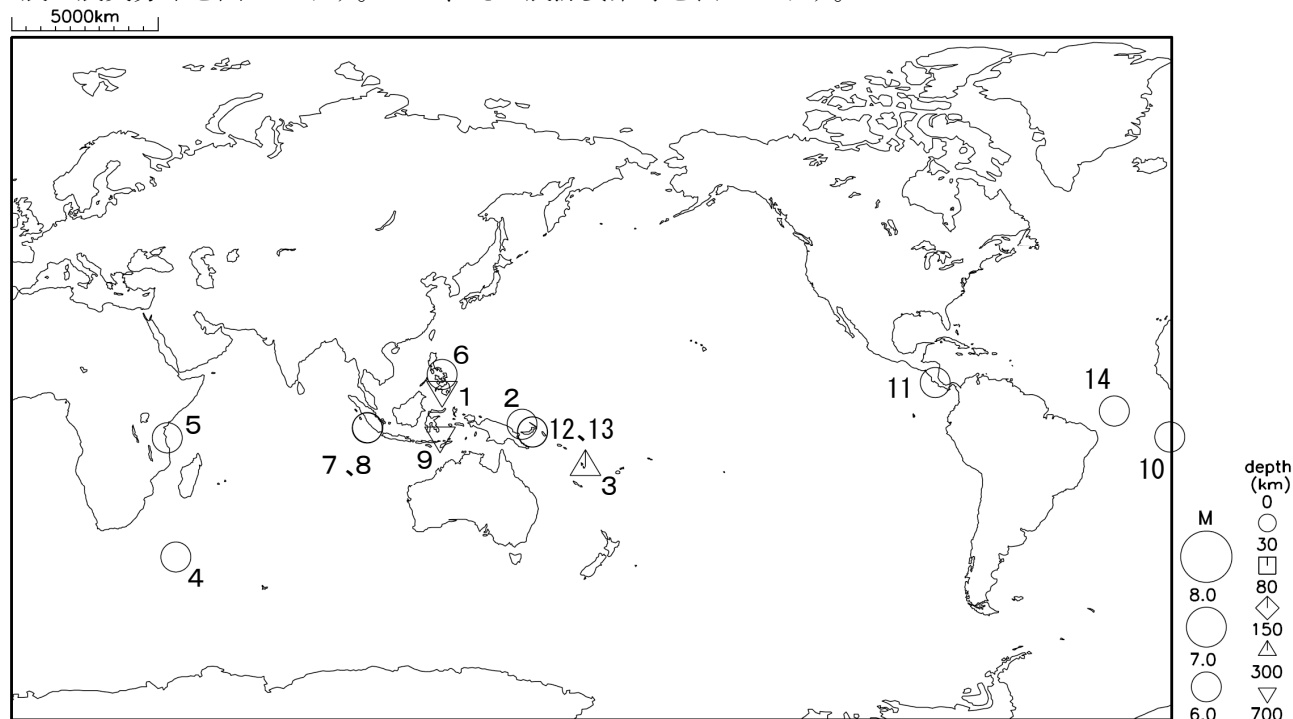


図1 令和2年（2020年）8月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和2年（2020年）8月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	02日02時09分	N 7° 16.6′	E124° 07.1′	481			6.4	フィリピン諸島、ミンダナオ			
2	02日04時22分	S 3° 11.4′	E148° 38.4′	10			6.1	ビスマルク海			
3	05日21時05分	S16° 06.7′	E168° 04.8′	175			6.4	バヌアツ諸島			
4	07日08時36分	S41° 40.7′	E 42° 26.9′	10			6.3	南アフリカ、プリンスエドワード諸島			
5	13日02時13分	S 7° 19.9′	E 39° 48.7′	18			6.0	タンザニア			
6	18日09時03分	N12° 01.5′	E124° 07.6′	10			6.6	フィリピン諸島、サマル	死者1人など	○	
7	19日07時23分	S 4° 19.5′	E101° 08.0′	22			6.8	インドネシア、スマトラ南部			
8	19日07時29分	S 4° 12.4′	E101° 14.4′	26			6.9	インドネシア、スマトラ南部			
9	21日13時09分	S 6° 40.2′	E123° 29.5′	627			6.9	バンダ海			
10	22日17時38分	S 7° 04.4′	W 12° 41.3′	10			6.0	アセンション島			
11	25日06時51分	N 9° 34.4′	W 84° 37.8′	19			6.0	コスタリカ			
12	26日04時02分	S 5° 33.4′	E151° 52.5′	23			6.0	バブアニューギニア、ニューブリテン			
13	26日04時08分	S 5° 32.1′	E151° 47.8′	22			6.2	バブアニューギニア、ニューブリテン			
14	31日06時20分	N 0° 52.1′	W 29° 42.2′	10			6.5	大西洋中央海嶺中部			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの”Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2020年9月1日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9時間〕である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
- ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>）参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- ・津波の観測値は、米国海洋大気庁（NOAA；National Oceanic and Atmospheric Administration）による。

● 世界の主な火山活動

令和2年（2020年）8月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和2年（2020年）8月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月 地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'F'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 01 18	徳島県南部 徳島県	33° 56.8' N	134° 23.8' E	39km	M: 3.0
		1 牟岐町中村*=0.6 那賀町和食*=0.6 石井町高川原*=0.5				
2	1 02 04	奄美大島近海 沖縄県	26° 38.2' N	130° 10.0' E	55km	M: 4.5
		1 北大東村中野*=1.0				
3	1 03 39	紀伊水道 和歌山県	34° 09.3' N	135° 06.7' E	9km	M: 2.6
		1 海南市下津*=0.9 和歌山市一番丁*=0.6				
4	1 12 15	和歌山県南部 和歌山県	33° 47.3' N	135° 26.8' E	46km	M: 4.2
		3 田辺市中辺路町栗栖川*=3.1 白浜町日置*=3.0 田辺市本宮町本宮*=2.8 田辺市中屋敷町*=2.7 田辺市中辺路町近露*=2.6				
		2 御坊市箇=2.4 日高川町土生*=2.4 田辺市龍神村西*=2.2 みなべ町芝*=2.1 新宮市熊野川町日足*=2.1 上富田町朝来*=2.1 湯浅町青木*=2.0 白浜町消防本部=2.0 高野町高野山中学校=2.0 かつらぎ町丁ノ町*=1.9 和歌山日高町高家*=1.9 紀美野町下佐々*=1.9 有田川町清水*=1.9 和歌山美浜町和田*=1.8 田辺市鮎川*=1.8 由良町里*=1.7 紀の川市那賀総合センター*=1.6 和歌山印南町印南*=1.6 みなべ町土井=1.6 有田川町下津野*=1.5 かつらぎ町花園梁瀬*=1.5				
		1 和歌山広川町広*=1.4 日高川町高津尾*=1.4 紀の川市粉河=1.4 すさみ町周参見*=1.4 北山村大沼*=1.4 高野町役場*=1.3 橋本市高野口町名倉*=1.3 日高川町川原河*=1.2 和歌山市男野芝丁=1.2 紀の川市貴志川町神戸*=1.2 新宮市新宮=1.2 海南市下津*=1.2 太地町役場*=1.2 串本町串本*=1.1 有田市初島町*=1.1 新宮市磐盾*=1.0 那智勝浦町朝日*=1.0 太地町太地暖海公園*=1.0 古座川町高池=1.0 橋本市東家*=1.0 有田川町中井原*=0.9 串本町古座*=0.9 紀の川市桃山町元*=0.8 和歌山市一番丁*=0.8 紀の川市西大井*=0.8 紀美野町神野市場*=0.7 有田市箕島=0.7				
		三重県				
		2 尾鷲市南浦*=1.6 熊野市有馬町*=1.6 尾鷲市南陽町=1.6 紀宝町鶴殿*=1.5 尾鷲市中央町*=1.5				
		1 熊野市紀和町板屋*=1.3 三重紀北町相賀*=1.0 三重御浜町寺谷総合公園=0.8 三重御浜町阿田和*=0.7				
		大阪府				
		2 大阪堺市堺区山本町*=1.7 河内長野市役所*=1.6				
		1 岸和田市畑町*=1.4 富田林市高辺台*=1.4 河内長野市清見台*=1.3 千早赤阪村水分*=1.2 大阪堺市南区桃山台*=1.1 大阪和泉市府中町*=1.1 泉大津市東雲町*=1.1 富田林市本町=1.0 忠岡町忠岡東*=1.0 大阪東住吉区杭全*=0.9 河南町白木*=0.9 熊取町野田*=0.8 大阪太子町山田*=0.8 岸和田市役所*=0.8 岸和田市岸城町=0.8 大阪堺市堺区大浜南町*=0.8 大阪堺市美原区黒山*=0.8 泉佐野市りんくう往来*=0.8 大阪狭山市狭山*=0.8 泉佐野市市場*=0.7 柏原市安堂町*=0.7 島本町若山台*=0.7 大阪大正区泉尾*=0.7 大阪東成区東中本*=0.7 大阪生野区舍利寺*=0.7 箕面市栗生外院*=0.7 貝塚市畠中*=0.6 大阪城東区放出西*=0.6 大阪旭区大宮*=0.6 大阪堺市中区深井清水町=0.6 枚方市大垣内*=0.6 能勢町森上*=0.6 寝屋川市役所*=0.5 松原市阿保*=0.5 大阪福島区福島*=0.5 羽曳野市簗田*=0.5 豊中市曽根南町*=0.5 交野市私部*=0.5 大阪東淀川区北江口*=0.5				
		奈良県				
		2 天川村沢谷*=1.7 十津川村小原*=1.7 五條市大塔町辻堂*=1.6 下北山村寺垣内*=1.6 高取町観覧寺*=1.5 下市町下市*=1.5 黒滝村寺戸*=1.5 天川村洞川=1.5				
		1 御所市役所*=1.3 大淀町桧垣本=1.3 吉野町上市*=1.2 野迫川村北股*=1.2 広陵町南郷*=1.2 上北山村河合*=1.0 宇陀市大宇陀迫間*=1.0 五條市本町*=1.0 大和郡山市北郡山町*=0.9 斑鳩町法隆寺西*=0.9 安堵町東安堵*=0.9 三宅町伴堂*=0.9 田原本町役場*=0.9 葛城市長尾*=0.8 桜井市初瀬=0.8 奈良川上村迫*=0.8 葛城市柿本*=0.8 香芝市本町*=0.7 大和高田市野口*=0.7 大和高田市大中*=0.7 生駒市東新町*=0.6 東吉野村小川*=0.6 奈良川西町結崎*=0.6 橿原市八木町*=0.6 五條市西吉野町*=0.6 奈良市二条大路南*=0.5 天理市川原城町*=0.5				
		徳島県				
		1 阿南市山口町*=1.2 美波町西の地*=1.2 徳島市大和町=1.1 那賀町和食*=1.0 石井町高川原*=0.8 阿南市那賀川町*=0.8 鳴門市鳴門町*=0.7 美馬市木屋平*=0.7 阿南市富岡町=0.7 吉野川市鴨島町=0.5				
		香川県				
		1 東かがわ市西村=0.5				
5	1 12 22	栃木県北部 福島県	36° 55.5' N	139° 40.6' E	7km	M: 2.8
		1 檜枝岐村上河原*=1.3				
6	1 17 03	福島県中通り 福島県	37° 03.1' N	140° 31.6' E	9km	M: 2.7
		1 浅川町浅川*=0.8				
7	1 19 18	内浦湾 北海道	41° 55.8' N	140° 58.0' E	8km	M: 2.4
		2 函館市川汲町*=2.1				

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
8	1 23 20	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.7	26° 29.4' N	142° 03.0' E	56km	M: 4.1
9	2 06 35	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.5	36° 18.8' N	137° 37.7' E	2km	M: 2.7
10	2 07 04	富山県西部 富山県 1 高岡市広小路*=1.0	36° 44.2' N	137° 00.6' E	8km	M: 1.6
11	3 01 49	岩手県沖 岩手県 1 住田町世田米*=1.1 大船渡市大船渡町=0.8 一関市千厩町*=0.7 一関市室根町*=0.7	39° 04.7' N	142° 11.9' E	43km	M: 3.5
12	3 14 34	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*=1.2 木曽町新開*=0.6	36° 11.6' N	137° 40.1' E	3km	M: 2.7
13	3 21 08	長野県南部 長野県 1 木曽町新開*=0.5	35° 56.0' N	137° 39.7' E	11km	M: 2.5
14	4 11 56	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町*=0.5	42° 15.1' N	142° 28.5' E	43km	M: 3.0
15	4 20 21	房総半島南方沖 千葉県 2 勝浦市墨名=1.6 君津市久留里市場*=1.6 市原市姉崎*=1.6 1 いすみ市国府台*=1.4 鴨川市横渚*=1.3 富津市下飯野*=1.3 睦沢町下之郷*=1.3 南房総市岩糸*=1.3 長南町総合グラウンド=1.3 長南町長南*=1.3 館山市長須賀=1.3 南房総市白浜町白浜*=1.2 一宮町一宮=1.2 館山市北条*=1.2 大多喜町大多喜*=1.2 勝浦市新宮*=1.2 南房総市富浦町青木*=1.2 南房総市谷向*=1.1 鴨川市八色=1.1 南房総市上堀=1.0 千葉美浜区ひび野=1.0 木更津市富士見*=0.9 東金市日吉台*=0.8 千葉花見川区花島町*=0.7 鴨川市内浦=0.7 浦安市日の出=0.7 南房総市千倉町瀬戸*=0.7 大網白里市大網*=0.7 千葉中央区中央港=0.7 千葉美浜区稲毛海岸*=0.6 山武市蓮沼二*=0.5 東京都 2 伊豆大島町波浮港*=2.1 伊豆大島町差木地=1.7 東京千代田区大手町=1.5 1 東京世田谷区三軒茶屋*=1.4 三宅村坪田=1.4 御蔵島村西川=1.4 東京渋谷区本町*=1.3 国分寺市本多*=1.2 三宅村神着=1.2 東京渋谷区宇田川町*=1.1 東京大田区本羽田*=1.0 新島村本村*=1.0 新島村大原=0.9 東京練馬区東大泉*=0.9 東京世田谷区世田谷*=0.9 東京中野区中野*=0.8 東京杉並区桃井*=0.8 東京中央区勝どき*=0.8 東京江戸川区中央=0.8 小平市小川町*=0.8 東京江東区枝川*=0.8 小金井市本町*=0.7 日野市神明*=0.7 東京利島村東山=0.7 東京世田谷区中町*=0.7 東京杉並区高井戸*=0.7 東京新宿区上落合*=0.7 調布市西つつじヶ丘*=0.7 西東京市中町*=0.6 東京港区海岸=0.6 新島村式根島=0.6 東京杉並区阿佐谷=0.6 東京江東区越中島*=0.6 東京国際空港=0.6 国分寺市戸倉=0.6 東京文京区スポーツセンタ*=0.5 東京江戸川区鹿骨*=0.5 東京江戸川区船堀*=0.5 八王子市堀之内*=0.5 東京文京区本郷*=0.5 町田市忠生*=0.5 東京品川区平塚*=0.5 東京大田区多摩川*=0.5 伊豆大島町元町=0.5 東京北区西ヶ原*=0.5 神奈川県 2 三浦市城山町*=1.8 横須賀市光の丘=1.6 1 横浜神奈川区広台太田町*=1.2 横浜港北区日吉本町*=1.2 横浜港南区丸山台東部*=1.2 川崎川崎区宮前町*=1.2 川崎川崎区千鳥町*=1.2 厚木市中町*=1.2 横浜泉区和泉町*=1.1 川崎宮前区宮前平*=1.1 横浜磯子区洋光台*=1.0 横浜金沢区釜利谷南*=1.0 横浜鶴見区末広町*=1.0 横浜中区山手町=1.0 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.0 横浜神奈川区神大寺*=0.9 綾瀬市深谷*=0.9 横浜戸塚区鳥が丘*=0.9 横浜緑区十日市場町*=0.8 横須賀市坂本町*=0.8 湯河原町中央=0.8 横浜鶴見区鶴見*=0.7 相模原中央区水郷田名*=0.7 横浜中区山吹町*=0.6 川崎中原区小杉陣屋町=0.5 平塚市浅間町*=0.5 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.5 秦野市曾屋=0.5 静岡県 2 東伊豆町奈良本*=1.8 1 伊豆の国市長岡*=1.0 伊豆市中伊豆グラウンド=0.9 茨城県 1 笠間市石井*=0.6 坂東市岩井=0.6 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.6 埼玉県 1 狭山市入間川*=0.8 新座市野火止*=0.8 さいたま大宮区天沼町*=0.8 さいたま大宮区大門*=0.8 さいたま南区別所*=0.7 さいたま北区宮原*=0.7 久喜市下早見=0.6 川口市青木*=0.6 所沢市北有楽町*=0.6 和光市広沢*=0.6 さいたま浦和区高砂=0.5 富士見市鶴馬*=0.5 さいたま緑区中尾*=0.5 加須市大利根*=0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.5	34° 27.8' N	140° 17.5' E	75km	M: 4.6
16	4 23 03	福島県沖 福島県 2 檜葉町北田*=1.9 1 川内村下川内=1.3 川内村上川内早渡*=1.3 いわき市平四ツ波*=1.2 福島広野町下北迫大谷地原*=1.2 大熊町大川原*=1.2 いわき市三和町=0.7 玉川村小高*=0.7 浪江町幾世橋=0.6	37° 05.9' N	141° 06.8' E	51km	M: 3.7
17	5 10 00	奄美大島近海 鹿児島県 1 瀬戸内町西古見=0.5	28° 11.8' N	129° 32.3' E	31km	M: 3.1
18	6 02 54	茨城県沖 福島県 3 郡山市湖南町*=2.7 玉川村小高*=2.7 双葉町両竹*=2.6 2 国見町藤田*=2.4 いわき市小名浜=2.4 福島市松木町=2.3 須賀川市岩瀬支所*=2.3 天栄村下松本*=2.3 田村市大越町*=2.3 猪苗代町千代田*=2.3 古殿町松川新桑原*=2.2 郡山市開成*=2.2 福島伊達市保原町*=2.2 浪江町幾世橋=2.2 福島市五老内町*=2.2 郡山市朝日=2.1	36° 13.4' N	141° 36.2' E	54km	M: 5.6

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		本宮市白岩*=2.1 須賀川市八幡山*=2.1 須賀川市長沼支所*=2.1 南相馬市小高区*=2.1 大玉村南小屋=2.1 鏡石町不時沼*=2.1 福島市桜木町*=2.1 西郷村熊倉*=2.1 泉崎村泉崎*=2.1 白河市東*=2.0 会津坂下町市中三番甲*=2.0 いわき市平梅本*=2.0 相馬市中村*=2.0 川内村上川内早渡*=2.0 須賀川市八幡町*=2.0 南相馬市鹿島区西町*=2.0 白河市新白河*=2.0 猪苗代町城南=2.0 白河市大信*=1.9 大熊町大川原*=1.9 南相馬市原町区高見町*=1.9 田村市滝根町*=1.9 福島伊達市前川原*=1.9 川俣町五百田*=1.9 白河市表郷*=1.9 湯川村清水田*=1.9 会津美里町新鶴庁舎*=1.9 檜葉町北田*=1.8 川内村上川内小山平*=1.8 本宮市本宮*=1.8 大熊町野上*=1.8 桑折町東大隅*=1.8 いわき市錦町*=1.8 矢吹町一本木*=1.8 二本松市油井*=1.8 二本松市針道*=1.7 南相馬市原町区三島町=1.7 白河市郭内=1.7 南相馬市原町区本町*=1.7 大玉村玉井*=1.7 白河市八幡小路*=1.7 浅川町浅川*=1.7 会津若松市東栄町*=1.6 喜多方市塩川町*=1.6 磐梯町磐梯*=1.6 棚倉町棚倉中居野=1.6 新地町谷地小屋*=1.5 いわき市三和町=1.5 福島広野町下北迫大谷地原*=1.5 富岡町本岡*=1.5 1 田村市都路町*=1.4 福島伊達市梁川町*=1.4 福島伊達市霊山町*=1.4 いわき市平四ツ波*=1.4 葛尾村落合落合*=1.4 西会津町登世島*=1.4 二本松市金色*=1.3 天栄村湯本支所*=1.3 石川町長久保*=1.3 平田村永田*=1.3 田村市常葉町*=1.3 福島広野町下北迫苗代替*=1.3 飯舘村伊丹沢*=1.3 喜多方市高郷町*=1.3 矢祭町東舘*=1.2 棚倉町棚倉舘ヶ丘*=1.2 矢祭町戸塚*=1.1 塙町塙*=1.1 会津若松市材木町=1.1 会津美里町本郷庁舎*=1.1 福島市飯野町*=1.0 南相馬市鹿島区柵柵=1.0 西会津町野沢=1.0 田村市船引町=0.9 南会津町田島=0.9 川内村下川内=0.9 小野町中通*=0.8 小野町小野新町*=0.8 古殿町松川横川=0.7 喜多方市松山町*=0.7 下郷町高降*=0.7 茨城県 3 常陸太田市金井町*=2.5 2 笠間市石井*=2.2 ひたちなか市南神敷台*=2.2 東海村東海*=2.2 小美玉市上玉里*=2.2 笠間市中央*=2.1 下妻市鬼怒*=2.1 取手市井野*=2.1 常総市新石下*=2.1 稲敷市結佐*=2.0 筑西市舟生=2.0 常総市水海道諏訪町*=2.0 つくばみらい市加藤*=2.0 日立市十王町友部*=1.9 北茨城市中郷町*=1.9 茨城町小堤*=1.9 土浦市藤沢*=1.9 石岡市石岡*=1.9 取手市藤代*=1.9 神栖市溝口*=1.9 行方市玉造*=1.9 桜川市真壁*=1.9 鉾田市鉾田=1.9 鉾田市汲上*=1.9 つくばみらい市福田*=1.9 水戸市金町=1.9 水戸市千波町*=1.9 つくば市天王台*=1.8 茨城鹿嶋市宮中*=1.8 行方市山田*=1.8 ひたちなか市東石川*=1.8 那珂市福田*=1.8 小美玉市小川*=1.8 石岡市柿岡=1.8 水戸市栗崎町*=1.8 常陸太田市高柿町*=1.8 高萩市安良川*=1.7 潮来市堀之内=1.7 阿見町中央*=1.7 河内町源清田*=1.7 笠間市笠間*=1.7 鉾田市造谷*=1.7 大子町池田*=1.7 那珂市瓜連*=1.7 石岡市若宮*=1.7 石岡市八郷*=1.7 下妻市本城町*=1.7 日立市助川小学校*=1.6 潮来市辻*=1.6 城里町石塚*=1.6 小美玉市堅倉*=1.6 高萩市本町*=1.6 土浦市常名=1.6 行方市麻生*=1.6 笠間市下郷*=1.6 北茨城市磯原町*=1.5 坂東市山*=1.5 土浦市田中*=1.5 稲敷市須賀津*=1.5 筑西市海老ヶ島*=1.5 かすみがうら市上土田*=1.5 かすみがうら市大和田*=1.5 ひたちなか市山ノ上町=1.5 龍ヶ崎市役所*=1.5 牛久市中央*=1.5 つくば市研究学園*=1.5 茨城鹿嶋市鉢形=1.5 1 常陸大宮市野口*=1.4 茨城古河市下大野*=1.4 茨城古河市仁連*=1.4 結城市結城*=1.4 取手市寺田*=1.4 つくば市小基*=1.4 美浦村受領*=1.4 五霞町小福田*=1.4 境町旭町*=1.4 坂東市岩井=1.4 稲敷市役所*=1.4 稲敷市伊佐津*=1.4 筑西市下中山*=1.4 神栖市波崎*=1.4 桜川市岩瀬*=1.3 常陸太田市町田町*=1.3 常陸大宮市北町*=1.3 常陸大宮市山方*=1.3 城里町阿波山*=1.3 八千代町菅谷*=1.3 守谷市大柏*=1.3 稲敷市江戸崎甲*=1.3 筑西市門井*=1.3 坂東市役所*=1.2 日立市役所*=1.2 大洗町磯浜町*=1.2 常陸大宮市中富町=1.2 利根町布川=1.1 城里町小勝*=1.1 常陸大宮市上小瀬*=1.0 桜川市羽田*=1.0 常陸太田市町屋町=0.8 3 那須町寺子*=2.6 2 高根沢町石末*=2.3 市貝町市塙*=2.2 那須塩原市鍋掛*=1.8 小山市神鳥谷*=1.8 芳賀町祖母井*=1.8 那須塩原市共壘社*=1.7 真岡市田町*=1.7 真岡市荒町*=1.7 那須烏山市大金*=1.7 那須塩原市あたご町*=1.6 益子町益子=1.6 栃木那珂川町小川*=1.6 下野市田中*=1.6 那須烏山市中央=1.5 大田原市黒羽田町=1.5 1 小山市中央町*=1.4 茂木町茂木*=1.4 大田原市本町*=1.3 栃木市岩舟町静*=1.3 茂木町北高岡天矢場*=1.2 下野市笹原*=1.2 那須塩原市臺沼=1.2 那須塩原市塩原庁舎*=1.2 宇都宮市明保野町=1.1 鹿沼市晃望台*=1.1 栃木さくら市喜連川*=1.1 宇都宮市中里町*=1.0 栃木那珂川町馬頭*=1.0 日光市鬼怒川温泉大原*=1.0 日光市芹沼*=1.0 日光市瀬川=0.9 那須塩原市中塩原*=0.7 栃木市旭町=0.7 日光市湯元*=0.6 日光市足尾町中才*=0.5 岩手県 2 普代村銅屋*=1.7 盛岡市藪川*=1.6 野田村野田*=1.5 1 矢巾町南矢幅*=1.4 久慈市川崎町=1.1 花巻市石鳥谷町*=0.9 宮古市田老*=0.7 盛岡市山王町=0.6 北上市柳原町=0.6 宮城県 2 岩沼市桜*=2.3 丸森町鳥屋*=2.3 登米市迫町*=2.2 大河原町新南*=2.2 石巻市大街道南*=2.1 石巻市桃生町*=2.1 松島町高城=2.1 蔵王町円田*=2.1 利府町利府*=2.0 角田市角田*=2.0 宮城美里町木間塚*=2.0 宮城川崎町前川*=1.9 大崎市古川三日町=1.9 大崎市松山*=1.9 村田町村田*=1.9 大崎市田尻*=1.8 色麻町四竈*=1.7 涌谷町新町裏=1.7 大崎市古川旭*=1.7 登米市米山町*=1.7 白石市亘理町*=1.7 仙台空港=1.7 山元町浅生原*=1.7 名取市増田*=1.7 登米市登米町*=1.6 亘理町悠里*=1.6 仙台青葉区雨宮*=1.5 仙台宮城野区五輪=1.5 仙台宮城野区苦竹*=1.5 宮城加美町中新田*=1.5 登米市南方町*=1.5 栗原市若柳*=1.5 登米市中田町=1.5 1 宮城美里町北浦*=1.4 仙台若林区遠見塚*=1.4 仙台太白区山田*=1.4 東松島市矢本*=1.4 仙台青葉区落合*=1.3 石巻市相野谷*=1.3 栗原市築館*=1.3 大衡村大衡*=1.3 大崎市鹿島台*=1.2 石巻市前谷地*=1.2 栗原市志波姫*=1.2 大和町吉岡*=1.1 大郷町粕川*=1.1 栗原市高清水*=1.1 宮城加美町小野田*=1.1 大崎市古川大崎=1.1 大崎市三本木*=1.1 仙台泉区将監*=1.0 七ヶ宿町関*=1.0 東松島市小野*=1.0 仙台青葉区大倉=1.0 栗原市一迫*=0.9 七ヶ浜町東宮浜*=0.9 塩竈市旭町*=0.9 富谷市富谷*=0.9 柴田町船岡=0.9 丸森町上滝=0.8 栗原市金成*=0.7 宮城加美町宮崎*=0.7 南三陸町志津川=0.7 石巻市泉町=0.6 山形県 2 米沢市林泉寺*=1.9 白鷹町荒砥*=1.6 中山町長崎*=1.6 米沢市アルカディア=1.6 高畠町高畠*=1.6 上山市河崎*=1.5				

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		埼玉県 1 南陽市三間通＊=1.4 天童市老野森＊=1.3 山辺町緑ヶ丘＊=1.3 米沢市駅前=1.2 米沢市金池＊=1.2 山形川西町上小松＊=1.2 村山市中央＊=1.0 東根市中央＊=1.0 河北町役場＊=0.9 西川町大井沢＊=0.9 大石田町緑町＊=0.8 長井市ままの上＊=0.8 河北町谷地=0.8 最上町向町＊=0.7 尾花沢市若葉町＊=0.6 鶴岡市温海川=0.5 2 宮代町笠原＊=2.0 幸手市東＊=1.8 加須市大利根＊=1.7 春日部市谷原新田＊=1.7 加須市三俣＊=1.6 久喜市青葉＊=1.6 春日部市金崎＊=1.6 久喜市栗橋＊=1.5 戸田市上戸田＊=1.5 八潮市中央＊=1.5 千葉県 1 春日部市粕壁＊=1.4 さいたま中央区下落合＊=1.4 加須市北川辺＊=1.3 鴻巣市吹上富士見＊=1.3 久喜市鷺宮＊=1.3 三郷市中央＊=1.3 吉川市きよみ野＊=1.3 鴻巣市中央＊=1.2 久喜市下早見=1.2 埼玉美里町木部＊=1.2 川口市青木＊=1.2 川口市三ツ和＊=1.2 川島町下八ツ林＊=1.2 松伏町松伏＊=1.2 さいたま大宮区天沼町＊=1.2 白岡市千駄野＊=1.2 久喜市菖蒲＊=1.1 草加市中央＊=1.1 蕨市中央＊=1.1 富士見市鶴馬＊=1.1 さいたま見沼区堀崎＊=1.1 さいたま緑区中尾＊=1.1 熊谷市大里＊=1.1 本庄市児玉町=1.1 さいたま南区別所＊=1.0 行田市本丸＊=1.0 行田市南河原＊=1.0 羽生市東＊=1.0 鴻巣市川里＊=1.0 吉見町下細谷＊=1.0 和光市広沢＊=0.9 加須市騎西＊=0.9 毛呂山町中央＊=0.9 さいたま北区宮原＊=0.9 さいたま大宮区大門＊=0.8 さいたま桜区道場＊=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 深谷市川本＊=0.8 越谷市越ヶ谷＊=0.8 熊谷市妻沼＊=0.8 さいたま西区指扇＊=0.8 深谷市岡部＊=0.7 熊谷市桜町=0.7 熊谷市宮町＊=0.7 蓮田市黒浜＊=0.7 上尾市本町＊=0.6 東松山市松葉町＊=0.6 2 香取市役所＊=2.0 旭市南堀之内＊=1.8 香取市佐原平田=1.7 香取市仁良＊=1.7 野田市鶴奉＊=1.7 旭市萩園＊=1.6 印西市笠神＊=1.6 匝瑳市八日市場＊=1.5 香取市羽根川＊=1.5 松戸市西馬橋＊=1.5 印西市大森＊=1.5 東京都 1 銚子市川口町=1.4 銚子市小畑新町=1.4 銚子市若宮町＊=1.4 東金市日吉台＊=1.4 旭市高生＊=1.4 旭市ニ＊=1.4 多古町多古=1.4 匝瑳市今泉＊=1.4 香取市佐原諏訪台＊=1.4 横芝光町宮川＊=1.4 千葉美浜区ひび野=1.4 野田市東宝珠花＊=1.4 横芝光町栗山＊=1.3 山武市蓮沼ニ＊=1.3 山武市松尾町五反田＊=1.3 成田国際空港=1.3 柏市旭町=1.3 柏市柏＊=1.3 浦安市日の出=1.3 白井市復＊=1.3 神崎町神崎本宿＊=1.2 東庄町笹川＊=1.2 山武市松尾町富士見台=1.2 山武市蓮沼ハ＊=1.2 成田市名古屋=1.2 成田市役所＊=1.2 成田市松子＊=1.2 千葉佐倉市海隣寺町＊=1.2 流山市平和台＊=1.2 八千代市大和田新田＊=1.2 芝山町小池＊=1.1 香取市岩部＊=1.1 山武市埴谷＊=1.1 山武市殿台＊=1.1 千葉中央区中央港=1.1 栄町安食台＊=1.1 千葉花見川区花島町＊=1.0 東金市東新宿=1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.0 東金市東岩崎＊=1.0 八街市八街＊=0.9 千葉若葉区小倉台＊=0.9 習志野市鷺沼＊=0.9 長南町総合グラウンド=0.7 千葉緑区おゆみ野＊=0.7 君津市久留里市場＊=0.6 一宮町一宮=0.5 2 東京足立区神明南＊=1.5 1 東京板橋区高島平＊=1.4 東京江東区越中島＊=1.3 東京荒川区荒川＊=1.3 東京荒川区東尾久＊=1.3 東京足立区伊興＊=1.2 東京墨田区東向島＊=1.1 東京江東区東陽＊=1.1 東京江東区森下＊=1.1 東京江東区亀戸＊=1.1 東京江東区枝川＊=1.1 東京足立区千住中居町＊=1.1 東京葛飾区金町＊=1.1 東京江戸川区船堀＊=1.1 東京板橋区相生町＊=1.0 東京江戸川区中央=1.0 東京千代田区大手町=0.9 東京中央区勝どき＊=0.9 東京江東区青海=0.9 東京北区神谷＊=0.9 東京板橋区板橋＊=0.9 東京足立区中央本町＊=0.9 東京葛飾区立石＊=0.9 東京品川区北品川＊=0.8 東京大田区本羽田＊=0.8 東京江戸川区鹿骨＊=0.8 東京台東区千束＊=0.8 東京品川区平塚＊=0.7 東京世田谷区成城＊=0.7 東京北区西ヶ原＊=0.7 東京中央区日本橋兜町＊=0.7 東京港区南青山＊=0.7 東京大田区大森東＊=0.6 東京中野区江古田＊=0.6 東京杉並区高井戸＊=0.6 調布市西つつじヶ丘＊=0.6 国分寺市戸倉=0.5 新潟県 2 南魚沼市六日町=1.5 1 刈羽村割町新田＊=1.3 阿賀野市岡山町＊=1.0 加茂市幸町＊=0.9 阿賀野市山崎＊=0.9 長岡市山古志竹沢＊=0.8 長岡市小島谷＊=0.7 阿賀野市姥ヶ橋＊=0.7 阿賀町鹿瀬支所＊=0.6 青森県 1 階上町道仏＊=1.4 八戸市南郷＊=1.1 六戸町大落瀬＊=1.0 おいらせ町中下田＊=0.9 東北町上北南＊=0.8 五戸町古館=0.8 おいらせ町上明堂＊=0.7 七戸町森ノ上＊=0.7 秋田県 1 羽後町西馬音内＊=0.8 大仙市高梨＊=0.7 群馬県 1 沼田市白沢町＊=1.4 渋川市赤城町＊=1.4 邑楽町中野＊=1.4 群馬明和町新里＊=1.3 沼田市西倉内町=1.1 前橋市粕川町＊=1.1 桐生市元宿町＊=1.1 千代田町赤岩＊=1.1 板倉町板倉=1.0 沼田市下久屋町＊=1.0 片品村東小川=1.0 伊勢崎市今泉町＊=1.0 太田市浜町＊=1.0 館林市城町＊=1.0 みどり市大間々町＊=0.9 伊勢崎市西久保町＊=0.9 太田市粕川町＊=0.9 伊勢崎市境＊=0.8 太田市新田金井町＊=0.8 渋川市伊香保町＊=0.8 前橋市駒形町＊=0.8 前橋市富士見町＊=0.8 前橋市鼻毛石町＊=0.8 高崎市高松町＊=0.8 桐生市織姫町＊=0.8 桐生市黒保根町＊=0.8 桐生市新里町＊=0.8 渋川市吹屋＊=0.7 安中市安中＊=0.7 吉岡町下野田＊=0.7 前橋市堀越町＊=0.7 太田市大原町＊=0.7 みどり市笠懸町＊=0.6 沼田市利根町＊=0.6 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.9 川崎市崎区中島＊=0.7 川崎宮前区野川＊=0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.5 湯河原町中央=0.5 長野県 1 長野南牧村海ノ口＊=1.4 諏訪市高島＊=1.0 茅野市葛井公園＊=0.9 佐久市中込＊=0.9 諏訪市湖岸通り=0.8 静岡県 1 御殿場市萩原=0.6				
19	6 12 06	新潟県中越地方 福島県 2 双葉町両竹＊=1.8 大熊町大川原＊=1.7 檜葉町北田＊=1.7 浪江町幾世橋=1.6 福島広野町下北迫大谷地原＊=1.5 1 郡山市湖南町＊=1.4 いわき市三和町=1.4 富岡町本岡＊=1.4 福島広野町下北迫苗代替＊=1.3 いわき市小名浜=1.3 いわき市平梅本＊=1.2 田村市都路町＊=1.2 いわき市平四ツ波＊=0.9 いわき市錦町＊=0.9 相馬市中村＊=0.9 川内村上川内早渡＊=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 大熊町野上＊=0.8 矢祭町東館＊=0.8 田村市常葉町＊=0.8 玉川村小高＊=0.7 川内村下川内=0.7 田村市船引町=0.7 田村市大越町＊=0.7 南相馬市原町区三島町=0.7 南相馬市原町区高見町＊=0.7 葛尾村落合落合＊=0.6 小野町小野新町＊=0.6 須賀川市八幡山＊=0.6 浅川町浅川＊=0.6 小野町中通＊=0.6 新潟県 2 新潟南区白根＊=1.5 1 長岡市小島谷＊=1.3 刈羽村割町新田＊=1.1 加茂市幸町＊=1.0 長岡市山古志竹沢＊=0.9	37° 20.6' N	138° 49.1' E	186km	M: 5.1

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
20	7 00 34	山梨県	出雲崎町米田=0.9 南魚沼市六日町=0.9 長岡市浦*=0.7 十日町市松之山*=0.7 2 富士川町鯉沢*=1.6 1 中央市成島*=1.4 甲府市下曽根町*=1.3 昭和町押越*=1.3 富士河口湖町長浜*=1.3 甲府市相生*=1.1 甲府市飯田=0.7 甲州市塩山上於曽*=0.7 大月市御太刀*=0.7 大月市大月=0.5			
		青森県	1 階上町道仏*=0.7			
		岩手県	1 釜石市中妻町*=1.2 住田町世田米*=1.1 一関市室根町*=1.0 宮古市田老*=0.9 山田町大沢*=0.9 盛岡市薮川*=0.9 一関市千厩町*=0.9 大船渡市大船渡町=0.9 一関市藤沢町*=0.6 陸前高田市高田町*=0.6 山田町八幡町=0.5 宮古市五月町*=0.5 一関市東山町*=0.5 宮古市鯉ヶ崎=0.5			
		宮城県	1 気仙沼市赤岩=1.0 丸森町鳥屋*=1.0 石巻市桃生町*=1.0 気仙沼市唐桑町*=0.9 角田市角田*=0.9 山元町浅生原*=0.8 岩沼市桜*=0.8 南三陸町志津川=0.8 登米市迫町*=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.7 石巻市大街道南*=0.6 大河原町新南*=0.6 登米市中田町=0.5			
		茨城県	1 高萩市安良川*=1.1 日立市助川小学校*=1.1 笠間市石井*=0.7 水戸市千波町*=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.6 ひたちなか市東石川*=0.5 常陸太田市町屋町=0.5			
		群馬県	1 沼田市白沢町*=0.6 群馬明和町新里*=0.6			
		埼玉県	1 宮代町笠原*=1.4 さいたま西区指扇*=1.0 加須市大利根*=0.9 川島町下八ツ林*=0.9 さいたま大宮区天沼町*=0.9 行田市本丸*=0.8 加須市騎西*=0.8 さいたま大宮区大門*=0.8 さいたま中央区下落合*=0.8 白岡市千駄野*=0.8 熊谷市大里*=0.7 桶川市泉*=0.6 春日部市粕壁*=0.5 久喜市下早見=0.5			
		東京都	1 東京江東区越中島*=0.9 東京江東区枝川*=0.7 東京千代田区大手町=0.7 東京江東区森下*=0.7 東京大田区多摩川*=0.6 東京世田谷区成城*=0.6 日野市神明*=0.6			
		神奈川県	1 川崎宮前区野川*=0.9			
		長野県	1 長野南牧村海ノ口*=1.2			
		静岡県	1 伊豆の国市長岡*=0.6 富士市吉永*=0.6			
		三重県南東沖	33° 45.5' N 136° 50.5' E 389km M: 5.3			
		宮城県	2 岩沼市桜*=1.5 1 松島町高城=0.8 気仙沼市赤岩=0.8 亘理町悠里*=0.8 東松島市矢本*=0.7 登米市中田町=0.6 丸森町鳥屋*=0.6 石巻市桃生町*=0.6 石巻市大街道南*=0.5 南三陸町志津川=0.5 大崎市田尻*=0.5 気仙沼市笹が陣*=0.5			
		福島県	2 浪江町幾世橋=1.9 大熊町大川原*=1.8 双葉町両竹*=1.8 田村市大越町*=1.7 檜葉町北田*=1.5 棚倉町棚倉中居野=1.5 1 白河市東*=1.4 白河市表郷*=1.4 玉川村小高*=1.4 福島広野町下北迫大谷地原*=1.4 いわき市三和町=1.3 田村市都路町*=1.3 川内村上川内早渡*=1.3 南相馬市小高区*=1.3 田村市滝根町*=1.3 葛尾村落合落合*=1.2 いわき市錦町*=1.2 南相馬市原町区高見町*=1.1 浅川町浅川*=1.1 田村市常葉町*=1.1 相馬市中村*=1.1 いわき市小名浜=1.0 南相馬市鹿島区西町*=1.0 田村市船引町=1.0 福島広野町下北迫苗代替*=1.0 富岡町本岡*=1.0 二本松市針道*=1.0 大熊町野上*=1.0 いわき市平梅本*=1.0 飯館村伊丹沢*=1.0 矢祭町東館*=0.9 石川町長久保*=0.9 いわき市平四ツ波*=0.9 須賀川市八幡山*=0.9 川内村下川内=0.9 白河市新白河*=0.9 福島伊達市霊山町*=0.8 古殿町松川新桑原*=0.8 小野町中通*=0.8 小野町小野新町*=0.8 新地町谷地小屋*=0.8 南相馬市原町区三島町=0.8 川俣町五百田*=0.8 川内村上川内小山平*=0.7 二本松市油井*=0.7 矢祭町戸塚*=0.6 天栄村下松本*=0.5 郡山市湖南町*=0.5			
		茨城県	2 笠間市石井*=1.6 日立市助川小学校*=1.6 日立市十王町友部*=1.5 笠間市中央*=1.5 1 笠間市笠間*=1.3 茨城町小堤*=1.3 城里町小勝*=1.3 石岡市柿岡=1.3 桜川市岩瀬*=1.3 高萩市安良川*=1.2 小美玉市堅倉*=1.2 茨城古河市下大野*=1.2 北茨城市巾着町*=1.2 筑西市舟生=1.2 筑西市門井*=1.2 東海村東海*=1.2 常陸大宮市野口*=1.2 石岡市若宮*=1.1 石岡市石岡*=1.1 坂東市馬立*=1.1 常陸太田市町屋町=1.1 大子町池田*=1.1 常陸大宮市山方*=1.1 桜川市羽田*=1.1 小美玉市小川*=1.1 笠間市下郷*=1.1 土浦市常名=1.1 坂東市岩井=1.0 常陸大宮市北町*=1.0 日立市役所*=1.0 桜川市真壁*=1.0 城里町石塚*=1.0 城里町阿波山*=1.0 小美玉市上玉里*=1.0 土浦市藤沢*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=1.0 石岡市八郷*=1.0 北茨城市磯原町*=0.9 那珂市福田*=0.9 かすみがうら市上土田*=0.8 水戸市千波町*=0.8 水戸市栗崎町*=0.8 結城市結城*=0.8 取手市寺田*=0.8 つくば市天万台*=0.7 ひたちなか市東石川*=0.7 水戸市金町=0.7 常陸大宮市中富町=0.7 鉾田市鉾田=0.6 稲敷市江戸崎甲*=0.6			
		栃木県	2 宇都宮市明保野町=2.1 下野市笹原*=1.6 益子町益子=1.5 高根沢町石末*=1.5 1 下野市田中*=1.4 栃木市岩舟町静*=1.3 鹿沼市晃望台*=1.2 栃木市大平町富田*=1.1 佐野市高砂町*=1.1 鹿沼市口栗野*=1.1 壬生町通町*=1.1 野木町丸林*=1.1 栃木市旭町=1.0 栃木市藤岡町藤岡*=1.0 佐野市田沼町*=1.0 小山市神鳥谷*=1.0 上三川町しらさぎ*=1.0 那須烏山市中央=1.0 宇都宮市中里町*=0.9 足利市大正町*=0.9 芳賀町祖母井*=0.9 栃木市西方町本城*=0.9 佐野市中町*=0.9 佐野市葛生東*=0.9 真岡市田町*=0.8 茂木町茂木*=0.8 栃木那珂川町小川*=0.8 栃木市万町*=0.8 日光市芹沼*=0.7 日光市足尾町中才*=0.6 宇都宮市塙田*=0.5			
		岩手県	1 一関市室根町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 住田町世田米*=0.6 釜石市中妻町*=0.5			
		群馬県	1 板倉町板倉=1.2 邑楽町中野*=0.9 桐生市黒保根町*=0.8 渋川市赤城町*=0.7 群馬明和町新里*=0.7 片品村東小川=0.6 大泉町日の出*=0.6 渋川市吹屋*=0.5 桐生市元宿町*=0.5			
		埼玉県	1 加須市大利根*=1.1 宮代町笠原*=0.9 加須市北川辺*=0.8 久喜市下早見=0.8 川島町下八ツ林*=0.8 春日部市粕壁*=0.7 桶川市泉*=0.7 吉川市きよみ野*=0.7 さいたま北区宮原*=0.7 加須市騎西*=0.7 春日部市谷原新田*=0.6 富士見市鶴馬*=0.6 幸手市東*=0.6 熊谷市大里*=0.6 鴻巣市吹上富士見*=0.6 川口市青木*=0.6 春日部市金崎*=0.6 さいたま大宮区天沼町*=0.5 さいたま緑区中尾*=0.5 久喜市青葉*=0.5 狭山市入間川*=0.5 上尾市本町*=0.5 越谷市越ヶ谷*=0.5 行田市本丸*=0.5 行田市南河原*=0.5			
		千葉県	1 野田市鶴奉*=0.9 木更津市富士見*=0.9 浦安市日の出=0.8 千葉花見川区花島町*=0.7			

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		君津市久留里市場※=0.7 東金市日吉台※=0.5 長南町総合グラウンド=0.5 山武市蓮沼ニ※=0.5 千葉県中央区中央港=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=1.3 東京中野区中野※=0.8 東京北区西ヶ原※=0.8 西東京市中町※=0.8 東京港区白金※=0.7 東京品川区平塚※=0.6 東京国際空港=0.6 調布市西つつじヶ丘※=0.6 東京都中央区勝どき※=0.5 東京渋谷区宇田川町※=0.5 東京練馬区東大泉※=0.5 東京江戸川区船堀※=0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.8				
21	7 01 41	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村辺土名※=0.6	26° 40.0' N	127° 46.6' E	46km	M: 3.2
22	7 09 52	和歌山県南部 和歌山県 1 白浜町日置※=1.1 田辺市中辺路町栗栖川※=0.5	33° 40.3' N	135° 33.0' E	25km	M: 3.1
23	7 11 14	秋田県内陸南部 秋田県 1 大仙市神宮寺※=1.3	39° 29.1' N	140° 25.2' E	10km	M: 2.4
24	7 22 39	胆振地方中東部 北海道 2 厚真町鹿沼=1.9 千歳市若草※=1.5 1 安平町追分柏が丘※=1.4 安平町早来北進※=1.3 むかわ町穂別※=1.1 千歳市支笏湖温泉※=1.0 厚真町京町※=0.9 千歳市北栄=0.9 白老町緑丘※=0.7 登別市桜木町※=0.5 恵庭市京町※=0.5	42° 47.5' N	141° 58.5' E	35km	M: 3.3
25	8 17 36	茨城県沖 茨城県 2 笠間市石井※=1.7 城里町石塚※=1.7 日立市助川小学校※=1.5 高萩市安良川※=1.5 1 東海村東海※=1.2 笠間市笠間※=1.1 ひたちなか市南神敷台※=1.1 高萩市本町※=1.1 那珂市瓜連※=1.1 日立市十王町友部※=1.0 水戸市千波町※=1.0 常陸大宮市上小瀬※=1.0 水戸市栗崎町※=1.0 水戸市金町=0.9 城里町小勝※=0.9 常陸大宮市北町※=0.8 常陸太田市高柿町※=0.8 那珂市福田※=0.8 北茨城市磯原町※=0.8 笠間市中央※=0.8 常陸太田市町屋町=0.7 北茨城市中郷町※=0.7 桜川市岩瀬※=0.7 日立市役所※=0.6 常陸大宮市野口※=0.6 土浦市常名=0.6 ひたちなか市東石川※=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 筑西市門井※=0.5 桜川市羽田※=0.5 常陸大宮市山方※=0.5 福島県 1 田村市船引町=0.7 白河市新白河※=0.5 栃木県 1 茂木町茂木※=0.6	36° 31.7' N	141° 06.8' E	45km	M: 4.0
26	8 20 54	奄美大島近海 鹿児島県 2 喜界町滝川=1.7 1 瀬戸内町西古見=1.4 宇検村湯湾※=1.2 瀬戸内町諸島※=1.1 瀬戸内町与路島※=1.0 奄美市笠利町里※=1.0 奄美市住用町西仲間※=1.0 瀬戸内町加計呂麻島※=0.9 奄美市名瀬港町=0.9 喜界町湾※=0.8 大和村思勝※=0.8 奄美市名瀬幸町※=0.8 瀬戸内町古仁屋※=0.7 伊仙町伊仙※=0.5	28° 36.9' N	129° 37.6' E	47km	M: 4.2
27	8 23 13	浦河沖 北海道 1 様似町栄町※=0.5	41° 36.0' N	142° 45.7' E	37km	M: 3.8
28	9 14 30	福島県沖 福島県 2 浪江町幾世橋=2.0 檜葉町北田※=1.7 田村市都路町※=1.6 1 双葉町両竹※=1.4 川内村下川内=1.3 大熊町大川原※=1.3 富岡町本岡※=1.3 いわき市三和町=1.2 福島広野町下北迫大谷地原※=1.1 相馬市中村※=0.9 新地町谷地小屋※=0.8 いわき市平四ツ波※=0.7 田村市常葉町※=0.7 南相馬市原町区高見町※=0.7 南相馬市原町区三島町=0.6 大熊町野上※=0.5 浅川町浅川※=0.5 福島広野町下北迫苗代替※=0.5 宮城県 1 岩沼市桜※=0.9 角田市角田※=0.6	37° 29.8' N	141° 29.2' E	47km	M: 4.0
29	9 14 46	京都府南部 大阪府 2 高槻市消防本部※=1.5 1 高槻市桃園町=1.2 島本町若山台※=1.2 高槻市立第2中学校※=1.0 豊能町余野※=1.0 枚方市大垣内※=0.7 京都府 1 京都西京区慥原※=1.3 亀岡市安町=1.3 大山崎町円明寺※=1.2 亀岡市余部町※=1.1 八幡市八幡※=1.0 向日市寺戸町※=1.0 京都下京区河原町塩小路※=0.7 長岡京市開田※=0.7 久御山町田井※=0.6 京都中京区西ノ京=0.5 宇治市宇治琵琶=0.5	34° 56.2' N	135° 34.5' E	8km	M: 2.9
30	9 16 04	沖縄本島近海 沖縄県 1 座間味村座間味※=1.3 渡嘉敷村渡嘉敷※=1.0 渡名喜村渡名喜※=0.9 久米島町謝名堂=0.8 久米島町山城=0.6 久米島町比嘉※=0.6	26° 11.6' N	127° 00.1' E	58km	M: 3.8
31	9 17 54	宮城県沖 岩手県 1 大船渡市大船渡町=0.9 宮城県 1 気仙沼市笹が陣※=0.8	38° 49.2' N	142° 10.7' E	45km	M: 3.6
32	9 21 54	千葉県北西部 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺※=1.9 横浜神奈川区広台太田町※=1.7 横浜中区山手町=1.6 横浜中区山下町※=1.6 横浜旭区川井宿町※=1.6 横浜港南区丸山台東部※=1.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.5 横浜青葉区市ヶ尾町※=1.5 1 横浜戸塚区鳥が丘※=1.4 横浜旭区今宿東町※=1.4 横浜緑区十日市場町※=1.4 横浜緑区鴨居※=1.4 横浜瀬谷区中屋敷※=1.4 横浜金沢区釜利谷南※=1.3 横浜鶴見区末広町※=1.3 横浜磯子区磯子※=1.3 横浜磯子区洋光台※=1.3 横浜瀬谷区三ツ境※=1.3 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.3 横浜鶴見区馬場※=1.2	35° 39.4' N	140° 08.9' E	63km	M: 4.0

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		横浜中区山吹町※=1.2 横浜泉区和泉町※=1.2 横須賀市光の丘=1.2 藤沢市辻堂東海岸※=1.2 大和市下鶴間※=1.2 横浜金沢区白帆※=1.1 横浜港北区日吉本町※=1.1 横浜戸塚区平戸町※=1.1 横浜旭区上白根町※=1.1 川崎川崎区千鳥町※=1.1 三浦市城山町※=1.1 箱根町湯本※=1.1 横浜青葉区榎が丘※=1.0 横浜旭区大池町※=1.0 藤沢市長後※=1.0 愛川町角田※=1.0 相模原南区磯部※=1.0 相模原緑区橋本※=1.0 横浜栄区桂台南※=1.0 横浜栄区小菅ヶ谷※=1.0 川崎麻生区片平※=0.9 平塚市浅間町※=0.9 綾瀬市深谷※=0.9 清川村煤ヶ谷※=0.9 相模原南区相模大野※=0.9 相模原緑区中野※=0.9 横浜鶴見区鶴見※=0.9 逗子市桜山※=0.8 湯河原町中央=0.8 相模原中央区水郷田名※=0.8 横浜戸塚区戸塚町※=0.8 川崎川崎区中島※=0.8 川崎宮前区宮前平※=0.8 川崎宮前区野川※=0.8 横須賀市坂本町※=0.8 横浜保土ヶ谷区神戸町※=0.7 川崎幸区戸手本町※=0.6 藤沢市朝日町※=0.5 茨城県 1 坂東市岩井=0.9 取手市寺田※=0.7 埼玉県 1 さいたま緑区中尾※=0.8 川口市青木※=0.8 草加市中央※=0.8 三郷市中央※=0.8 川口市三ツ和※=0.6 宮代町笠原※=0.6 さいたま大宮区大門※=0.6 春日部市粕壁※=0.5 千葉県 1 千葉中央区中央港=1.4 千葉花見川区花島町※=1.4 君津市久留里市場※=1.4 長南町長南※=1.2 木更津市富士見※=1.2 長南町総合グラウンド=1.2 千葉中央区千葉市役所※=1.2 千葉美浜区稲毛海岸※=1.1 船橋市湊町※=1.1 四街道市鹿渡※=1.1 白井市復※=1.1 東金市日吉台※=1.1 千葉美浜区ひび野=1.1 富津市下飯野※=1.1 千葉稲毛区園生町※=1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=1.0 千葉緑区おゆみ野※=1.0 市川市南八幡※=1.0 木更津市太田=0.9 浦安市日の出=0.9 八千代市大和田新田※=0.9 千葉若葉区小倉台※=0.8 習志野市鷺沼※=0.8 野田市鶴奉※=0.7 東金市東新宿=0.7 東京都 1 調布市西つつじヶ丘※=1.4 東京杉並区桃井※=1.3 東京世田谷区三軒茶屋※=1.3 小平市小川町※=1.2 東京渋谷区本町※=1.2 東京大田区多摩川※=1.1 東京杉並区高井戸※=1.1 東京北区西ヶ原※=1.1 東京中央区勝どき※=1.1 東京国際空港=1.1 東京大田区本羽田※=1.1 東京江東区越中島※=1.0 東京品川区平塚※=1.0 東京千代田区大手町=1.0 東京北区神谷※=0.9 東京板橋区相生町※=0.9 東京葛飾区立石※=0.9 東京葛飾区金町※=0.9 東京江戸川区鹿骨※=0.9 東京江戸川区船堀※=0.9 八王子市堀之内※=0.9 東京新宿区上落合※=0.9 国分寺市戸倉=0.9 東京世田谷区成城※=0.9 東京目黒区中央町※=0.9 東京足立区神明南※=0.8 東京足立区伊興※=0.8 東京墨田区東向島※=0.8 東京世田谷区中町※=0.8 町田市忠生※=0.8 東京世田谷区世田谷※=0.8 東京新宿区百人町※=0.7 東京荒川区東尾久※=0.7 東京文京区スポーツセンタ※=0.7 東京台東区千束※=0.7 町田市森野※=0.7 東京足立区千住中居町※=0.7 東京中野区中野※=0.7 東京江戸川区中央=0.7 西東京市中町※=0.6 東京渋谷区宇田川町※=0.6 東京港区白金※=0.5 東京文京区大塚※=0.5 東京港区海岸=0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=1.2 富士宮市野中※=1.1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.0 熱海市網代=0.9 沼津市戸田※=0.7 33 10 09 01 熊本県熊本地方 32° 46.1' N 130° 43.3' E 10km M: 2.4 熊本県 1 熊本中央区大江※=0.6 熊本西区春日=0.6 34 10 09 24 千葉県南部 35° 17.2' N 140° 07.5' E 65km M: 4.1 千葉県 2 南房総市白浜町白浜※=1.8 南房総市岩糸※=1.8 長南町長南※=1.7 千葉緑区おゆみ野※=1.5 館山市長須賀=1.5 館山市北条※=1.5 1 長南町総合グラウンド=1.4 千葉中央区中央港=1.4 木更津市富士見※=1.4 君津市久留里市場※=1.4 市原市姉崎※=1.3 南房総市谷向※=1.3 勝浦市新宮※=1.2 南房総市富浦町青木※=1.2 千葉花見川区花島町※=1.1 千葉中央区千葉市役所※=1.1 鴨川市横渚※=1.1 鋸南町下佐久間※=1.0 勝浦市墨名=1.0 千葉美浜区ひび野=1.0 富津市下飯野※=0.9 船橋市湊町※=0.9 一宮町一宮=0.9 鴨川市八色=0.9 南房総市千倉町瀬戸※=0.9 市原市国分寺台中央※=0.9 大網白里市大網※=0.9 浦安市日の出=0.8 千葉若葉区小倉台※=0.8 習志野市鷺沼※=0.8 千葉稲毛区園生町※=0.7 南房総市上堀=0.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=0.7 八千代市大和田新田※=0.6 柏市旭町=0.6 東金市日吉台※=0.6 四街道市鹿渡※=0.6 千葉美浜区稲毛海岸※=0.6 白井市復※=0.5 東金市東新宿=0.5 東京都 2 東京千代田区大手町=1.6 1 東京世田谷区三軒茶屋※=1.0 東京北区西ヶ原※=1.0 調布市西つつじヶ丘※=0.9 八王子市堀之内※=0.8 東京中央区勝どき※=0.8 東京港区海岸=0.7 東京国際空港=0.7 小金井市本町※=0.6 東京世田谷区成城※=0.5 東京江戸川区船堀※=0.5 東京文京区本郷※=0.5 東京品川区平塚※=0.5 神奈川県 2 横浜港南区丸山台東部※=1.5 横須賀市光の丘=1.5 三浦市城山町※=1.5 1 横浜金沢区寺前※=1.3 横浜中区山手町=1.2 横浜磯子区磯子※=1.2 横浜金沢区白帆※=1.2 横浜神奈川区神大寺※=1.1 川崎宮前区宮前平※=1.0 横浜神奈川区広台太田町※=0.9 横浜磯子区洋光台※=0.9 横浜金沢区釜利谷南※=0.9 横浜栄区小菅ヶ谷※=0.9 横浜緑区十日市場町※=0.8 横須賀市坂本町※=0.8 秦野市曾屋=0.8 横浜旭区今宿東町※=0.6 川崎中原区小杉陣屋町=0.6 川崎宮前区野川※=0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.6 横浜旭区大池町※=0.5 埼玉県 1 鴻巣市川里※=0.5 さいたま北区宮原※=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=1.0 35 10 17 17 愛知県西部 35° 12.8' N 137° 14.9' E 44km M: 3.3 長野県 2 売木村役場※=1.5 岐阜県 1 根羽村役場※=1.2 長野高森町下市田※=0.6 下條村陸沢※=0.6 平谷村役場※=0.6 1 川辺町中川辺※=1.2 恵那市上矢作町※=1.1 八百津町八百津※=0.7 恵那市山岡町※=0.5 中津川市福岡※=0.5 愛知県 1 名古屋守山区下志段味※=1.4 豊田市大洞町=0.9 豊田市小坂町※=0.9 豊田市坂上町※=0.9 豊田市百々町※=0.9 豊田市足助町※=0.7 豊田市長興寺※=0.7 豊田市小坂本町=0.6 名古屋瑞穂区塩入町※=0.6 名古屋南区鳴尾※=0.6 名古屋守山区西新※=0.6 瀬戸市苗場町※=0.5 豊田市大沼町※=0.5 豊田市小渡町※=0.5 名古屋東区筒井※=0.5 豊田市保見町※=0.5				

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
36	10 19 19	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町※=0.9	42° 07.5' N	142° 36.2' E	60km	M: 3.4
37	11 16 20	十勝地方南部 北海道 2 浦幌町桜町※=1.6 本別町向陽町※=1.5 1 本別町北2丁目=1.4 十勝池田町西1条※=1.3 上土幌町上土幌※=1.2 足寄町南1条※=1.1 豊頃町茂岩本町※=0.9 帯広市東6条※=0.9 幕別町本町※=0.8 新ひだか町静内山手町=0.8 新ひだか町三石旭町※=0.8 浦河町築地※=0.8 十勝大樹町生花※=0.8 帯広市東4条=0.7 鹿追町東町※=0.7 幕別町忠類錦町※=0.7 浦河町潮見=0.7 千歳市支笏湖温泉※=0.6 えりも町目黒※=0.5 浦河町野深=0.5 安平町早来北進※=0.5 むかわ町穂別※=0.5 広尾町白樺通=0.5	42° 28.5' N	142° 56.7' E	88km	M: 3.9
38	11 17 41	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 芦北町芦北=2.4 水俣市陣内※=1.5 1 芦北町田浦町※=1.3 津奈木町小津奈木※=1.3 球磨村渡※=1.1 水俣市牧ノ内※=1.0 八代市平山新町=0.9	32° 19.8' N	130° 29.6' E	6km	M: 3.1
39	11 20 29	徳島県北部 徳島県 1 那賀町和食※=1.0 美馬市木屋平※=0.6 那賀町延野※=0.6	34° 02.5' N	134° 27.5' E	41km	M: 3.2
40	12 03 28	和歌山県北部 和歌山県 2 湯浅町青木※=2.1 有田川町下津野※=1.7 1 有田川町中井原※=1.4 和歌山広川町広※=1.0	34° 02.4' N	135° 16.6' E	5km	M: 2.9
41	12 08 07	与那国島近海 沖縄県 1 与那国町久部良=1.0 与那国町役場※=0.9	24° 11.1' N	122° 46.4' E	18km	M: 4.6
42	12 19 02	根室地方中部 北海道 2 根室市厚床※=1.5 1 標茶町塘路※=0.9 別海町常盤=0.7	43° 33.8' N	145° 11.5' E	135km	M: 3.8
43	13 07 40	茨城県沖 茨城県 2 東海村東海※=2.2 城里町小勝※=1.6 1 水戸市金町=1.4 日立市助川小学校※=1.4 水戸市千波町※=1.3 水戸市栗崎町※=1.2 笠間市石井※=1.2 ひたちなか市東石川※=1.0 常陸大宮市北町※=1.0 常陸大宮市上小瀬※=1.0 ひたちなか市南神敷台※=0.9 日立市役所※=0.9 小美玉市堅倉※=0.8 石岡市若宮※=0.8 土浦市常名=0.7 笠間市下郷※=0.6 大子町池田※=0.6 石岡市柿岡=0.6 小美玉市小川※=0.6 小美玉市上玉里※=0.5 常陸太田市町屋町=0.5 笠間市笠間※=0.5 常陸大宮市山方※=0.5 桜川市羽田※=0.5	36° 25.7' N	140° 39.4' E	53km	M: 3.6
44	13 08 31	青森県東方沖 北海道 青森県 1 函館市泊町※=1.1 1 野辺地町野辺地※=1.1 七戸町森ノ上※=1.0 東通村砂子又沢内※=1.0 むつ市大畑町中島※=0.7 八戸市南郷※=0.7 東北町上北南※=0.6	41° 18.5' N	142° 39.9' E	35km	M: 4.3
45	13 10 49	長野県南部 長野県 1 木曽町新開※=0.5	35° 54.0' N	137° 38.6' E	6km	M: 1.8
46	13 11 35	千葉県東方沖 千葉県 2 東金市日吉台※=2.1 一宮町一宮=2.1 九十九里町片貝※=2.0 長南町総合グラウンド=2.0 長生村本郷※=1.9 芝山町小池※=1.9 長南町長南※=1.9 大網白里市大網※=1.9 いすみ市大原※=1.8 いすみ市国府台※=1.8 市原市姉崎※=1.8 白子町関※=1.7 山武市蓮沼ニ※=1.7 勝浦市墨名=1.7 山武市殿台※=1.6 睦沢町下之郷※=1.6 千葉緑区おゆみ野※=1.6 山武市埴谷※=1.6 山武市松尾町富士見台=1.5 千葉中央区中央港=1.5 千葉若葉区小倉台※=1.5 1 茂原市道表※=1.4 東金市東新宿=1.4 横芝光町栗山※=1.4 勝浦市新官※=1.4 山武市蓮沼ハ※=1.3 いすみ市岬町長者※=1.3 山武市松尾町五反田※=1.2 大多喜町大多喜※=1.2 木更津市富士見※=1.2 多古町多古=1.1 成田市中台※=1.1 千葉佐倉市海隣寺町※=1.1 長柄町桜谷※=1.1 香取市仁良※=1.1 東金市東岩崎※=1.1 旭市南堀之内※=1.1 千葉中央区千葉市役所※=1.0 千葉花見川区花島町※=1.0 君津市久留里市場※=1.0 横芝光町宮川※=1.0 香取市佐原諏訪台※=1.0 鴨川市横渚※=0.9 富里市七栄※=0.9 千葉稲毛区園生町※=0.9 四街道市鹿渡※=0.9 八街市八街※=0.8 白井市復※=0.8 館山市長須賀=0.8 千葉美浜区ひび野=0.8 鴨川市八色=0.8 鴨川市内浦=0.8 成田国際空港=0.8 匝瑳市八日市場ハ※=0.8 旭市高生※=0.8 八千代市大和田新田※=0.8 南房総市白浜町白浜※=0.8 旭市ニ※=0.8 成田市名古屋=0.7 匝瑳市今泉※=0.7 南房総市谷向※=0.7 御宿町須賀※=0.7 印西市美瀬※=0.6 香取市佐原平田=0.6 神崎町神崎本宿※=0.5 神奈川県 2 三浦市城山町※=1.9 1 横浜港北区日吉本町※=0.8 横浜中区山手町=0.7 川崎宮前区宮前平※=0.6 茨城県 1 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 稲敷市伊佐津※=0.8 稲敷市結佐※=0.7 稲敷市江戸崎甲※=0.7 稲敷市須賀津※=0.6 東京都 1 八王子市堀之内※=0.8 東京千代田区大手町=0.7 調布市西つつじヶ丘※=0.6 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=0.9	35° 24.4' N	140° 26.5' E	58km	M: 4.4
47	13 12 52	千葉県東方沖 千葉県 2 長南町総合グラウンド=1.8 長南町長南※=1.8 一宮町一宮=1.7 大網白里市大網※=1.6 いすみ市国府台※=1.6 長生村本郷※=1.5	35° 25.3' N	140° 26.6' E	58km	M: 3.7

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 九十九里町片貝*=1.4 白子町関*=1.4 勝浦市墨名=1.4 いすみ市大原*=1.4 陸沢町下之郷*=1.3 勝浦市新官*=1.3 東金市日吉台*=1.3 山武市殿台*=1.2 茂原市道表*=1.0 山武市蓮沼ニ*=1.0 いすみ市岬町長者*=0.9 芝山町小池*=0.8 千葉緑区おゆみ野*=0.8 大多喜町大多喜*=0.8 千葉中央区中央港=0.7 東金市東新宿=0.7 山武市埴谷*=0.7 多古町多古=0.7 山武市松尾町富士見台=0.6 君津市久留里市場*=0.6 千葉若葉区小倉台*=0.6 神奈川県 1 三浦市城山町*=1.0				
48	13 13 40	千葉県東方沖 千葉県 1 一宮町一宮=0.5	35° 24.3' N	140° 26.7' E	57km	M: 2.7
49	13 22 52	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村小宝島*=2.0 1 鹿児島十島村悪石島*=0.9	29° 18.8' N	129° 10.3' E	14km	M: 3.1
50	13 23 34	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 芦北町芦北=1.5	32° 19.4' N	130° 30.2' E	3km	M: 2.1
51	13 23 41	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 芦北町芦北=1.6	32° 19.3' N	130° 30.2' E	2km	M: 2.1
52	14 14 19	与那国島近海 沖縄県 1 与那国町久部良=0.5	24° 11.5' N	122° 47.2' E	18km	M: 4.1
53	14 17 16	根室地方中部 北海道 1 根室市厚床*=0.5	43° 18.3' N	145° 15.5' E	78km	M: 3.2
54	14 17 57	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町芦北=0.5	32° 19.4' N	130° 30.1' E	0km	M: 1.5
55	15 17 10	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市小畑新町=0.7	35° 30.3' N	141° 13.9' E	40km	M: 4.2
56	15 20 37	伊予灘 愛媛県 1 八幡浜市五反田*=0.9 西予市三瓶町*=0.7	33° 31.1' N	132° 08.7' E	51km	M: 3.2
57	16 03 04	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.5	32° 44.6' N	130° 44.1' E	10km	M: 2.1
58	16 18 40	静岡県中部 静岡県 1 富士宮市野中*=0.7	35° 18.2' N	138° 13.4' E	37km	M: 2.7
59	17 02 56	紀伊水道 和歌山県 2 和歌山市一番丁*=1.8 和歌山市男野芝丁=1.5 1 海南市下津*=0.7 有田市初島町*=0.7 兵庫県 1 洲本市物部=0.6	34° 12.5' N	135° 05.3' E	9km	M: 3.2
60	17 06 36	茨城県北部 茨城県 1 水戸市千波町*=0.7	36° 47.4' N	140° 20.4' E	111km	M: 3.2
61	18 05 35	栃木県南部 茨城県 1 城里町小勝*=0.7 笠間市石井*=0.6 桜川市羽田*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.8 佐野市中町*=0.6 群馬県 1 邑楽町中野*=1.1 大泉町日の出*=1.0	36° 20.0' N	139° 53.6' E	67km	M: 3.4
62	18 11 35	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*=0.8	36° 10.5' N	137° 40.9' E	4km	M: 2.2
63	18 19 25	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=1.0	29° 16.9' N	129° 16.6' E	14km	M: 2.3
64	18 19 54	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=1.1	29° 18.2' N	129° 14.1' E	14km	M: 2.6
65	19 07 13	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.6	36° 16.6' N	137° 37.1' E	3km	M: 2.3
66	19 08 32	群馬県南部 群馬県 1 桐生市黒保根町*=0.9 前橋市粕川町*=0.5	36° 33.0' N	139° 21.8' E	7km	M: 2.8
67	19 09 06	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=0.5	29° 16.5' N	129° 11.6' E	14km	M: 2.0

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
68	19 09 09	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=0.9	29° 18.7' N	129° 10.1' E	13km	M: 2.6
69	19 09 10	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=0.7	29° 18.2' N	129° 13.1' E	10km	M: 2.4
70	19 09 11	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=1.4	29° 17.3' N	129° 14.0' E	14km	M: 2.7
71 (注)	19 09 13	トカラ列島近海	29° 17.0' N	129° 13.7' E	10km	M: 3.2
(注)	19 09 12	トカラ列島近海	29° 15.0' N	129° 17.9' E	5km	M: 2.9
(注)	19 09 12	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村小宝島*=2.2 1 鹿児島十島村悪石島*=0.9	29° 16.4' N	129° 16.8' E	8km	M: 2.2
72	19 09 16	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村小宝島*=2.2 1 鹿児島十島村悪石島*=1.0	29° 17.5' N	129° 13.3' E	13km	M: 3.1
73	19 09 17	トカラ列島近海 鹿児島県 3 鹿児島十島村小宝島*=2.6 2 鹿児島十島村悪石島*=1.8 1 鹿児島十島村宝島*=0.5	29° 15.7' N	129° 16.5' E	17km	M: 3.4
74	19 09 20	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=1.2	29° 17.3' N	129° 15.4' E	8km	M: 2.4
75	19 15 20	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町芦北=0.8	32° 19.3' N	130° 30.2' E	3km	M: 1.9
76	20 06 21	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 芦北町芦北=1.7	32° 19.3' N	130° 30.1' E	0km	M: 2.2
77	20 08 18	青森県津軽南部 青森県 1 田舎館村田舎館*=0.6	40° 37.4' N	140° 30.3' E	11km	M: 2.3
78	20 09 28	千葉県東方沖 茨城県 2 神栖市波崎*=2.1 鉾田市汲上*=1.5 1 笠間市石井*=1.2 稲敷市須賀津*=1.2 稲敷市江戸崎甲*=1.1 鉾田市鉾田=1.1 水戸市栗崎町*=1.0 土浦市常名*=0.9 日立市助川小学校*=0.9 石岡市柿岡=0.8 ひたちなか市南神敷台*=0.8 稲敷市結佐*=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 茨城鹿嶋市宮中*=0.7 潮来市辻*=0.7 小美玉市堅倉*=0.7 行方市玉造*=0.6 小美玉市上玉里*=0.6 潮来市堀之内=0.6 土浦市藤沢*=0.6 神栖市溝口*=0.6 稲敷市伊佐津*=0.5 行方市麻生*=0.5 石岡市石岡*=0.5 水戸市千波町*=0.5 笠間市下郷*=0.5 千葉県 2 銚子市小畑新町=2.0 銚子市若宮町*=2.0 銚子市川口町=1.5 1 旭市高生*=1.1 旭市萩園*=1.0 香取市仁良*=1.0 旭市南堀之内*=0.9 旭市ニ*=0.8 長南町総合グラウンド=0.8 匝瑳市今泉*=0.8 香取市役所*=0.7 芝山町小池*=0.5 東金市日吉台*=0.5 山武市蓮沼ハ*=0.5 成田市松子*=0.5	35° 44.1' N	141° 00.8' E	12km	M: 4.2
79	21 04 51	釧路沖 北海道 2 根室市厚床*=2.3 根室市落石東*=1.8 根室市瑤瑠瑁*=1.6 1 標津町北2条*=1.3 別海町本別海*=1.3 別海町常盤=1.2 根室市牧の内*=1.2 浜中町湯沸=1.1 厚岸町尾幌=1.1 羅臼町岬町*=1.1 標茶町塘路*=1.0 厚岸町真栄*=0.6 根室市弥栄=0.5	42° 43.4' N	145° 24.2' E	45km	M: 4.5
80	21 18 14	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*=1.0	36° 12.8' N	137° 49.2' E	4km	M: 2.1
81	22 00 15	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=0.8	29° 18.1' N	129° 11.5' E	9km	M: 2.0
82	22 02 32	長野県北部 新潟県 3 十日町市上山*=3.1 津南町下船渡*=2.8 上越市安塚区安塚*=2.6 上越市浦川原区釜淵*=2.5 十日町市松之山*=2.5 2 十日町市松代*=2.3 上越市大島区岡*=1.8 南魚沼市塩沢小学校*=1.7 南魚沼市塩沢庁舎*=1.6 上越市牧区柳島*=1.5 1 上越市柿崎区柿崎*=1.4 上越市吉川区原之町*=1.4 十日町市千歳町*=1.3 十日町市水口沢*=1.3 妙高市田町*=1.3 上越市清里区荒牧*=1.2 上越市大潟区土底浜*=1.2 柏崎市高柳町岡野町*=1.1 上越市板倉区針*=1.1 上越市大手町=1.1 湯沢町神立*=1.1 魚沼市須原*=1.1 長岡市上岩井*=1.1 上越市三和区井ノ口*=1.0 小千谷市旭町*=1.0 南魚沼市六日町=1.0 長岡市小国町法坂*=1.0 長岡市東川口*=1.0 出雲崎町米田=0.9 妙高市栄町*=0.9 魚沼市今泉*=0.9 上越市中郷区藤沢*=0.9 南魚沼市浦佐*=0.8 長岡市山古志竹沢*=0.8 上越市木田*=0.8 小千谷市城内=0.7 長岡市与板町与板*=0.6 魚沼市堀之内*=0.5 魚沼市下折立=0.5 長野県 3 栄村北信*=3.3 1 野沢温泉村豊郷*=1.4 山ノ内町消防署*=1.1 飯山市飯山福寿町*=1.0 栄村小赤沢*=0.8	36° 59.0' N	138° 31.4' E	10km	M: 3.8

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		群馬県 2 中之条町日影=1.5 1 片品村鎌田*=1.2 中之条町入山*=0.8 片品村東小川=0.7				
83	22 02 33	長野県北部 長野県 1 栄村北信*=0.5	36° 58.8' N	138° 31.3' E	9km	M: 2.4
84	22 10 00	石狩地方南部 北海道 1 千歳市若草*=0.9	42° 49.7' N	141° 33.4' E	11km	M: 1.5
85	23 03 30	鳥取県東部 鳥取県 1 鳥取市吉成*=0.6	35° 30.3' N	134° 19.5' E	9km	M: 2.7
86	23 03 57	新潟県中越地方 新潟県 1 津南町下船渡*=0.7 長野県 1 栄村北信*=0.6	36° 56.5' N	138° 36.6' E	6km	M: 2.5
87	23 04 37	福島県浜通り 福島県 1 いわき市三和町=0.6	37° 10.9' N	140° 43.9' E	18km	M: 2.8
88	23 14 05	鳥取県中部 鳥取県 1 倉吉市葵町*=1.2	35° 24.6' N	133° 50.6' E	6km	M: 2.2
89	24 03 06	長野県北部 長野県 2 小谷村中小谷*=1.9 1 小川村高府*=1.2 長野市戸隠*=1.1 長野市鬼無里*=0.9 白馬村北城*=0.7 長野市信州新町新町*=0.6	36° 45.9' N	137° 52.9' E	6km	M: 3.1
90	24 16 06	鳥取県中部 鳥取県 1 倉吉市葵町*=0.6	35° 24.6' N	133° 50.6' E	6km	M: 1.9
91	24 19 19	滋賀県北部 福井県 1 小浜市四谷町*=0.8 高浜町宮崎=0.5 岐阜県 1 揖斐川町東杉原*=1.4 揖斐川町東津汲*=1.3 大野町大野*=0.8 神戸町神戸*=0.5 滋賀県 1 高島市勝野*=1.3 大津市南小松=0.9 長浜市内保町*=0.7 愛荘町愛知川*=0.7 高島市朽木柏*=0.7 高島市マキノ町*=0.6 高島市今津町弘川*=0.5	35° 26.7' N	136° 15.7' E	36km	M: 3.4
92	25 09 08	岩手県沖 岩手県 1 住田町世田米*=0.8 一関市千蔵町*=0.8 一関市室根町*=0.5 大船渡市猪川町=0.5 宮城県 1 登米市東和町*=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.6 気仙沼市赤岩=0.6	39° 01.6' N	142° 06.9' E	56km	M: 3.6
93	25 13 27	福島県中通り 福島県 2 古殿町松川新桑原*=1.5 1 古殿町松川横川=1.3 浅川町浅川*=1.0	37° 06.2' N	140° 33.1' E	7km	M: 3.0
94	25 22 00	奈良県 奈良県 1 吉野町上市*=0.6	34° 24.9' N	135° 52.2' E	9km	M: 1.9
95	26 20 24	京都府南部 京都府 2 京都中京区西ノ京=1.7 1 京都北区中川*=1.4 南丹市園部町小桜町*=1.2 京都右京区太秦*=0.9 南丹市八木町八木*=0.8 京都下京区河原町塩小路*=0.7 亀岡市余部町*=0.7 亀岡市安町=0.6 京都北区紫竹*=0.6 京都右京区嵯峨*=0.6 京都右京区嵯峨嵯原*=0.6	35° 04.1' N	135° 37.2' E	12km	M: 3.2
96	27 08 55	岐阜県美濃中西部 岐阜県 3 関市上之保*=3.1 2 川辺町中川辺*=2.0 美濃市役所*=2.0 関市武芸川町*=1.9 郡上市八幡町島谷=1.8 郡上市八幡町旭*=1.8 可児市広見*=1.7 関市中之保*=1.6 関市洞戸市場*=1.5 八百津町八百津*=1.5 富加町滝田*=1.5 1 中津川市付知町*=1.4 美濃加茂市太田町=1.4 美濃加茂市西町*=1.4 郡上市和良町*=1.4 郡上市明宝*=1.4 七宗町上麻生*=1.3 岐阜山県市美山支所*=1.3 中津川市加子母*=1.3 土岐市泉町*=1.2 岐阜山県市高富*=1.1 瑞浪市上平町*=1.1 関市若草通り*=1.1 土岐市肥田*=1.1 飛騨市河合町元田*=1.0 郡上市美並町*=1.0 御嵩町御嵩*=1.0 郡上市大和町*=0.9 岐阜山県市谷合運動場=0.9 白川町河岐*=0.9 下呂市馬瀬*=0.9 揖斐川町谷汲*=0.9 中津川市福岡*=0.8 郡上市白鳥町白鳥*=0.8 郡上市高鷺町*=0.8 揖斐川町東津汲*=0.7 瑞穂市別府*=0.7 可児市兼山*=0.7 多治見市笠原町*=0.7 岐阜山県市大門*=0.7 本巣市根尾*=0.7 下呂市下呂小学校*=0.7 高山市荘川町*=0.7 中津川市山口*=0.7 中津川市坂下*=0.6 大野町大野*=0.6 瑞穂市宮田*=0.6 揖斐川町東杉原*=0.6 坂祝町取組*=0.5 恵那市上矢作町*=0.5 恵那市山岡町*=0.5 東白川村神土*=0.5 下呂市萩原町*=0.5 中津川市川上*=0.5 岐南町八剣*=0.5 下呂市森=0.5 長野県 2 王滝村役場*=1.5 1 木曽町日義*=1.3 木曽町新開*=1.0 長野高森町下市田*=1.0 王滝村鈴ヶ沢*=0.9 木曽町三岳*=0.8 飯田市上郷黒田*=0.8 上松町駅前通り*=0.8 南木曽町役場*=0.7 大鹿村大河原*=0.6 南木曽町読書小学校*=0.6 売木村役場*=0.5 木曽町開田高原西野*=0.5	35° 37.2' N	137° 02.4' E	9km	M: 4.0

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
97	27 09 48	山梨県 愛知県	1 山梨北杜市長坂町*=1.2 1 新城市作手高里松風呂*=1.2 豊田市長興寺*=1.1 豊田市保見町*=1.1 新城市作手高里縄手上*=1.0 豊田市足助町*=0.9 豊田市小坂町*=0.8 長久手市岩作城の内*=0.8 名古屋守山区下志段味*=0.7 豊田市小坂本町=0.7 名古屋瑞穂区塩入町*=0.6 新城市矢部=0.6 大山市五郎丸*=0.6 東海市加木屋町*=0.6 大府市中央町*=0.6 名古屋南区鳴尾*=0.5 名古屋緑区有松町*=0.5 名古屋名東区名東本町*=0.5 一宮市千秋=0.5 豊田市大洞町=0.5 知立市弘法*=0.5 高浜市稗田町*=0.5 日進市蟹甲町*=0.5 名古屋千種区日和町=0.5			
		滋賀県 京都府	1 大津市南小松=0.5 1 与謝野町加悦*=0.6			
		宮城県沖 岩手県	38° 50.7' N 2 大船渡市大船渡町=1.6 1 大船渡市猪川町=1.3 一関市千厩町*=1.1 一関市室根町*=1.1 釜石市中妻町*=1.1 住田町世田米*=1.0 遠野市青笹町*=0.9 一関市藤沢町*=0.9 陸前高田市高田町*=0.9 釜石市只越町=0.7 大船渡市盛町*=0.5	142° 06.6' E	44km	M: 4.0
		宮城県	2 気仙沼市笹が陣*=1.7 気仙沼市唐桑町*=1.6 1 石巻市桃生町*=1.3 南三陸町志津川=0.8 登米市東和町*=0.8 気仙沼市赤岩=0.7 石巻市北上町*=0.7 登米市登米町*=0.6			
98	27 12 41	釧路沖 北海道	42° 35.1' N 2 浜中町茶内*=1.9 1 根室市厚床*=0.8 厚岸町真栄*=0.6 標茶町塘路*=0.5	144° 58.7' E	49km	M: 3.9
99	27 13 13	熊本県熊本地方 熊本県	32° 41.6' N 1 熊本西区春日=1.2 宇城市不知火町*=1.1 宇城市松橋町=0.8	130° 42.0' E	13km	M: 2.6
100	27 17 08	福島県沖 茨城県	36° 42.1' N 1 笠間市石井*=0.5	141° 44.3' E	56km	M: 4.3
101	27 17 36	宗谷地方北部 北海道	45° 01.5' N 1 幌延町宮園町*=0.8	141° 55.8' E	9km	M: 1.7
102	27 19 46	岩手県沖 岩手県	39° 13.0' N 1 釜石市只越町=1.3 住田町世田米*=1.3 釜石市中妻町*=1.1 一関市大東町=1.1 大船渡市猪川町=1.0 陸前高田市高田町*=1.0 一関市千厩町*=0.7 大船渡市大船渡町=0.6 一関市室根町*=0.6 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=0.5	142° 11.2' E	53km	M: 3.8
103	27 23 14	択捉島南東沖 北海道	44° 06.5' N 2 根室市落石東*=1.6 1 別海町常盤=1.0 根室市瑤瑤瑠*=1.0 標津町北2条*=0.9 別海町本別海*=0.8 根室市厚床*=0.8 標茶町塘路*=0.8 根室市牧の内*=0.7	148° 04.1' E	0km	M: 4.9
104	27 23 45	茨城県沖 茨城県	36° 15.4' N 2 水戸市金町=1.5 水戸市千波町*=1.5 1 高萩市安良川*=1.4 水戸市栗崎町*=1.3 大子町池田*=1.3 ひたちなか市東石川*=1.2 城里町石塚*=1.2 城里町小勝*=1.2 常陸大宮市山方*=1.1 水戸市内原町*=1.1 笠間市石井*=1.1 常陸大宮市上小瀬*=1.0 常陸太田市町田町*=1.0 東海村東海*=1.0 筑西市門井*=0.9 ひたちなか市南神敷台*=0.9 石岡市柿岡=0.8 常陸大宮市北町*=0.8 土浦市常名=0.8 高萩市本町*=0.7 かすみがうら市大和田*=0.7 鉾田市造谷*=0.7 小美玉市上玉里*=0.7 日立市助川小学校*=0.7 取手市寺田*=0.6 鉾田市鉾田=0.6 かすみがうら市上土田*=0.6 笠間市下郷*=0.5 桜川市羽田*=0.5 笠間市笠間*=0.5 石岡市石岡*=0.5 小美玉市小川*=0.5 小美玉市堅倉*=0.5 福島県 1 棚倉町棚倉中居野=0.7 浅川町浅川*=0.5 栃木県 1 茂木町茂木*=1.0 市貝町市塙*=0.8 宇都宮市明保野町=0.7 栃木那珂川町小川*=0.5	140° 56.5' E	53km	M: 3.8
105	28 00 19	鳥取県中部 鳥取県	35° 24.6' N 2 倉吉市葵町*=2.4 湯梨浜町龍島*=2.2 北栄町土下*=2.0 倉吉市関金町大鳥居*=1.8 湯梨浜町久留*=1.7 鳥取市青谷町青谷*=1.6 1 鳥取市鹿野町鹿野*=1.4 倉吉市岩倉長峯=1.3 三朝町大瀬*=1.3 鳥取市気高町浜村*=1.3 鳥取市鹿野町鹿野小学校*=1.2 八頭町船岡*=1.1 湯梨浜町泊*=0.9 鳥取市福部町細川*=0.9 江府町江尾*=0.8 八頭町郡家*=0.7 鳥取市佐治町加瀬木*=0.7 鳥取市吉成*=0.6 鳥取市吉方=0.6 岡山県 2 鏡野町上齋原*=1.9 真庭市蒜山下和*=1.7 真庭市禾津*=1.5 1 真庭市蒜山下福田*=1.4 鏡野町井坂*=1.3 真庭市豊栄*=1.3 真庭市蒜山上福田*=1.3 津山市加茂町*=1.2 鏡野町富西谷*=1.2 津山市小中原*=1.2 津山市新野東*=1.2 津山市阿波*=1.2 岡山北区建部町*=1.0 津山市中北下*=0.9 鏡野町竹田*=0.9 奈義町豊沢*=0.8 岡山北区御津金川*=0.8 新庄村役場*=0.8 和気町矢田*=0.7 勝央町勝間田*=0.7 岡山美咲町久木*=0.6 真庭市下方*=0.5 津山市山北*=0.5 岡山美咲町西川*=0.5 津山市林田=0.5 兵庫県 1 上郡町大持*=0.9 香川県 1 高松市国分寺町*=1.1	133° 50.5' E	11km	M: 3.9
106	28 03 20	岩手県沿岸北部 青森県	40° 04.3' N 3 階上町道仏*=3.2 青森南部町苦米地*=2.6 2 五戸町古館=2.2 八戸市内丸*=2.1 八戸市湊町=2.1 八戸市南郷*=1.9 東北町上北南*=1.9	141° 50.8' E	51km	M: 4.1

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		岩手県 五戸町倉石中市*=1.7 三戸町在府小路町*=1.7 野辺地町田狭沢*=1.7 田子町田子*=1.6 七戸町森ノ上*=1.5 1 三沢市桜町*=1.4 八戸市島守=1.3 東北町塔ノ沢山*=1.1 十和田市西二番町*=1.1 野辺地町野辺地*=1.0 青森南部町沖田面*=1.0 七戸町七戸*=0.9 東通村砂子又沢内*=0.8 六戸町大落瀬*=0.8 東通村白糠*=0.5 2 久慈市枝成沢=2.1 宮古市五月町*=2.0 岩手洋野町種米=2.0 岩手洋野町大野*=2.0 軽米町軽米*=2.0 盛岡市薮川*=1.9 九戸村伊保内*=1.9 久慈市長内町*=1.8 宮古市鎌ヶ崎=1.7 宮古市区界*=1.7 一戸町高善寺*=1.7 久慈市川崎町=1.7 矢巾町南矢幅*=1.7 宮古市田老*=1.6 八幡平市田頭*=1.6 田野畑村田野畑=1.5 盛岡市馬場町*=1.5 田野畑村役場*=1.5 盛岡市洪民*=1.5 1 宮古市川井*=1.4 宮古市茂市*=1.4 住田町世田米*=1.4 盛岡市山王町=1.4 二戸市福岡=1.4 二戸市浄法寺町*=1.4 滝沢市鶴飼*=1.4 普代村銅屋*=1.3 二戸市石切所*=1.3 紫波町紫波中央駅前*=1.3 岩泉町岩泉*=1.3 花巻市大迫町=1.3 岩泉町大川*=1.2 葛巻町消防分署*=1.2 岩手町五日市*=1.2 葛巻町葛巻元木=1.1 釜石市中妻町*=1.1 花巻市大迫総合支所*=1.1 遠野市青笹町*=1.1 山田町大沢*=1.0 遠野市宮守町*=1.0 久慈市山形町*=0.9 雫石町千刈田=0.9 釜石市只越町=0.8 葛巻町役場*=0.8 野田村野田*=0.8 一関市千厩町*=0.8 一関市室根町*=0.8 山田町八幡町=0.7 花巻市石鳥谷町*=0.7 八幡平市叭田*=0.7 北上市相去町*=0.7 西和賀町沢内川舟*=0.7 奥州市胆沢*=0.7 宮古市長沢=0.6 八幡平市大更=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 雫石町西根上駒木野=0.6 一関市東山町*=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.7 気仙沼市赤岩=0.5 栗原市栗駒=0.5 南三陸町志津川=0.5				
107	29 03 07	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 熊本県 2 長島町伊唐島*=1.5 1 長島町獅子島*=0.7 長島町鷹巣*=0.5 1 水俣市陣内*=0.8 水俣市牧ノ内*=0.5	32° 11.7' N	130° 19.2' E	9km	M: 2.9
108	29 10 42	千葉県東方沖 茨城県 千葉県 1 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 1 旭市南堀之内*=1.1 香取市仁良*=1.0 多古町多古=0.9 芝山町小池*=0.6 山武市蓮沼ニ*=0.6 東金市日吉台*=0.5	35° 38.8' N	140° 45.2' E	50km	M: 3.3
109	29 16 14	大分県中部 大分県 1 別府市鶴見=0.9	33° 17.5' N	131° 26.7' E	5km	M: 2.1
110	29 20 55	釧路沖 北海道 1 釧路市黒金町*=1.2 釧路町別保*=1.2 標茶町塘路*=1.1 釧路市幸町=0.8 十勝大樹町生花*=0.8 標津町北2条*=0.7 白糠町西1条*=0.5	42° 23.2' N	144° 40.8' E	38km	M: 4.3
111	30 01 50	茨城県南部 茨城県 1 坂東市馬立*=0.6	36° 01.9' N	139° 55.7' E	42km	M: 2.8
112	30 07 08	福島県中通り 福島県 2 浅川町浅川*=1.9 矢祭町東館*=1.6 白河市郭内=1.6 棚倉町棚倉中居野=1.5 1 矢祭町戸塚*=1.4 いわき市三和町=1.2 いわき市平梅本*=1.2 古殿町松川横川=0.9 鮫川村赤坂中野*=0.8 玉川村小高*=0.8 いわき市錦町*=0.7 郡山市湖南町*=0.6 古殿町松川新桑原*=0.6 田村市都路町*=0.5 棚倉町棚倉館ヶ丘*=0.5 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.1 日立市十王町友部*=0.7 北茨城市中郷町*=0.7	36° 53.8' N	140° 32.3' E	6km	M: 3.9
113	30 07 48	岩手県沿岸南部 岩手県 宮城県 2 住田町世田米*=1.8 1 陸前高田市高田町*=1.2 大船渡市猪川町=0.9 大船渡市大船渡町=0.9 1 気仙沼市赤岩=0.8 気仙沼市唐桑町*=0.8 気仙沼市笹が陣*=0.7	39° 02.8' N	141° 37.5' E	13km	M: 3.1
114	30 11 43	茨城県北部 茨城県 1 東海村東海*=1.1 常陸大宮市北町*=1.0 日立市助川小学校*=0.9 常陸太田市町屋町=0.8 笠間市石井*=0.8 城里町小勝*=0.8 ひたちなか市東石川*=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.7 水戸市金町=0.7 大子町池田*=0.6 常陸太田市高柿町*=0.5 水戸市千波町*=0.5	36° 27.2' N	140° 35.8' E	55km	M: 3.3
115	30 14 37	茨城県南部 茨城県 3 水戸市内原町*=2.9 土浦市常名=2.7 行方市玉造*=2.6 坂東市馬立*=2.5 水戸市千波町*=2.5 つくば市小茎*=2.5 2 城里町小勝*=2.4 土浦市藤沢*=2.4 笠間市石井*=2.3 茨城鹿嶋市鉢形=2.3 笠間市笠間*=2.3 水戸市金町=2.3 小美玉市上玉里*=2.3 石岡市石岡*=2.2 取手市寺田*=2.2 小美玉市小川*=2.2 稲敷市江戸崎甲*=2.2 筑西市舟生=2.2 筑西市門井*=2.2 桜川市岩瀬*=2.2 常総市水海道諏訪町*=2.2 石岡市柿岡=2.1 桜川市羽田*=2.1 坂東市役所*=2.1 石岡市八郷*=2.1 稲敷市結佐*=2.1 笠間市下郷*=2.1 常陸大宮市北町*=2.1 かすみがうら市上土田*=2.1 石岡市岩宮*=2.0 常総市新石下*=2.0 常陸太田市町屋町=2.0 かすみがうら市大和田*=2.0 笠間市中央*=2.0 茨城古河市下大野*=1.9 結城市結城*=1.9 常陸大宮市山方*=1.9 つくばみらい市福田*=1.9 つくば市天王台*=1.8 桜川市真壁*=1.8 東海村東海*=1.8 美浦村受領*=1.8 阿見町中央*=1.8 坂東市岩井=1.8 日立市助川小学校*=1.8 小美玉市壱倉*=1.8 茨城町小堤*=1.8 土浦市田中*=1.8 常陸大宮市上小瀬*=1.8 筑西市海老ヶ島*=1.8 茨城古河市長谷町*=1.8 牛久市中央*=1.8 水戸市栗崎町*=1.7 五霞町小福田*=1.7 行方市麻生*=1.7 つくば市研究学園*=1.7 稲敷市役所*=1.7 鉾田市造谷*=1.7 大子町池田*=1.7	36° 11.7' N	139° 48.4' E	57km	M: 4.4

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		茨城鹿嶋市宮中＊=1.7 龍ヶ崎市役所＊=1.7 城里町阿波山＊=1.6 稲敷市伊佐津＊=1.6 常陸太田市大中町＊=1.6 鉾田市鉾田=1.6 ひたちなか市南神敷台＊=1.6 筑西市下中山＊=1.6 境町旭町＊=1.6 利根町布川=1.6 ひたちなか市東石川＊=1.6 常陸大宮市野口＊=1.6 神栖市溝口＊=1.6 行方市山田＊=1.6 下妻市本城町＊=1.6 城里町石塚＊=1.5 守谷市大柏＊=1.5 潮来市辻＊=1.5 稲敷市須賀津＊=1.5 鉾田市汲上＊=1.5 北茨城市中郷町＊=1.5 下妻市鬼怒＊=1.5 1 つくばみらい市加藤＊=1.3 茨城古河市仁連＊=1.3 取手市井野＊=1.3 潮来市堀之内=1.3 取手市藤代＊=1.2 高萩市安良川＊=1.2 河内町源清田＊=1.2 日立市十王町友部＊=1.2 日立市役所＊=1.1 北茨城市磯原町＊=1.1 那珂市瓜連＊=1.1 八千代町菅谷＊=1.1 常陸太田市高柿町＊=1.0 常陸大宮市中富町=1.0 那珂市福田＊=1.0 ひたちなか市山ノ上町=0.9 大洗町磯浜町＊=0.9 常陸太田市町田町＊=0.9 常陸大宮市高部＊=0.9 常陸太田市金井町＊=0.9 高萩市本町＊=0.8 3 宇都宮市明保野町=2.8 栃木市大平町富田＊=2.6 高根沢町石末＊=2.6 栃木市藤岡町藤岡＊=2.5 下野市笹原＊=2.5 2 小山市神鳥谷＊=2.3 壬生町通町＊=2.3 佐野市高砂町＊=2.2 鹿沼市晃望台＊=2.2 栃木市岩舟町静＊=2.2 宇都宮市中里町＊=2.1 佐野市葛生東＊=2.1 上三川町しらさぎ＊=2.1 下野市田中＊=2.1 鹿沼市口栗野＊=2.0 足利市大正町＊=2.0 芳賀町祖母井＊=2.0 栃木市旭町=2.0 佐野市田沼町＊=1.9 栃木市都賀町家中＊=1.9 矢板市本町＊=1.9 野木町丸林＊=1.8 那須烏山市大金＊=1.8 宇都宮市塙田＊=1.8 宇都宮市旭＊=1.8 宇都宮市中岡本町＊=1.8 栃木市西方町本城＊=1.8 栃木市万町＊=1.8 佐野市中町＊=1.8 日光市鬼怒川温泉大原＊=1.7 下野市大松山＊=1.7 小山市中央町＊=1.6 日光市足尾町中才＊=1.6 真岡市田町＊=1.5 市貝町市塙＊=1.5 1 日光市芹沼＊=1.4 日光市藤原庁舎＊=1.4 日光市黒部＊=1.4 茂木町茂木＊=1.4 那須烏山市中央=1.4 日光市瀬川=1.3 塩谷町玉生＊=1.3 栃木那珂川町小川＊=1.3 栃木さくら市氏家＊=1.2 日光市湯元＊=1.2 大田原市本町＊=1.2 那須塩原市塩原庁舎＊=1.2 益子町益子=1.2 栃木さくら市喜連川＊=1.1 那須塩原市あたご町＊=1.1 鹿沼市今宮町＊=1.1 栃木那珂川町馬頭＊=1.0 日光市今市本町＊=1.0 大田原市黒羽田町=1.0 日光市足尾町通洞＊=1.0 日光市御幸町＊=0.9 日光市中宮祠=0.9 那須烏山市役所＊=0.8 那須塩原市鍋掛＊=0.6 那須塩原市蓼沼=0.6 3 久喜市下早見=2.8 宮代町笠原＊=2.5 2 加須市大利根＊=2.4 東松山市松葉町＊=2.4 加須市北川辺＊=2.3 春日部市粕壁＊=2.3 熊谷市妻沼＊=2.2 熊谷市江南＊=2.2 滑川町福田＊=2.2 熊谷市大里＊=2.1 久喜市栗橋＊=2.1 北本市本町＊=2.1 行田市本丸＊=2.0 東松山市市ノ川＊=2.0 久喜市鷲宮＊=2.0 川口市中青木分室＊=2.0 深谷市川本＊=1.9 久喜市青葉＊=1.9 春日部市金崎＊=1.9 春日部市谷原新田＊=1.9 白岡市千駄野＊=1.9 加須市騎西＊=1.9 行田市南河原＊=1.8 鴻巣市中央＊=1.8 鴻巣市吹上富士見＊=1.8 久喜市菖蒲＊=1.8 上尾市本町＊=1.8 幸手市東＊=1.8 さいたま大宮区大門＊=1.8 さいたま岩槻区本丸＊=1.8 加須市三俣＊=1.7 蓮田市黒浜＊=1.7 さいたま西区指扇＊=1.7 秩父市近戸町＊=1.7 羽生市東＊=1.7 深谷市花園＊=1.7 ときがわ町桃木＊=1.7 杉戸町清地＊=1.6 さいたま北区宮原＊=1.6 さいたま大宮区天沼町＊=1.6 秩父市上町=1.6 鴻巣市川里＊=1.6 長瀬町野上下郷＊=1.6 小川町大塚＊=1.6 狭山市入間川＊=1.5 さいたま見沼区堀崎＊=1.5 さいたま中央区下落合＊=1.5 埼玉美里町木部＊=1.5 本庄市児玉町=1.5 1 熊谷市桜町=1.4 熊谷市宮町＊=1.4 嵐山町杉山＊=1.4 吉見町下細谷＊=1.4 東秩父村御堂＊=1.4 川越市旭町=1.4 桶川市泉＊=1.4 川島町下八ツ林＊=1.4 さいたま浦和区高砂=1.4 川越市新宿町＊=1.3 越谷市越ヶ谷＊=1.3 戸田市上戸田＊=1.3 三郷市中央＊=1.3 皆野町皆野＊=1.3 ときがわ町玉川＊=1.3 蕨市中央＊=1.2 八潮市中央＊=1.2 伊奈町小室＊=1.2 越生町越生＊=1.2 深谷市岡部＊=1.2 秩父市熊木町＊=1.2 横瀬町横瀬＊=1.2 川口市青木＊=1.2 坂戸市千代田＊=1.1 松伏町松伏＊=1.1 さいたま緑区中尾＊=1.1 長瀬町本野上＊=1.0 入間市豊岡＊=1.0 和光市広沢＊=1.0 富士見市鶴馬＊=1.0 鳩山町大豆戸=1.0 吉川市きよみ野＊=1.0 毛呂山町中央＊=1.0 埼玉神川町下阿久原＊=1.0 寄居町寄居＊=1.0 鶴ヶ島市三ツ木＊=0.9 所沢市北有楽町＊=0.9 草加市中央＊=0.9 さいたま南区別所＊=0.9 秩父市吉田＊=0.9 新座市野火止＊=0.9 小鹿野町小鹿野＊=0.8 朝霞市本町＊=0.8 埼玉神川町植竹＊=0.8 秩父市荒川＊=0.8 さいたま浦和区常盤＊=0.7 川口市三ツ和＊=0.7 ふじみ野市福岡＊=0.7 埼玉三芳町藤久保＊=0.6 本庄市本庄＊=0.6 さいたま桜区道場＊=0.6 小鹿野町役場両神庁舎＊=0.5 飯能市征矢町＊=0.5 2 棚倉町棚倉中居野=1.7 白河市表郷＊=1.7 矢祭町東館＊=1.5 1 玉川村小高＊=1.4 白河市東＊=1.3 白河市新白河＊=1.3 古殿町松川新桑原＊=1.2 鏡石町不時沼＊=1.1 泉崎村泉崎＊=1.1 矢祭町戸塚＊=1.1 白河市大信＊=1.1 浅川町浅川＊=1.1 須賀川市岩瀬支所＊=1.1 いわき市三和町=1.1 須賀川市八幡山＊=0.9 下郷町塩生＊=0.9 いわき市小名浜=0.9 いわき市錦町＊=0.8 大熊町大川原＊=0.8 白河市郭内=0.8 田村市常葉町＊=0.8 田村市都路町＊=0.8 石川町長久保＊=0.8 古殿町松川横川=0.8 田村市船引町=0.7 浪江町幾世橋=0.7 小野町中通＊=0.7 檜葉町北田＊=0.7 川内村上川内早渡＊=0.7 鮫川村赤坂中野＊=0.6 檜枝岐村上河原＊=0.5 福島広野町下北迫大谷地原＊=0.5 郡山市湖南町＊=0.5 2 板倉町板倉=2.4 太田市西本町＊=2.3 伊勢崎市西久保町＊=2.2 邑楽町中野＊=2.2 桐生市新里町＊=2.1 桐生市黒保根町＊=2.1 桐生市元宿町＊=2.0 渋川市赤城町＊=1.9 大泉町日の出＊=1.9 太田市浜町＊=1.9 沼田市利根町＊=1.8 館林市美園町＊=1.8 沼田市白沢町＊=1.7 前橋市粕川町＊=1.7 渋川市吹屋＊=1.7 群馬明和町新里＊=1.7 千代田町赤岩＊=1.7 伊勢崎市境＊=1.6 太田市大原町＊=1.6 館林市城町＊=1.6 沼田市西倉内町=1.6 沼田市下久屋町＊=1.6 片品村東小川=1.6 前橋市鼻毛石町＊=1.5 伊勢崎市今泉町＊=1.5 太田市粕川町＊=1.5 太田市新田金井町＊=1.5 前橋市堀越町＊=1.5 1 前橋市富士見町＊=1.4 桐生市織姫町=1.4 渋川市伊香保町＊=1.4 みどり市大間々町＊=1.4 東吾妻町奥田＊=1.3 藤岡市鬼石＊=1.3 みどり市東町＊=1.3 みどり市笠懸町＊=1.3 片品村鎌田＊=1.3 みなかみ町鹿野沢＊=1.1 東吾妻町本宿＊=1.1 群馬昭和村糸井＊=1.1 前橋市駒形町＊=1.1 前橋市大手町＊=1.1 神流町神ヶ原＊=1.1 吉岡町下野田＊=1.0 前橋市昭和町=1.0 渋川市石原＊=1.0 渋川市村上＊=1.0 神流町生利＊=0.9 高崎市足門町＊=0.9 中之条町日影=0.9 高崎市吉井町吉井川＊=0.8 安中市安中＊=0.8 高崎市高松町＊=0.8 榛東村新井＊=0.7 玉村町下新田＊=0.7 群馬上野村川和＊=0.6 甘楽町小幡＊=0.6 渋川市有馬＊=0.6 高崎市新町＊=0.6				

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県	渋川市北橋町※=0.5 川場村谷地※=0.5 富岡市七日市=0.5 高崎市倉渕町※=0.5 2 野田市鶴奉※=2.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=2.2 白井市復※=2.1 香取市佐原諏訪台※=1.9 千葉花見川区花島町※=1.9 成田市名古屋=1.9 芝山町小池※=1.8 香取市役所※=1.8 香取市仁良※=1.8 成田市中台※=1.8 柏市旭町=1.8 八千代市大和田新田※=1.8 栄町安食台※=1.8 香取市佐原平田=1.7 成田国際空港=1.7 習志野市鷺沼※=1.7 柏市柏※=1.7 印西市大森※=1.6 神崎町神崎本宿※=1.5 香取市羽根川※=1.5 千葉稲毛区園生町※=1.5 松戸市西馬橋※=1.5 印西市笠神※=1.5 1 山武市埴谷※=1.4 千葉美浜区ひび野=1.4 野田市東宝珠花※=1.4 成田市松子※=1.4 柏市大島田※=1.4 浦安市日の出=1.4 四街道市鹿渡※=1.4 富里市七栄※=1.4 香取市岩部※=1.3 千葉若葉区小倉台※=1.3 船橋市湊町※=1.3 流山市平和台※=1.3 印西市美瀬※=1.3 成田市役所※=1.2 千葉佐倉市海隣寺町※=1.2 酒々井町中央台※=1.2 旭市南堀之内※=1.2 多古町多古=1.2 東金市日吉台※=1.1 山武市松尾町富士見台=1.1 山武市蓮沼ニ※=1.1 千葉美浜区稲毛海岸※=1.1 我孫子市我孫子※=1.1 八街市八街※=1.0 千葉中央区中央港=1.0 成田市猿山※=1.0 市原市姉崎※=0.9 長南町総合グラウンド=0.9 千葉中央区千葉市役所※=0.9 千葉緑区おゆみ野※=0.8 市川市南八幡※=0.8 旭市萩園※=0.8 匝瑳市八日市場ハ※=0.8 横芝光町宮川※=0.8 浦安市猫実※=0.8 横芝光町栗山※=0.8 山武市殿台※=0.7 山武市蓮沼ハ※=0.7 旭市高生※=0.7 長南町長南※=0.7 松戸市根本※=0.7 東金市東新宿=0.6 君津市久留里市場※=0.6 銚子市小畑新町=0.5 一宮町一宮=0.5			
		東京都	2 東京千代田区大手町=1.6 東京品川区平塚※=1.5 東京足立区伊興※=1.5 調布市西つづじヶ丘※=1.5 小平市小川町※=1.5 1 東京渋谷区本町※=1.4 東京文京区大塚※=1.3 東京中野区中野※=1.3 東大和市中央※=1.3 東京中央区勝どき※=1.2 東京新宿区上落合※=1.2 東京文京区スポーツセンタ※=1.2 東京世田谷区成城※=1.2 東京杉並区高井戸※=1.2 東京北区西ヶ原※=1.2 東京荒川区東尾久※=1.2 東京江戸川区中央=1.2 東京江戸川区鹿骨※=1.2 八王子市堀之内※=1.2 町田市忠生※=1.2 西東京市中町※=1.2 多摩市関戸※=1.2 東京板橋区相生町※=1.1 東京足立区神明南※=1.1 東京葛飾区立石※=1.1 東京江戸川区船堀※=1.1 町田市森野※=1.1 日野市神明※=1.1 清瀬市中里※=1.1 青梅市東青梅=1.1 東京千代田区富士見※=1.1 狛江市和泉本町※=1.0 武蔵村山市本町※=1.0 東京中央区築地※=1.0 稲城市東長沼※=1.0 東京港区海岸=1.0 東京港区白金※=1.0 東京新宿区百人町※=1.0 東京文京区本郷※=1.0 東京江東区越中島※=1.0 東京品川区北品川※=1.0 東京大田区本羽田※=1.0 東京中野区江古田※=1.0 東京杉並区桃井※=1.0 東京豊島区南池袋※=1.0 東京練馬区東大泉※=1.0 東京世田谷区三軒茶屋※=0.9 東京渋谷区宇田川町※=0.9 青梅市日向和田※=0.9 三鷹市野崎※=0.9 東京府中市朝日町※=0.9 小金井市本町※=0.9 東村山市本町※=0.9 東京江東区森下※=0.9 東京国際空港=0.9 東京板橋区高島平※=0.8 東京練馬区光が丘※=0.8 東京足立区千住中居町※=0.8 八王子市石川町※=0.8 東京府中市寿町※=0.8 調布市小島町※=0.8 東京品川区広町※=0.8 国分寺市戸倉=0.8 国分寺市本多※=0.8 東京千代田区麹町※=0.8 東京目黒区中央町※=0.7 東京葛飾区金町※=0.7 東京大田区多摩川※=0.7 東京世田谷区中町※=0.7 八王子市大横町=0.7 東京中央区日本橋兜町※=0.7 東京港区南青山※=0.7 東京板橋区板橋※=0.7 東京江東区東陽※=0.6 東京北区神谷※=0.6 東京荒川区荒川※=0.6 東京足立区中央本町※=0.6 東京台東区東上野※=0.6 東京世田谷区世田谷※=0.5 武蔵野市緑町※=0.5 清瀬市中清戸※=0.5 東京墨田区吾妻橋※=0.5 東京江東区青海=0.5 多摩市鶴牧※=0.5			
		神奈川県	2 横浜神奈川区神大寺※=1.6 横浜港北区日吉本町※=1.5 横浜旭区川井宿町※=1.5 横浜緑区十日市場町※=1.5 川崎宮前区宮前平※=1.5 1 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.4 川崎宮前区野川※=1.4 横浜鶴見区末広町※=1.3 横浜瀬谷区三ツ境※=1.3 横浜青葉区榎が丘※=1.3 横浜青葉区市ヶ尾町※=1.3 相模原緑区中野※=1.3 座間市相武台※=1.2 中井町比奈窪※=1.2 愛川町角田※=1.2 相模原中央区水郷田名※=1.2 相模原南区相模大野※=1.2 相模原緑区橋本※=1.2 横浜緑区鶴居※=1.1 厚木市中町※=1.1 山北町山北※=1.1 清川村煤ヶ谷※=1.1 横浜神奈川区広台太田町※=1.0 相模原中央区中央=1.0 相模原緑区久保沢※=1.0 横浜中区山手町=0.9 横浜磯子区洋光台※=0.9 横浜港南区丸山台東部※=0.9 横浜旭区今宿東町※=0.9 横浜瀬谷区中屋敷※=0.9 川崎中原区小杉陣屋町=0.9 川崎高津区下作延※=0.8 相模原南区磯部※=0.8 大和市下鶴間※=0.7 川崎幸区戸手本町※=0.7 平塚市浅間町※=0.7 三浦市城山町※=0.7 川崎川崎区中島※=0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.6 秦野市曽屋=0.6 横浜保土ヶ谷区神戸町※=0.6 湯河原町中央=0.6			
		新潟県 山梨県	1 南魚沼市六日町=0.5 1 富士河口湖町長浜※=1.4 富士川町鯉沢※=1.2 甲州市塩山上於曽※=1.1 大月市御太刀※=1.0 富士河口湖町船津=1.0 甲斐市下今井※=0.9 甲府市相生※=0.8 山梨北杜市長坂町※=0.8 甲州市塩山下於曽=0.8 甲州市勝沼町勝沼※=0.8 大月市大月=0.8 甲府市飯田=0.7 上野原市四方津=0.6 富士吉田市上吉田※=0.5			
		長野県 静岡県	1 茅野市葛井公園※=1.1 長野南牧村海ノ口※=0.7 小海町豊里※=0.5 1 富士市吉永※=0.9 東伊豆町奈良本※=0.6 富士宮市野中※=0.6 富士宮市弓沢町=0.5			
116	30 17 59	茨城県北部 福島県	36° 46.1' N	140° 42.3' E	92km	M: 3.7
		茨城県	1 浅川町浅川※=1.4 川内村下川内=1.3 小野町小野新町※=1.2 田村市都路町※=1.2 小野町中通※=1.2 棚倉町棚倉中居野=1.1 いわき市三和町=1.0 川内村上川内早渡※=1.0 大熊町大川原※=1.0 檜葉町北田※=1.0 矢祭町戸塚※=0.9 浪江町幾世橋=0.9 玉川村小高※=0.8 葛尾村落合落合※=0.8 田村市船引町=0.8 古殿町松川横川=0.7 田村市常葉町※=0.7 福島広野町下北迫大谷地原※=0.7 白河市新白河※=0.6 1 水戸市千波町※=1.4 日立市助川小学校※=1.3 笠間市石井※=1.3 水戸市内原町※=1.2 石岡市柿岡=1.1 水戸市栗崎町※=1.0 笠間市下郷※=1.0 常陸大宮市北町※=1.0 東海村東海※=0.9 城里町小勝※=0.9 小美玉市小川※=0.9 鉾田市汲上※=0.9 笠間市中央※=0.8 笠間市笠間※=0.8 水戸市金町=0.8 常陸大宮市山方※=0.8 日立市役所※=0.8 常陸太田市町屋町=0.8 土浦市常名=0.8 常陸太田市町田町※=0.8 ひたちなか市東石川※=0.7 大子町池田※=0.7 常陸大宮市上小瀬※=0.6 常陸大宮市野口※=0.6 石岡市八郷※=0.6 筑西市門井※=0.6 かすみがうら市大和田※=0.6 行方市麻生※=0.6 桜川市羽田※=0.6 高萩市安良川※=0.6 小美玉市堅倉※=0.5 城里町阿波山※=0.5 北茨城市磯原町※=0.5 城里町石塚※=0.5 稲敷市江戸崎甲※=0.5			

令和2年8月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
117	31 06 00	沖縄本島近海 鹿児島県	27° 19.4' N	128° 51.2' E	31km	M: 4.1
		2 伊仙町伊仙*=2.1 天城町平土野*=1.6 和泊町国頭=1.6 徳之島町亀津*=1.5 1 瀬戸内町請島*=1.2 瀬戸内町与路島*=0.9 知名町瀬利覚=0.9 瀬戸内町加計呂麻島*=0.7 知名町知名*=0.7 与論町茶花*=0.6 天城町当部=0.5 奄美市名瀬港町=0.5				
118	31 14 00	留萌地方中北部 北海道	44° 13.7' N	141° 42.2' E	7km	M: 3.0
		1 羽幌町南3条=1.2 羽幌町南町*=1.1 羽幌町焼尻=1.0 幌加内町朱鞠内*=0.9 小平町達布*=0.9				
119	31 16 05	長野県北部 長野県	36° 36.9' N	138° 22.4' E	1km	M: 2.3
		1 須坂市須坂*=0.5				

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <令和元年（2019年）9月～令和2年（2020年）8月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和元年（2019年）											
9月	72	24	9							105	
10月	65	35	6	1						107	
11月	79	34	12	3						128	
12月	99	19	19	4	2					143	12日 宗谷地方北部（震度5弱） 19日 青森県東方沖（震度5弱）
令和2年（2020年）											
1月	68	35	8	5						116	
2月	68	26	5	4						103	
3月	100	33	11	1		1				146	13日 石川県能登地方（震度5強）
4月	140	46	16	6						208	長野県中部の地震活動（※1） （22日以降30日現在：震度4：1回、震度3：5回、震度2：13回、震度1：48回）
5月	142	39	23	9						213	長野・岐阜県境付近の地震活動（※1の周辺） （震度4：2回、震度3：7回、震度2：19回、震度1：74回）
6月	81	33	6	6	1					127	25日 千葉県東方沖（震度5弱） 長野・岐阜県境付近の地震活動（※1の周辺） （震度2：2回、震度1：11回）
7月	120	40	8	1						169	長野・岐阜県境付近の地震活動（※1の周辺） （震度3：3回、震度2：9回、震度1：31回）
8月	71	41	7							119	トカラ列島近海の地震活動 （震度3：1回、震度2：3回、震度1：8回）
2020年計	790	293	84	32	1	1	0	0	0	1201	
過去1年計	1105	405	130	40	3	1	0	0	0	1684	（令和元年9月～令和2年8月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数
 〈令和元年（2019年）9月～令和2年（2020年）8月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和元年（2019年）								
9月	341	57	7			405	64	
10月	320	72	7			399	79	
11月	306	57	6			369	63	
12月	361	98	10	1		470	109	11日 鳥島近海（M6.1）
令和2年（2020年）								
1月	360	65	6			431	71	
2月	289	68	9		1	367	78	13日 択捉島南東沖（M7.2）
3月	314	47	8			369	55	
4月	334	86	11	3		434	100	11日 フィリピン付近（6.1） 18日 小笠原諸島西方沖（6.8） 20日 宮城県沖（6.2）
5月	399	76	15	1		491	92	3日 薩摩半島西方沖（6.2）
6月	424	131	24	2		581	157	14日 奄美大島北西沖（6.3） 25日 千葉県東方沖（6.1）
7月	353	73	10	1		437	84	30日 鳥島近海（6.0）
8月	300	73	6			379	79	
2020年計	2773	619	89	7	1	3489	716	
過去1年計	4101	903	119	8	1	5132	1031	（令和元年9月～令和2年8月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和2年8月に長周期地震動階級※1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和2年8月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 / 令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0					6

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動 階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動 階級1	室内にいたほとんどの 人が揺れを感じる。驚 く人もいる。	ブラインドなど吊り下げ もの大きく揺れる。	ー
	長周期地震動 階級2	室内で大きな揺れを感じ、 物につかまりたいと 感じる。物につかま らないと歩くことが難 しいなど、行動に支障 を感じる。	キャスター付き什器がわ ずかに動く。棚にある食 器類、書棚の本が落ちる ことがある。	ー
	長周期地震動 階級3	立っていることが困難 になる。	キャスター付き什器が大 きく動く。固定していな い家具が移動することが あり、不安定なものは倒 れることがある。	間仕切壁など にひび割れ・ 亀裂が入るこ とがある。
	長周期地震動 階級4	立っていることができ ず、はわないと動くこ とができない。揺れに ぼんろうされる。	キャスター付き什器が大 きく動き、転倒するもの がある。固定していない 家具の大半が移動し、倒 れるものもある。	間仕切壁など にひび割れ・ 亀裂が多くな る。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和元年12月号の付録11「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和2年8月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は46回であった。

平成19年10月～令和2年8月に発表した緊急地震速報の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)					12(525)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、()内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。